

第2章 調査の結果

I 調査の概要

1. 調査方法

(1) 市民意識調査 [業者委託：株式会社 調べ考房福岡支店] ※詳細は P9 参照

郵送調査法／18 歳以上の市民 1,000 人／全 35 問／サンプル 374(回収率 37.4%)

期間 令和 5 年 1 月 23 日～2 月 9 日

(2) 若者意識調査 [調査団：市職員] ※詳細は P90 参照

インタビュー/16 歳～34 歳の「えるる」利用者/全 17 問/サンプル 83

期間 令和 5 年 5 月 17 日～5 月 31 日

(3) ローリング調査 ※詳細は P112 頁参照

大牟田市第 6 次総合計画アクションプログラム「第 4 章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち」に掲げてある事務事業(生涯学習課文化芸術担当、スポーツ推進室、生活安全推進課が所管するものを除く)

(4) インタビュー調査 [調査団：市職員] ※詳細は P132 頁参照

インタビュー/おもに市内にある団体・企業・学校関係など/設問は任意/市民活動団体 13 件、企業 5 件、幼稚園・学校・大学関係 7 件、行政関係 2 件、サロン 3 件 ※一覧参照 計 30 件

期間 令和 5 年 6 月～9 月 /インタビュー時間 1 件平均 53 分

2. 調査結果

(1) 意識調査(市民意識調査)

①生涯学習の必要性等 P16

「市民意識調査」において、約 9 割(89.3%)の人が生涯学習は必要と回答しています。

②生涯学習をしない理由(できない理由) P27

「市民意識調査」において、『仕事で時間がとれない』が最も高く、次いで『どのような活動があるかわからない』、『特に必要がない』、『生涯学習に関する情報が不足』の割合が高いことが判明しました。

③生涯学習の情報源 P17

「市民意識調査」において、『広報おおむた』が最も高く、50 歳以上の割合が高くなっております。逆に『インターネット』『SNS』は 40～49 歳が最も高くなっています。なお、各年代において、過半数が『広報おおむた』を情報源としていますが、18～29 歳については、約半数が『特に情報を得ていない』44.4%となっており、生涯学習に関する情報を得ていないことが判明しました。

④新型コロナウイルスの影響による生涯学習時間の変化 P19

「市民意識調査」において、過半数が『あまり変化はなかった』55.3%となっており、生涯

学習時間に大きな変化はないことが判明しました。

⑤学んだ成果の活用等 **P45～P53**

「市民意識調査」において、『活かしていない』が前回調査よりも若干減少している(17.0%⇒14.4%)状況となっています。

同調査で『身につけた知識・技能を地域や人々のために活かしたい』は、全体の約6割におよんでいます。なお、学んだ成果を活かしていない理由は、『活かし方がわからない』の割合が最も高く、次いで『学業・仕事で忙しい』となっています。

⑥ボランティア活動について **P54～P59**

「市民意識調査」において、「この1年間ボランティア活動を行っていない人」の割合は、前回調査より増加して7割(平成30年67%⇒令和4年73%)におよんでいます。

「市民意識調査」において、ボランティア活動を盛んにするために必要なことは、前回調査と同様、『ボランティア活動に関する情報提供』の割合が最も高くなっています。

⑦地域活動について **P60～76**

「市民意識調査」において、『この1年間地域活動を行っていない人』の割合は、前回調査より増加して6割を越え(平成30年51%⇒令和4年65%)ています。なお、同調査で、地域活動に参加していない理由は、『忙しくて時間がとれない(学業、仕事、家事など)』(42%)が最も高く、次いで、『どのような活動が行われているか情報がない』(33%)、『一緒に活動する仲間や知り合いがいない』(24%)、『誘いがないなど、参加するきっかけがない』(22%)となっています。

「市民意識調査」において、地域活動へ参加しやすくするために必要なことは、『誰もが気軽に参加でき、明るく楽しい雰囲気にする』が、『活動のPR』『活動・行事を魅力的なものにする』等、他の選択肢を大きく上回り最も高くなっています。

⑧学校を支援する取組みへの参加の意向 **P77～P79**

「市民意識調査」では、約4割(43%)に学校を支援する取組みへ参加する意思があることが判明しました。地域活動をあまり行っていない若い年代(18歳～39歳)の参加意識は、他の年代と比べて高くなっています。

(2)若者意識調査

①若者のボランティア活動・地域活動に対する関心度 **P108**

「若者意識調査」において、自ら企画して実践するボランティア活動・地域活動に対しては、『関心がある』と回答した割合はほぼ半減していることが判明しました(平成30年70%⇒令和4年39%)。

②若者が生涯学習を行わない理由 **P102**

「若者意識調査」において、『学業で時間がとれない』が最も高く、次いで『特に必要がない』、『生涯学習に関する情報が不足している』、『どのような活動があるのかわからない』の割合が高くなっています。

③行政に対する要望 P103

「若者意識調査」において、行政に対する要望として最も高いことは、『公共施設の機能を充実させる』が最も高く、次いで『専門的な学習内容の充実』『次世代を担う若者への教育の充実』が同率となっています。

(3)ローリング調査

①ローリング調査の実施概要 P112

全 20 事業

(4)インタビュー調査

①インタビュー調査の実施概要 P132

インタビュー件数 30 件

市民意識調査

調査の概要

(1)調査の目的

大牟田市(以下「市」という。)は、令和2年に「大牟田市社会教育振興プラン 2020～2023」を策定した。当プランの計画期間が令和5年度までとなっていることから、令和6年度以降の社会教育振興の指針となる「大牟田市社会教育振興プラン 2024～2028」を策定する。この調査は、次期計画策定の基礎資料を得るために実施した。

(2)調査の対象

令和5年1月1日現在の大牟田市住民基本台帳に登録された満18歳以上の市民の中から無作為に抽出した1,000人。

(3)調査方法

郵送法(封書による郵送・回収)

(4)調査期間

令和5年1月23日～2月9日

(5)回収状況

配布数	1,000 件
有効回収数	374 件
有効回収率	37.4%

(6)調査結果利用上の留意事項

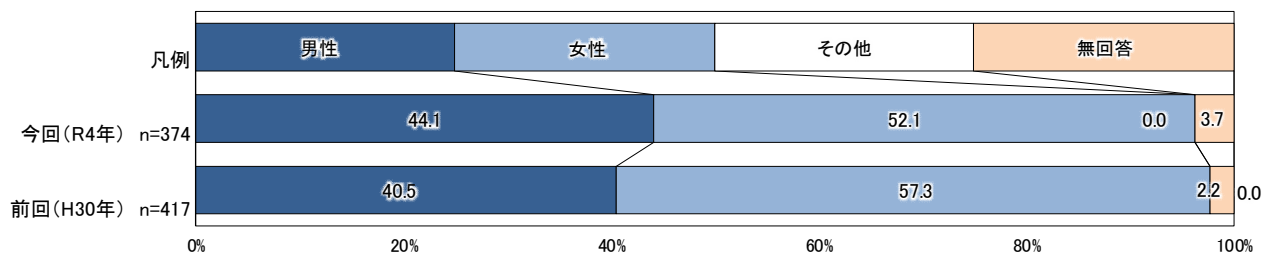
- ・ 文章や表、グラフ中の回答割合(相対度数)は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているので、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- ・ 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答割合の合計は原則として100%を超える。
- ・ 数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数(回答数)を示している。
- ・ 前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化された回答者を基数として算出している。
- ・ 文中では選択肢(変数)を「 」で示している。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- ・ 性別を「その他」と回答した人は皆無であったことから分析対象から除いている。

あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別について、あてはまる番号に○印をつけてください。

問1 性別

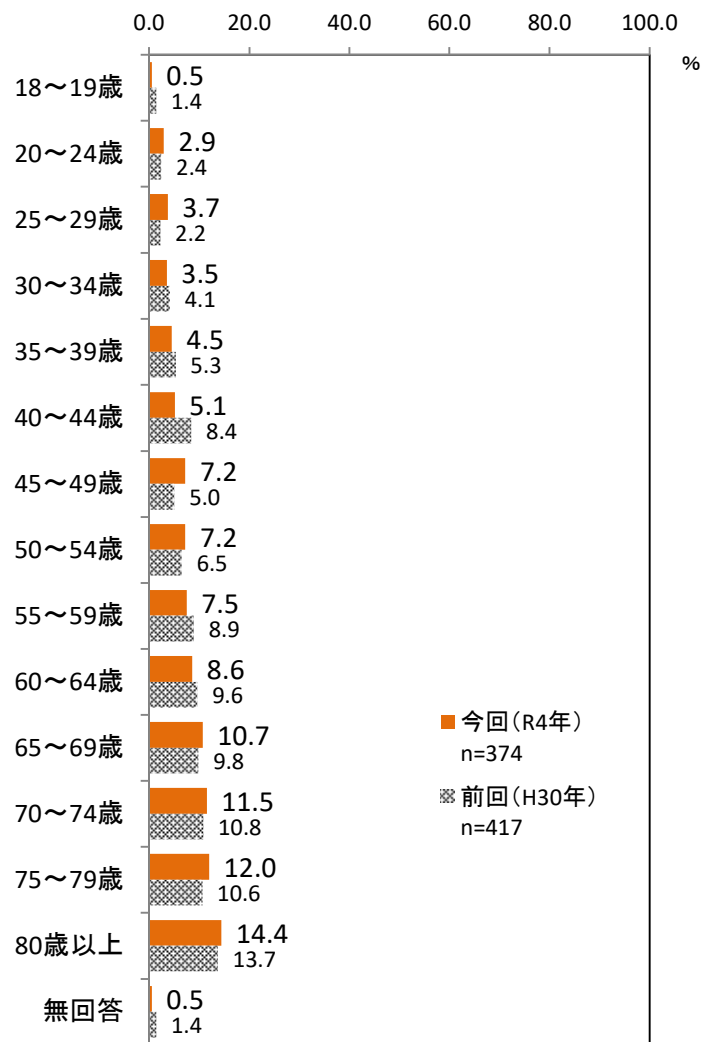
	今回(R4年)		前回(H30年)		前々回(H23年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%	度数(人)	%
男性	165	44.1	169	40.5	165	36.4
女性	195	52.1	239	57.3	283	62.5
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
無回答	14	3.7	9	2.2	5	1.1
合計	374	100.0	417	100.0	453	100.0



問2 あなたの年齢(令和5年1月1日現在)について、あてはまる番号に○印をつけてください。

問2 年齢

	今回(R4年)		前回(H30年)		前々回(H23年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%	度数(人)	%
18～19歳	2	0.5	6	1.4	8	1.8
20～24歳	11	2.9	10	2.4	17	3.8
25～29歳	14	3.7	9	2.2	14	3.1
30～34歳	13	3.5	17	4.1	17	3.8
35～39歳	17	4.5	22	5.3	20	4.4
40～44歳	19	5.1	35	8.4	23	5.1
45～49歳	27	7.2	21	5.0	26	5.7
50～54歳	27	7.2	27	6.5	40	8.8
55～59歳	28	7.5	37	8.9	46	10.2
60～64歳	32	8.6	40	9.6	59	13.0
65～69歳	40	10.7	41	9.8	52	11.5
70～74歳	43	11.5	45	10.8	43	9.5
75～79歳	45	12.0	44	10.6	39	8.6
80歳以上	54	14.4	57	13.7	44	9.7
無回答	2	0.5	6	1.4	5	1.1
合計	374	100.0	417	100.0	453	100.0



問3 あなたの家族構成について、あてはまる番号に○印をつけてください。

問3 家族構成

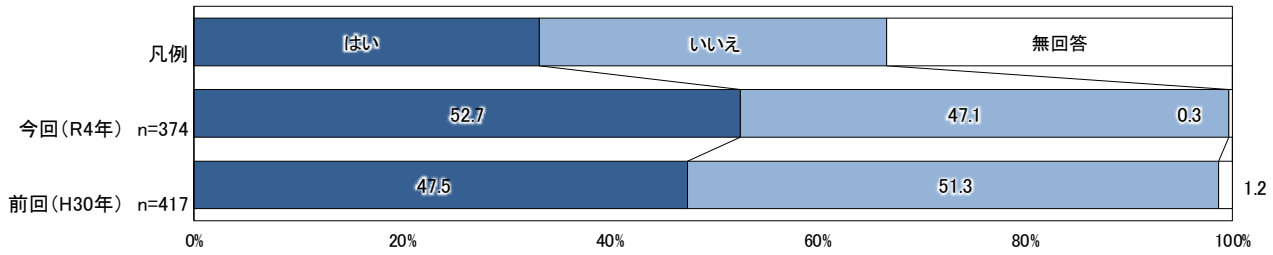
	今回(R4年)		前回(H30年)		前々回(H23年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%	度数(人)	%
単身	73	19.5	72	17.3	61	13.5
夫婦	104	27.8	111	26.6	113	24.9
2世代(親と子ども)	142	38.0	171	41.0	141	31.1
3世代以上	34	9.1	41	9.8	53	11.7
その他	15	4.0	16	3.8	73	16.1
無回答	6	1.6	6	1.4	12	2.6
合計	374	100.0	417	100.0	453	100.0

	合 計	単 身	夫 婦	2 世 代 (親と子ども)	3 世 代 以上	そ の 他	無 回 答
全体	374 100.0%	73 19.5%	104 27.8%	142 38.0%	34 9.1%	15 4.0%	6 1.6%
■ 性別							
男性	165 100.0%	27 16.4%	51 30.9%	62 37.6%	16 9.7%	8 4.8%	1 0.6%
女性	195 100.0%	43 22.1%	50 25.6%	76 39.0%	17 8.7%	7 3.6%	2 1.0%
無回答	14 100.0%	3 21.4%	3 21.4%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%
■ 年代別							
18～29歳	27 100.0%	2 7.4%	1 3.7%	17 63.0%	5 18.5%	2 7.4%	0 0.0%
30～39歳	30 100.0%	3 10.0%	1 3.3%	22 73.3%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	46 100.0%	4 8.7%	4 8.7%	30 65.2%	8 17.4%	0 0.0%	0 0.0%
50～59歳	55 100.0%	6 10.9%	12 21.8%	31 56.4%	5 9.1%	0 0.0%	1 1.8%
60～69歳	72 100.0%	11 15.3%	35 48.6%	17 23.6%	3 4.2%	6 8.3%	0 0.0%
70～79歳	88 100.0%	24 27.3%	32 36.4%	18 20.5%	7 8.0%	5 5.7%	2 2.3%
80歳以上	54 100.0%	23 42.6%	19 35.2%	7 13.0%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%

問4 あなたは、現在、お仕事をしていますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

問4 仕事の有無

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
はい	197	52.7	198	47.5
いいえ	176	47.1	214	51.3
無回答	1	0.3	5	1.2
合計	374	100.0	417	100.0



	合計	はい	いいえ	無回答
全体	374 100.0%	197 52.7%	176 47.1%	1 0.3%
■ 性別				
男性	165 100.0%	97 58.8%	68 41.2%	0 0.0%
女性	195 100.0%	97 49.7%	98 50.3%	0 0.0%
無回答	14 100.0%	3 21.4%	10 71.4%	1 7.1%
■ 年代別				
18～29歳	27 100.0%	17 63.0%	10 37.0%	0 0.0%
30～39歳	30 100.0%	25 83.3%	5 16.7%	0 0.0%
40～49歳	46 100.0%	42 91.3%	4 8.7%	0 0.0%
50～59歳	55 100.0%	49 89.1%	6 10.9%	0 0.0%
60～69歳	72 100.0%	40 55.6%	32 44.4%	0 0.0%
70～79歳	88 100.0%	22 25.0%	66 75.0%	0 0.0%
80歳以上	54 100.0%	2 3.7%	52 96.3%	0 0.0%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%

《問4で、「はい」とお答えの方におたずねします》

問 4-2 あなたのお休みはいつですか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問4 お休みの曜日

	今回(R4年)		前回(H30年)		前々回(H23年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%	度数(人)	%
土曜日	82	41.6	82	41.4	97	21.4
日曜日	125	63.5	134	67.7	172	38.0
祝日	89	45.2	87	43.9	—	—
平日	30	15.2	26	13.1	63	13.9
不定期	68	34.5	73	36.9	—	—
無回答	0	0.0	0	0.0	253	55.8
合計	197		198		453	

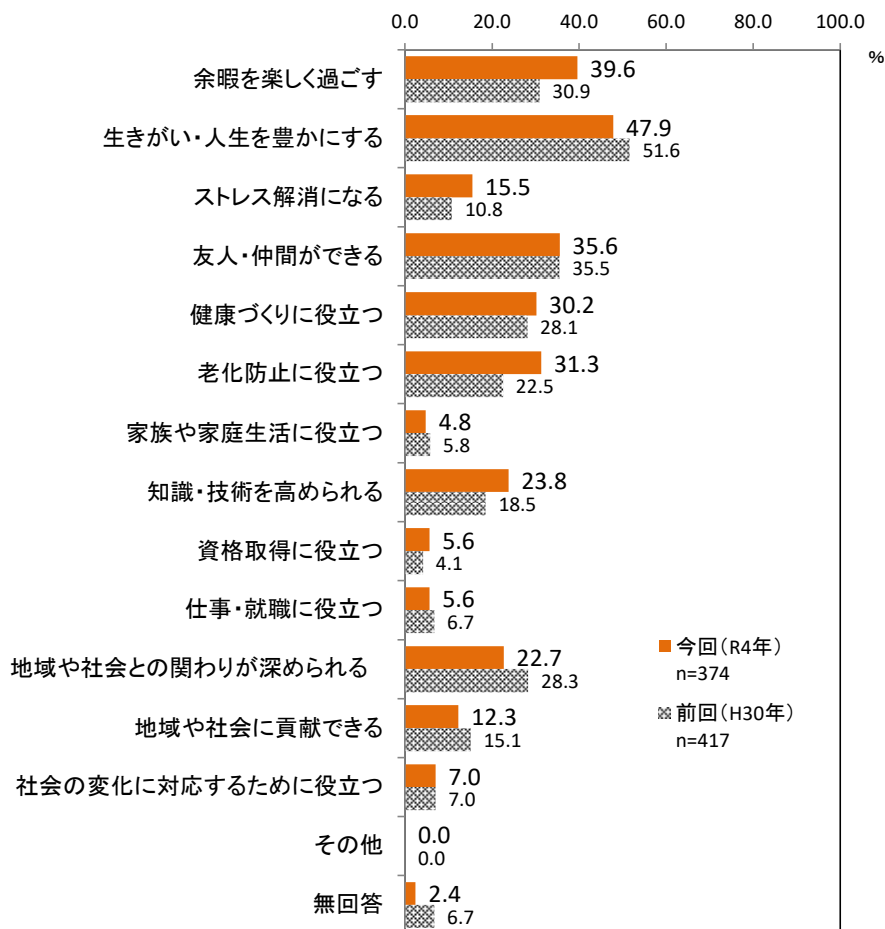
	合計	土曜日	日曜日	祝日	平日	不定期	無回答
全体	197	82 41.6%	125 63.5%	89 45.2%	30 15.2%	68 34.5%	0 0.0%
■性別							
男性	97	44 45.4%	66 68.0%	45 46.4%	16 16.5%	25 25.8%	0 0.0%
女性	97	36 37.1%	57 58.8%	43 44.3%	14 14.4%	42 43.3%	0 0.0%
無回答	3	2 66.7%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
■年代別							
18～29歳	17	6 35.3%	7 41.2%	5 29.4%	1 5.9%	8 47.1%	0 0.0%
30～39歳	25	7 28.0%	15 60.0%	12 48.0%	3 12.0%	12 48.0%	0 0.0%
40～49歳	42	28 66.7%	33 78.6%	26 61.9%	4 9.5%	9 21.4%	0 0.0%
50～59歳	49	19 38.8%	34 69.4%	24 49.0%	9 18.4%	16 32.7%	0 0.0%
60～69歳	40	16 40.0%	26 65.0%	17 42.5%	8 20.0%	13 32.5%	0 0.0%
70～79歳	22	6 27.3%	9 40.9%	4 18.2%	5 22.7%	9 40.9%	0 0.0%
80歳以上	2	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

1. 生涯学習について

問5 あなたは、「生涯学習」について、どのようなお考えやイメージをお持ちですか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

問5 生涯学習に対する考えやイメージ

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
余暇を楽しく過ごす	148	39.6	129	30.9
生きがい・人生を豊かにする	179	47.9	215	51.6
ストレス解消になる	58	15.5	45	10.8
友人・仲間ができる	133	35.6	148	35.5
健康づくりに役立つ	113	30.2	117	28.1
老化防止に役立つ	117	31.3	94	22.5
家族や家庭生活に役立つ	18	4.8	24	5.8
知識・技術を高められる	89	23.8	77	18.5
資格取得に役立つ	21	5.6	17	4.1
仕事・就職に役立つ	21	5.6	28	6.7
地域や社会との関わりが深められる	85	22.7	118	28.3
地域や社会に貢献できる	46	12.3	63	15.1
社会の変化に対応するために役立つ	26	7.0	29	7.0
その他	0	0.0	0	0.0
無回答	9	2.4	28	6.7
回答者数	374		417	



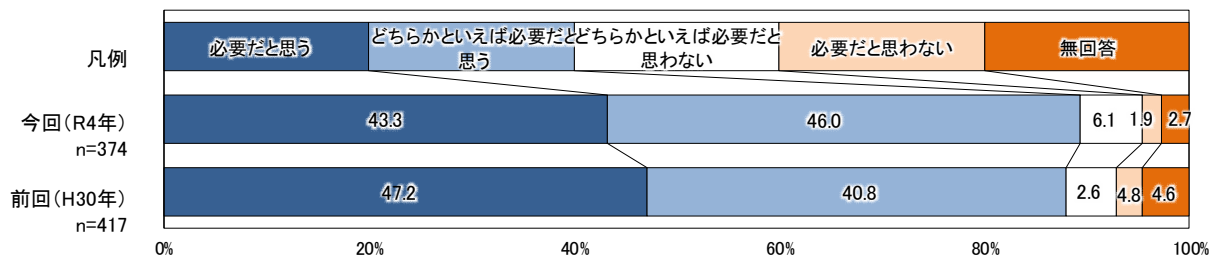
	合計	余暇を楽しく過ごす	生きがい・人生を豊かにする	ストレス解消になる	友人・仲間ができる	健康づくりに役立つ	老化防止に役立つ	家族や家庭生活に役立つ	知識・技術を高められる	資格取得に役立つ	仕事・就職に役立つ	地域や社会との関わりが深められる	地域や社会に貢献できる	社会の変化に対応するために役立つ	その他	無回答
全体	374	148 39.6%	179 47.9%	58 15.5%	133 35.6%	113 30.2%	117 31.3%	18 4.8%	89 23.8%	21 5.6%	21 5.6%	85 22.7%	46 12.3%	26 7.0%	0 0.0%	9 2.4%
■性別																
男性	165	66 40.0%	75 45.5%	29 17.6%	56 33.9%	54 32.7%	52 31.5%	7 4.2%	36 21.8%	7 4.2%	12 7.3%	37 22.4%	22 13.3%	12 7.3%	0 0.0%	3 1.8%
女性	195	78 40.0%	99 50.8%	28 14.4%	73 37.4%	55 28.2%	60 30.8%	11 5.6%	53 27.2%	13 6.7%	8 4.1%	48 24.6%	22 11.3%	14 7.2%	0 0.0%	4 2.1%
無回答	14	4 28.6%	5 35.7%	1 7.1%	4 28.6%	4 28.6%	5 35.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%
■年代別																
18～29歳	27	11 40.7%	13 48.1%	5 18.5%	8 29.6%	8 29.6%	4 14.8%	1 3.7%	9 33.3%	3 11.1%	3 11.1%	4 14.8%	7 25.9%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	30	13 43.3%	17 56.7%	6 20.0%	8 26.7%	9 30.0%	4 13.3%	1 3.3%	9 30.0%	3 10.0%	3 10.0%	10 33.3%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%
40～49歳	46	18 39.1%	21 45.7%	5 10.9%	19 41.3%	12 26.1%	8 17.4%	3 6.5%	14 30.4%	9 19.6%	8 17.4%	11 23.9%	3 6.5%	3 6.5%	0 0.0%	0 0.0%
50～59歳	55	21 38.2%	32 58.2%	10 18.2%	20 36.4%	12 21.8%	16 29.1%	5 9.1%	16 29.1%	2 3.6%	3 5.5%	11 20.0%	10 18.2%	3 5.5%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	72	30 41.7%	37 51.4%	7 9.7%	26 36.1%	21 29.2%	20 27.8%	1 1.4%	19 26.4%	1 1.4%	1 1.4%	20 27.8%	6 8.3%	3 4.2%	0 0.0%	2 2.8%
70～79歳	88	32 36.4%	41 46.6%	16 18.2%	28 31.8%	37 42.0%	33 37.5%	6 6.8%	17 19.3%	3 3.4%	3 3.4%	19 21.6%	12 13.6%	11 12.5%	0 0.0%	1 1.1%
80歳以上	54	23 42.6%	18 33.3%	9 16.7%	24 44.4%	13 24.1%	32 59.3%	1 1.9%	5 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 18.5%	4 7.4%	4 7.4%	0 0.0%	4 7.4%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

問5その他	性別	年齢
化粧品の販売(ほんの少し)	女性	80歳以上

問6 あなたは、生涯学習は必要だと思いますか。

問6 生涯学習に対する必要性に対する認識

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
必要だと思う	162	43.3	197	47.2
どちらかといえば必要だと思う	172	46.0	170	40.8
どちらかといえば必要だと思わない	23	6.1	20	4.8
必要だと思わない	7	1.9	11	2.6
無回答	10	2.7	19	4.6
合計(回答者数)	374	100.0	417	100.0



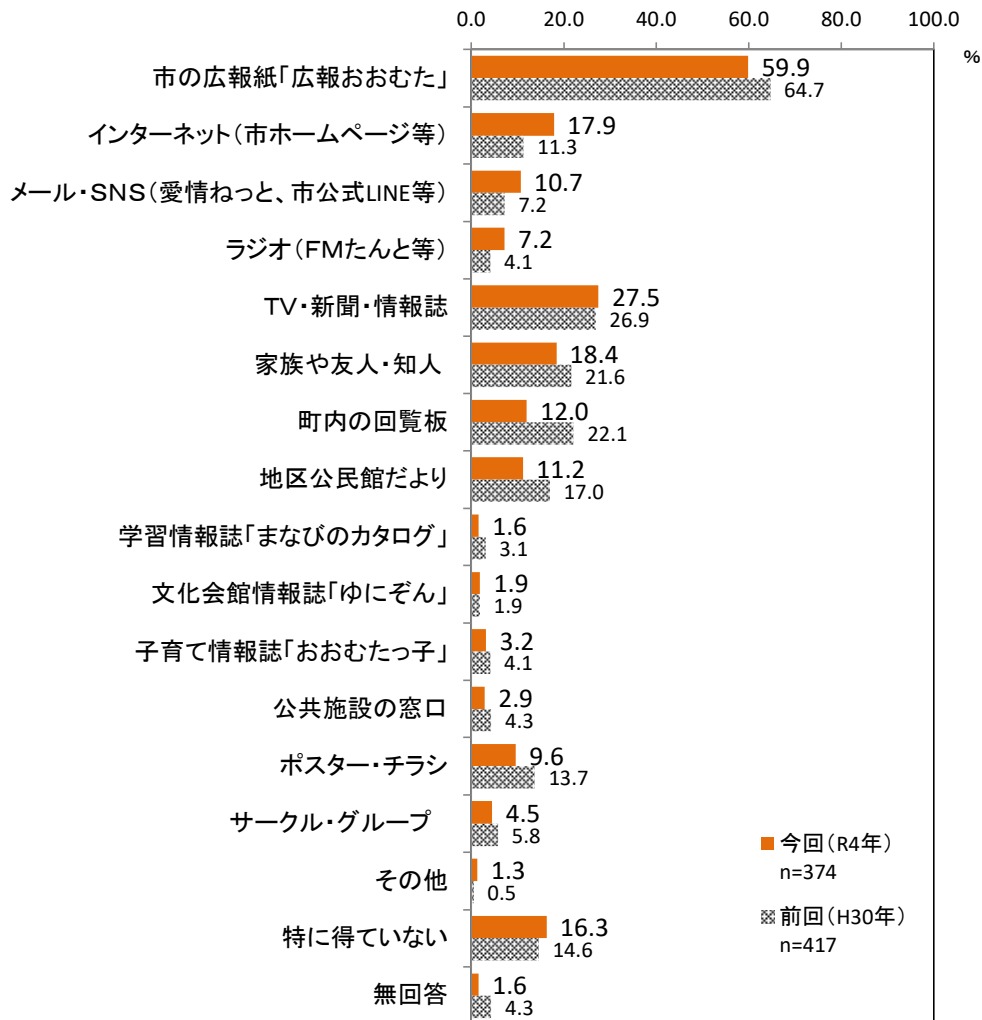
	合計	必要だ と思う	どちら かとい え 必要だ と思う	どちら かとい え 必要だ と思わ ない	必要だ と思わ ない	無回 答
全体	374 100.0%	162 43.3%	172 46.0%	23 6.1%	7 1.9%	10 2.7%
■性別						
男性	165 100.0%	72 43.6%	76 46.1%	9 5.5%	6 3.6%	2 1.2%
女性	195 100.0%	84 43.1%	92 47.2%	11 5.6%	1 0.5%	7 3.6%
無回答	14 100.0%	6 42.9%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%
■年代別						
18～29歳	27 100.0%	6 22.2%	17 63.0%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%
30～39歳	30 100.0%	11 36.7%	15 50.0%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%
40～49歳	46 100.0%	19 41.3%	22 47.8%	4 8.7%	0 0.0%	1 2.2%
50～59歳	55 100.0%	27 49.1%	24 43.6%	2 3.6%	0 0.0%	2 3.6%
60～69歳	72 100.0%	33 45.8%	34 47.2%	2 2.8%	2 2.8%	1 1.4%
70～79歳	88 100.0%	45 51.1%	36 40.9%	3 3.4%	2 2.3%	2 2.3%
80歳以上	54 100.0%	21 38.9%	24 44.4%	7 13.0%	0 0.0%	2 3.7%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%

問7 あなたは、生涯学習に関する情報を何から得ていますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問7 生涯学習の情報源

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
市の広報紙「広報おおむた」	224	59.9	270	64.7
インターネット(市ホームページ等)	67	17.9	47	11.3
メール・SNS(愛情ねっと、市公式LINE等)	40	10.7	30	7.2
ラジオ(FMたんと等)	27	7.2	17	4.1
TV・新聞・情報誌	103	27.5	112	26.9
家族や友人・知人	69	18.4	90	21.6
町内の回覧板	45	12.0	92	22.1
地区公民館だより	42	11.2	71	17.0
学習情報誌「まなびのカタログ」	6	1.6	13	3.1
文化会館情報誌「ゆにぞん」	7	1.9	8	1.9
子育て情報誌「おおむたっ子」	12	3.2	17	4.1
公共施設の窓口	11	2.9	18	4.3
ポスター・チラシ	36	9.6	57	13.7
サークル・グループ	17	4.5	24	5.8
その他	5	1.3	2	0.5
特に得ていない	61	16.3	61	14.6
無回答	6	1.6	18	4.3
回答者数	374		417	



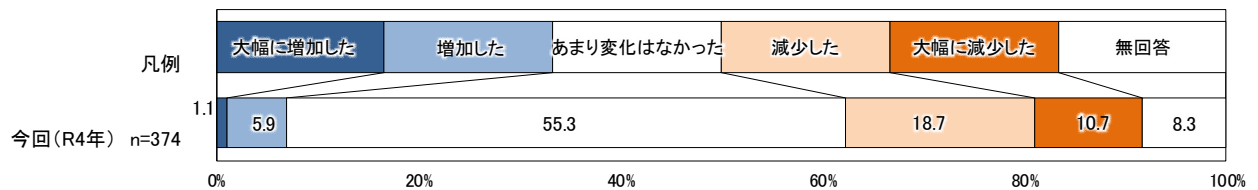
	合計	市の広報紙「広報おおむた」	インターネット(市ホームページ等)	メール・SNS(愛情ねっと、市公式LINE等)	ラジオ(FMたんと等)	TV・新聞・情報誌	家族や友人・知人	町内の回覧板	地区公民館だより	学習情報誌「まなびのカatalog」	文化会館情報誌「ゆにぞん」	子育て情報誌「おおむたっ子」	公共施設の窓口	ポスター・チラシ	サークル・グループ	その他	特に得ていない	無回答
全体	374	224 59.9%	67 17.9%	40 10.7%	27 7.2%	103 27.5%	69 18.4%	45 12.0%	42 11.2%	6 1.6%	7 1.9%	12 3.2%	11 2.9%	36 9.6%	17 4.5%	5 1.3%	61 16.3%	6 1.6%
■性別																		
男性	165	87 52.7%	35 21.2%	10 6.1%	15 9.1%	52 31.5%	25 15.2%	20 12.1%	16 9.7%	3 1.8%	3 1.8%	2 1.2%	4 2.4%	17 10.3%	8 4.8%	4 2.4%	31 18.8%	2 1.2%
女性	195	129 66.2%	31 15.9%	30 15.4%	12 6.2%	48 24.6%	40 20.5%	23 11.8%	23 11.8%	3 1.5%	4 2.1%	10 5.1%	7 3.6%	19 9.7%	8 4.1%	1 0.5%	26 13.3%	4 2.1%
無回答	14	8 57.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	4 28.6%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%
■年代別																		
18～29歳	27	7 25.9%	4 14.8%	2 7.4%	1 3.7%	3 11.1%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	12 44.4%	1 3.7%
30～39歳	30	20 66.7%	6 20.0%	5 16.7%	1 3.3%	6 20.0%	5 16.7%	2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 16.7%	2 6.7%	2 6.7%	1 3.3%	1 3.3%	4 13.3%	1 3.3%
40～49歳	46	24 52.2%	14 30.4%	9 19.6%	1 2.2%	4 8.7%	5 10.9%	3 6.5%	1 2.2%	0 0.0%	1 2.2%	3 6.5%	0 0.0%	4 8.7%	0 0.0%	0 0.0%	15 32.6%	0 0.0%
50～59歳	55	37 67.3%	15 27.3%	10 18.2%	4 7.3%	13 23.6%	9 16.4%	9 16.4%	2 3.6%	3 5.5%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%	7 12.7%	1 1.8%	0 0.0%	8 14.5%	1 1.8%
60～69歳	72	49 68.1%	13 18.1%	5 6.9%	9 12.5%	18 25.0%	11 15.3%	8 11.1%	5 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%	3 4.2%	8 11.1%	4 5.6%	2 2.8%	6 8.3%	1 1.4%
70～79歳	88	54 61.4%	10 11.4%	6 6.8%	6 6.8%	35 39.8%	21 23.9%	13 14.8%	21 23.9%	2 2.3%	5 5.7%	0 0.0%	5 5.7%	9 10.2%	6 6.8%	1 1.1%	8 9.1%	1 1.1%
80歳以上	54	33 61.1%	5 9.3%	3 5.6%	5 9.3%	24 44.4%	16 29.6%	10 18.5%	11 20.4%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.7%	5 9.3%	1 1.9%	6 11.1%	1 1.9%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

問 7 その他	性別	年齢
本(読書)	男性	30～34 歳
通信大学をネットで選んで決めた 2013 年から 6 年間京都にて。	男性	65～69 歳
放送大学	男性	70～74 歳
書籍	男性	75～79 歳
「広報おおむた」については、良い事ばかりで事件物、悪いニュース等も上げてほしい。	男性	80 歳以上

問8 新型コロナウイルスの影響により、あなたのこの 1 年程の間の生涯学習を行う時間はどのように変化したかおたずねします。あてはまる番号に○印をつけてください。

問8 新型コロナウイルスの影響による生涯学習時間の変化

	度数	%
大幅に増加した	4	1.1
増加した	22	5.9
あまり変化はなかった	207	55.3
減少した	70	18.7
大幅に減少した	40	10.7
無回答	31	8.3
合計	374	100.0



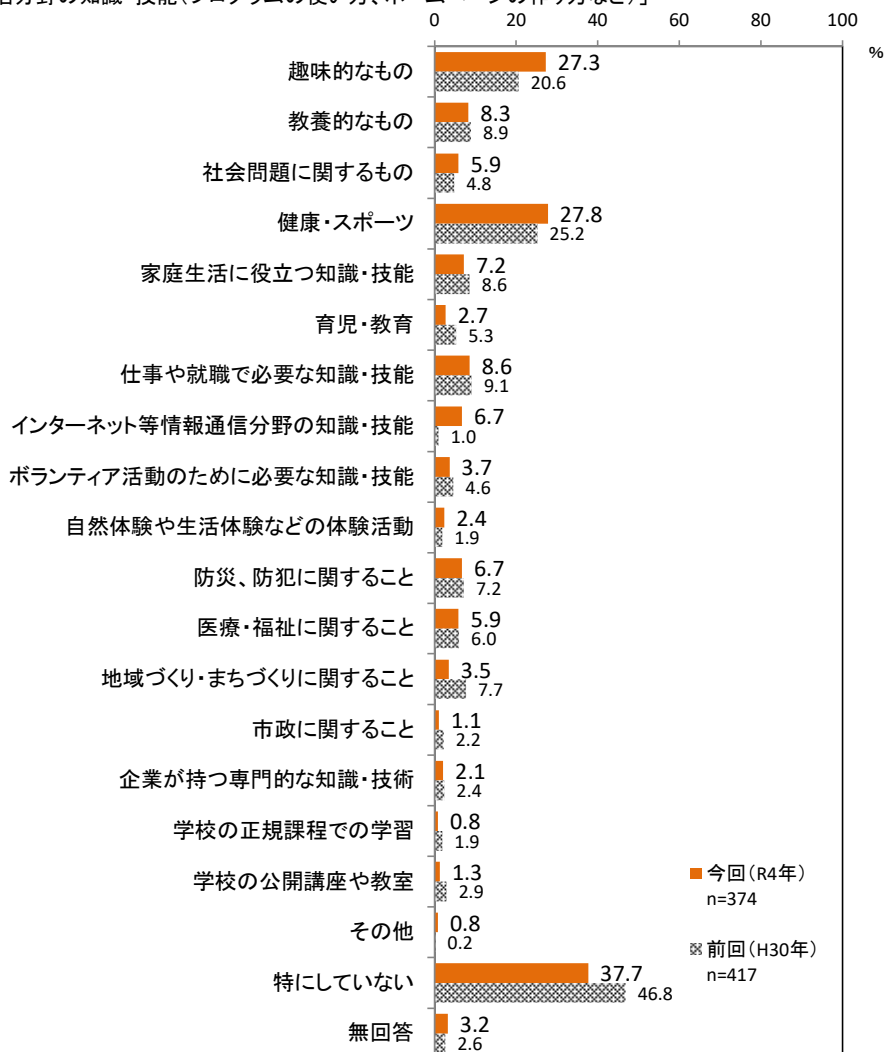
	合計	大幅に増加した	増加した	あまり変化はなかった	減少した	大幅に減少した	無回答
全体	374 100.0%	4 1.1%	22 5.9%	207 55.3%	70 18.7%	40 10.7%	31 8.3%
■性別							
男性	165 100.0%	3 1.8%	14 8.5%	91 55.2%	29 17.6%	20 12.1%	8 4.8%
女性	195 100.0%	1 0.5%	7 3.6%	111 56.9%	38 19.5%	18 9.2%	20 10.3%
無回答	14 100.0%	0 0.0%	1 7.1%	5 35.7%	3 21.4%	2 14.3%	3 21.4%
■年代別							
18～29歳	27 100.0%	1 3.7%	1 3.7%	19 70.4%	2 7.4%	3 11.1%	1 3.7%
30～39歳	30 100.0%	0 0.0%	1 3.3%	24 80.0%	4 13.3%	1 3.3%	0 0.0%
40～49歳	46 100.0%	0 0.0%	6 13.0%	26 56.5%	7 15.2%	5 10.9%	2 4.3%
50～59歳	55 100.0%	0 0.0%	1 1.8%	38 69.1%	8 14.5%	6 10.9%	2 3.6%
60～69歳	72 100.0%	1 1.4%	2 2.8%	40 55.6%	18 25.0%	4 5.6%	7 9.7%
70～79歳	88 100.0%	2 2.3%	6 6.8%	43 48.9%	18 20.5%	11 12.5%	8 9.1%
80歳以上	54 100.0%	0 0.0%	5 9.3%	16 29.6%	13 24.1%	10 18.5%	10 18.5%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

問9 あなたは、この1年程の間に、生涯学習をしたことがありますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問9 この一年間の生涯学習に関する行動

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	102	27.3	86	20.6
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	31	8.3	37	8.9
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	22	5.9	20	4.8
健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	104	27.8	105	25.2
家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	27	7.2	36	8.6
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	10	2.7	22	5.3
仕事や就職に必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)	32	8.6	38	9.1
インターネット等情報通信分野の知識・技能(プログラミング、Zoomの使い方など)★	25	6.7	4	1.0
ボランティア活動のために必要な知識・技能	14	3.7	19	4.6
自然体験や生活体験などの体験活動	9	2.4	8	1.9
防災、防犯に関すること	25	6.7	30	7.2
医療・福祉に関すること	22	5.9	25	6.0
地域づくり・まちづくりに関すること	13	3.5	32	7.7
市政に関すること	4	1.1	9	2.2
企業が持つ専門的な知識・技術	8	2.1	10	2.4
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	3	0.8	8	1.9
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	5	1.3	12	2.9
その他	3	0.8	1	0.2
特にしていない	141	37.7	195	46.8
無回答	12	3.2	11	2.6
回答者数	374		417	

※「★」: 前回調査の選択肢は「情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)」



		合計	地域づくり・まちづくりに関すること	医療・福祉に関すること	防災・防犯に関すること	自然体験や生活体験などの体験活動	ボランティア活動のために必要な知識・技能	インターネット等情報通信分野の知識・技能（プログラミング、Zoomの使い方など）	仕事や就職に必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	育児・教育（家庭教育、幼児教育、教育問題など）	家庭生活に役立つ知識・技能など（料理、洋裁、和裁、編み物など）	健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）	社会問題に関するもの（社会・時事、国際、環境など）	教養的なもの（文学、歴史、科学、語学など）	趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など）	その他	特にしていない	無回答			
全体	374	102 27.3%	31 8.3%	22 5.9%	104 27.8%	27 7.2%	10 2.7%	32 8.6%	25 6.7%	14 3.7%	9 2.4%	25 6.7%	22 5.9%	13 3.5%	4 1.1%	8 2.1%	3 0.8%	5 1.3%	3 0.8%	141 37.7%	12 3.2%
■性別																					
男性	165	49 29.7%	18 10.9%	11 6.7%	54 32.7%	10 6.1%	4 2.4%	19 11.5%	13 7.9%	8 4.8%	7 4.2%	11 6.7%	10 6.1%	6 3.6%	4 2.4%	6 3.6%	2 1.2%	4 2.4%	2 1.2%	49 29.7%	6 3.6%
女性	195	50 25.6%	13 6.7%	10 5.1%	44 22.6%	17 8.7%	6 3.1%	13 6.7%	12 6.2%	6 3.1%	1 0.5%	11 5.6%	11 5.6%	5 2.6%	0 0.0%	2 1.0%	1 0.5%	1 0.5%	1 0.5%	89 45.6%	4 2.1%
無回答	14	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%
■年代別																					
18～29歳	27	8 29.6%	1 3.7%	1 3.7%	5 18.5%	2 7.4%	2 7.4%	4 14.8%	4 14.8%	1 3.7%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%	1 3.7%	1 3.7%	6 22.2%	1 3.7%
30～39歳	30	5 16.7%	2 6.7%	2 6.7%	5 16.7%	3 10.0%	1 3.3%	7 23.3%	5 16.7%	3 10.0%	1 3.3%	0 0.0%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 10.0%	14 46.7%	0 0.0%
40～49歳	46	8 17.4%	1 2.2%	1 2.2%	14 30.4%	2 4.3%	3 6.5%	10 21.7%	4 8.7%	2 4.3%	1 2.2%	7 15.2%	2 4.3%	3 6.5%	0 0.0%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	18 39.1%	1 2.2%
50～59歳	55	20 36.4%	9 16.4%	3 5.5%	16 29.1%	6 10.9%	3 5.5%	3 5.5%	2 3.6%	3 5.5%	0 0.0%	1 1.8%	3 5.5%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	23 41.8%	0 0.0%
60～69歳	72	19 26.4%	5 6.9%	7 9.7%	20 27.8%	5 6.9%	0 0.0%	4 5.6%	2 2.8%	0 0.0%	1 1.4%	1 1.4%	2 2.8%	1 1.4%	0 0.0%	3 4.2%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	30 41.7%	2 2.8%
70～79歳	88	27 30.7%	10 11.4%	6 6.8%	31 35.2%	7 8.0%	1 1.1%	4 4.5%	5 5.7%	3 3.4%	3 3.4%	6 6.8%	3 6.8%	1 3.4%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	1 1.1%	1 1.1%	30 34.1%	4 4.5%
80歳以上	54	15 27.8%	3 5.6%	2 3.7%	12 22.2%	2 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.6%	2 3.7%	1 1.9%	9 16.7%	4 7.4%	4 7.4%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	19 35.2%	4 7.4%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%

問9その他	性別	年齢
動画編集技術、デザイナー	男性	25～29歳
投資	男性	35～39歳
漢検を始めた。	男性	70～74歳
月1回”えるる”で川柳クラブ大蛇山を主催。	女性	75～79歳
書籍	男性	75～79歳

《問9で「1～18」に○印をつけられた方におたずねします》

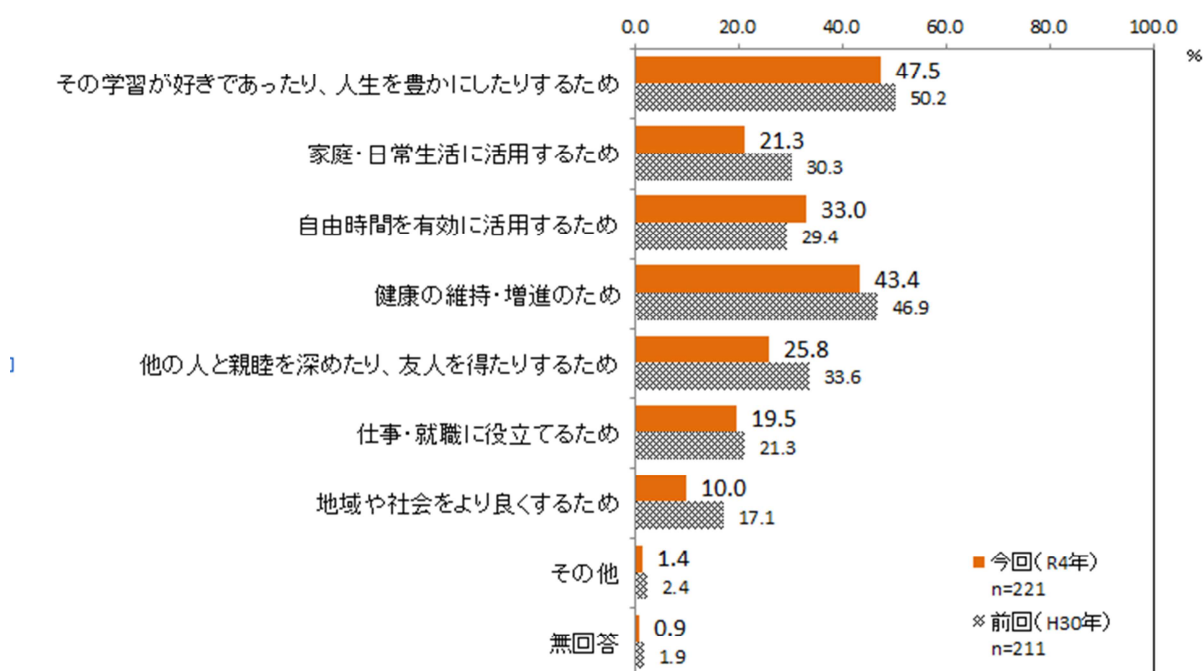
問10 あなたは何のために生涯学習をしていますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問10 生涯学習をしている目的

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため	105	47.5	106	50.2
家庭・日常生活に活用するため	47	21.3	64	30.3
自由時間を有効に活用するため	73	33.0	62	29.4
健康の維持・増進のため	96	43.4	99	46.9
他の人と親睦を深めたり、友人を得たりするため	57	25.8	71	33.6
仕事・就職に役立てるため	43	19.5	45	21.3
地域や社会をより良くするため	22	10.0	36	17.1
その他	3	1.4	5	2.4
無回答	2	0.9	4	1.9
回答者数	221		211	

問10その他	性別	年齢
ボランティア活動に役立てたい。	女性	55～59歳
料理を作り、兄弟な人、近所のお年寄りに届けます。料理番組で学んでいます。	女性	60～64歳



	合計	か に し た り す る た め	あ っ た り 、 人 生 を 豊 か く す る た め	そ の 学 習 が 好 き で あ る た め	家 庭 ・ 日 常 生 活 に 活 か す る た め	自 由 時 間 を 有 効 に 活 か す る た め	健 康 の 維 持 ・ 増 進 の た め	す た り 、 人 と 友 人 を 得 た り す る た め	他 の 人 と 親 睦 を 深 め る た め	仕 事 ・ 就 職 に 役 立 て る た め	地 域 や 社 会 を よ り 良 く す る た め	そ の 他	無 回 答
全体	221	105	47	73	96	57	43	22	3	2			
		47.5%	21.3%	33.0%	43.4%	25.8%	19.5%	10.0%	1.4%	0.9%			
■性別													
男性	110	48	25	41	50	27	25	13	1	0			
		43.6%	22.7%	37.3%	45.5%	24.5%	22.7%	11.8%	0.9%	0.0%			
女性	102	54	22	31	39	26	18	9	2	2			
		52.9%	21.6%	30.4%	38.2%	25.5%	17.6%	8.8%	2.0%	2.0%			
無回答	9	3	0	1	7	4	0	0	0	0			
		33.3%	0.0%	11.1%	77.8%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
■年代別													
18～29歳	20	8	8	6	4	3	7	1	0	0			
		40.0%	40.0%	30.0%	20.0%	15.0%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%			
30～39歳	16	8	3	4	6	2	7	2	0	1			
		50.0%	18.8%	25.0%	37.5%	12.5%	43.8%	12.5%	0.0%	6.3%			
40～49歳	27	13	5	7	12	6	11	5	1	0			
		48.1%	18.5%	25.9%	44.4%	22.2%	40.7%	18.5%	3.7%	0.0%			
50～59歳	32	23	5	13	11	9	4	4	1	0			
		71.9%	15.6%	40.6%	34.4%	28.1%	12.5%	12.5%	3.1%	0.0%			
60～69歳	40	15	11	15	15	9	7	2	1	0			
		37.5%	27.5%	37.5%	37.5%	22.5%	17.5%	5.0%	2.5%	0.0%			
70～79歳	54	28	11	18	31	13	6	6	0	1			
		51.9%	20.4%	33.3%	57.4%	24.1%	11.1%	11.1%	0.0%	1.9%			
80歳以上	31	10	4	10	16	15	1	2	0	0			
		32.3%	12.9%	32.3%	51.6%	48.4%	3.2%	6.5%	0.0%	0.0%			
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0			
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

《問9で「1～18」に○印をつけられた方におたずねします》

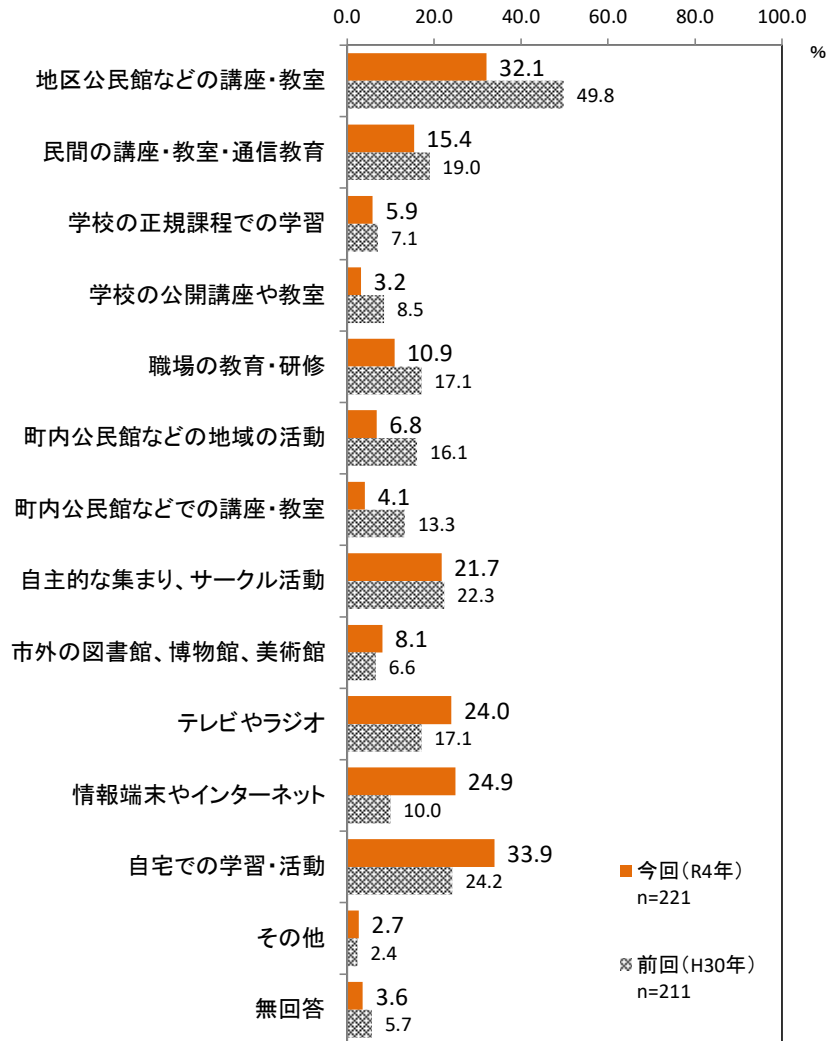
問11 あなたは、どのような場所や形態で生涯学習をしたことがありますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問11 生涯学習をしたことがある場所や形態

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室	71	32.1	105	49.8
カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座・教室・通信教育	34	15.4	40	19.0
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	13	5.9	14	7.1
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	7	3.2	18	8.5
職場の教育・研修	24	10.9	36	17.1
町内公民館、PTA、子ども会などの地域の活動	15	6.8	34	16.1
町内公民館やサロンなどでの講座・教室	9	4.1	28	13.3
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	48	21.7	47	22.3
市外の図書館、博物館、美術館	18	8.1	14	6.6
テレビやラジオ	53	24.0	36	17.1
情報端末やインターネット(eラーニング、Youtube等を含む)★	55	24.9	21	10.0
自宅での学習・活動(書籍など)	75	33.9	51	24.2
その他	6	2.7	5	2.4
無回答	8	3.6	12	5.7
回答者数	221		211	

※「★」: 前回調査の選択肢は「情報端末やインターネット(eラーニング含む)」



問11その他	性別	年齢
外(ランニングなので)	男性	40～44歳
ゴルフ練習場	男性	55～59歳
書道教室	女性	75～79歳
介護施設内	女性	80歳以上

	合計	などの講座・教室	地区公民館、市民体育館、文化会館	教室・通信教育	カルチャーセンターやスポーツなどの民間の講座・	院、専門学校の正規課程での学習	学校（高等学校、大学、専門学校など）の公開講座	職場の教育・研修	町内公民館、PTA、子ども会などの地域の活動	町内公民館やサロンなどでの講座・教室	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	市外の図書館、博物館、美術館	テレビやラジオ	情報端末やインターネット（eラーニング、YouTube等を含む）	自宅での学習・活動（書籍など）	その他	無回答
全体	221	71 32.1%	34 15.4%	13 5.9%	7 3.2%	24 10.9%	15 6.8%	9 4.1%	48 21.7%	18 8.1%	53 24.0%	55 24.9%	75 33.9%	6 2.7%	8 3.6%		
■性別																	
男性	110	30 27.3%	14 12.7%	7 6.4%	3 2.7%	13 11.8%	8 7.3%	4 3.6%	27 24.5%	10 9.1%	27 24.5%	36 32.7%	43 39.1%	2 1.8%	4 3.6%		
女性	102	39 38.2%	20 19.6%	6 5.9%	4 3.9%	10 9.8%	7 6.9%	4 3.9%	18 17.6%	8 7.8%	24 23.5%	18 17.6%	31 30.4%	4 3.9%	3 2.9%		
無回答	9	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%		
■年代別																	
18～29歳	20	4 20.0%	1 5.0%	5 25.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	2 10.0%	3 15.0%	6 30.0%	10 50.0%	0 0.0%	0 0.0%		
30～39歳	16	5 31.3%	0 0.0%	2 12.5%	0 0.0%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	3 18.8%	4 25.0%	4 25.0%	7 43.8%	8 50.0%	0 0.0%	1 6.3%		
40～49歳	27	8 29.6%	9 33.3%	2 7.4%	1 3.7%	6 22.2%	4 14.8%	1 3.7%	5 18.5%	1 3.7%	2 7.4%	11 40.7%	10 37.0%	1 3.7%	0 0.0%		
50～59歳	32	13 40.6%	8 25.0%	1 3.1%	3 9.4%	3 9.4%	2 6.3%	0 0.0%	5 15.6%	2 6.3%	3 9.4%	10 31.3%	13 40.6%	1 3.1%	2 6.3%		
60～69歳	40	9 22.5%	7 17.5%	1 2.5%	0 0.0%	5 12.5%	1 2.5%	0 0.0%	10 25.0%	4 10.0%	16 40.0%	10 25.0%	11 27.5%	0 0.0%	0 0.0%		
70～79歳	54	21 38.9%	5 9.3%	1 1.9%	0 0.0%	4 7.4%	3 5.6%	4 7.4%	14 25.9%	3 5.6%	17 31.5%	8 14.8%	18 33.3%	2 3.7%	3 5.6%		
80歳以上	31	11 35.5%	4 12.9%	1 3.2%	1 3.2%	1 3.2%	4 12.9%	4 12.9%	9 29.0%	2 6.5%	8 25.8%	3 9.7%	5 16.1%	2 6.5%	1 3.2%		
無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%		

《問9で生涯学習を「特にしていない」とお答えの人におたずねします》

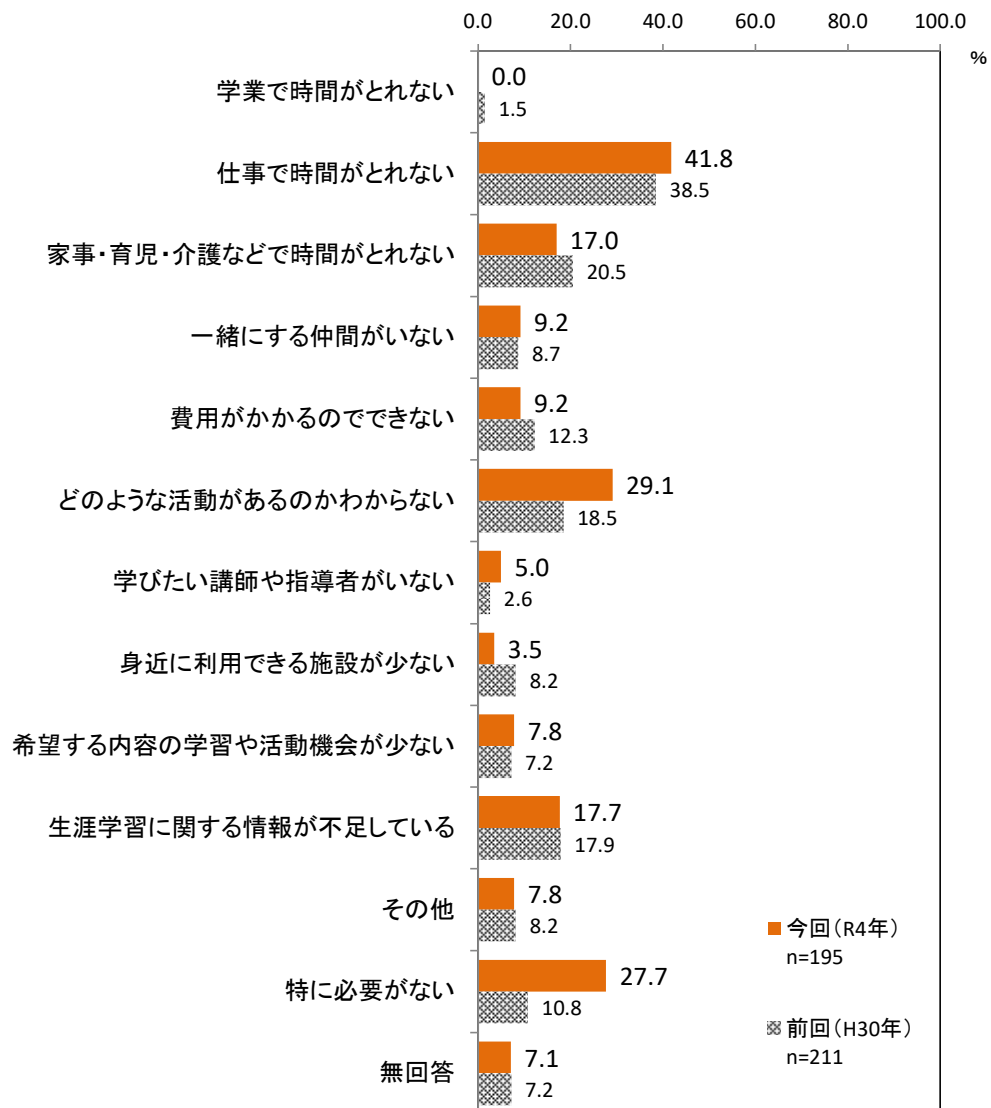
問12 あなたが生涯学習をしない理由(できない理由)は何ですか。

あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

問12生涯学習をしない理由

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
学業で時間がとれない	0	0.0	3	1.5
仕事で時間がとれない	59	41.8	75	38.5
家事・育児・介護などで時間がとれない	24	17.0	40	20.5
一緒にする仲間がいない	13	9.2	17	8.7
費用がかかるのでできない	13	9.2	24	12.3
どのような活動があるのかわからない	41	29.1	36	18.5
学びたい講師や指導者がいない	7	5.0	5	2.6
身近に利用できる施設が少ない	5	3.5	16	8.2
希望する内容の学習や活動機会が少ない	11	7.8	14	7.2
生涯学習に関する情報が不足している	25	17.7	35	17.9
その他	11	7.8	16	8.2
特に必要がない	39	27.7	21	10.8
無回答	10	7.1	14	7.2
回答者数	141		195	

問12その他	性別	年齢
他人と関わるのが面倒くさい、年齢的に世話係になりそう。	女性	40～44歳
週末は子供がいるので子供の預け先がない 場所によって遠かったり駐車場が狭かったり・・・ わざわざ行く必要が感じられない。	女性	40～44歳
茶道を習っていたがコロナを機に先生がやめてしまった。	女性	45～49歳
自分自身の体調による為	女性	55～59歳
募集する人数が少ない。	女性	65～69歳
病気(軽い精神疾患)	男性	70～74歳
体調不良	女性	75～79歳
病気、脊髄管狭束症	女性	75～79歳
入院中、視力低下	女性	75～79歳
興味がない。	女性	75～79歳
デイサービスに週3日通っていて、体力に余力がない。	女性	80歳以上
要介護4状態区分	女性	80歳以上
病気で参加出来ない。	女性	80歳以上



	合計	い 学 業 で 時 間 が と れ な	い 仕 事 で 時 間 が と れ な	ど 家 事 ・ 育 児 と れ な 介 護 な	な 一 緒 に す る 仲 間 が い	き 費 用 が か か る の で で	る の か わ か ら な い 活 動 が あ	者 学 び た い 講 師 や 指 導	設 身 近 に 利 用 で き る 施	や 活 動 機 会 が 少 な い 学 習	生 涯 学 習 に 関 する 情 報 が 不 足 し て い る	そ 他	特 に 必 要 が な い	無 回 答
全体	141	0 0.0%	59 41.8%	24 17.0%	13 9.2%	13 9.2%	41 29.1%	7 5.0%	5 3.5%	11 7.8%	25 17.7%	11 7.8%	39 27.7%	10 7.1%
■性別														
男性	49	0 0.0%	19 38.8%	2 4.1%	4 8.2%	3 6.1%	15 30.6%	5 10.2%	2 4.1%	4 8.2%	11 22.4%	2 4.1%	18 36.7%	5 10.2%
女性	89	0 0.0%	38 42.7%	22 24.7%	9 10.1%	10 11.2%	26 29.2%	2 2.2%	3 3.4%	7 7.9%	14 15.7%	9 10.1%	20 22.5%	5 5.6%
無回答	3	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
■年代別														
18～29歳	6	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%
30～39歳	14	0 0.0%	9 64.3%	5 35.7%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%
40～49歳	18	0 0.0%	11 61.1%	6 33.3%	1 5.6%	2 11.1%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	5 27.8%	0 0.0%
50～59歳	23	0 0.0%	17 73.9%	3 13.0%	3 13.0%	5 21.7%	13 56.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.3%	9 39.1%	1 4.3%	4 17.4%	1 4.3%
60～69歳	30	0 0.0%	12 40.0%	8 26.7%	4 13.3%	1 3.3%	10 33.3%	4 13.3%	4 13.3%	3 10.0%	6 20.0%	1 3.3%	5 16.7%	2 6.7%
70～79歳	30	0 0.0%	5 16.7%	1 3.3%	1 3.3%	3 10.0%	2 6.7%	2 6.7%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	4 13.3%	14 46.7%	5 16.7%
80歳以上	19	0 0.0%	2 10.5%	0 0.0%	3 15.8%	1 5.3%	8 42.1%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	3 15.8%	5 26.3%	2 10.5%
無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

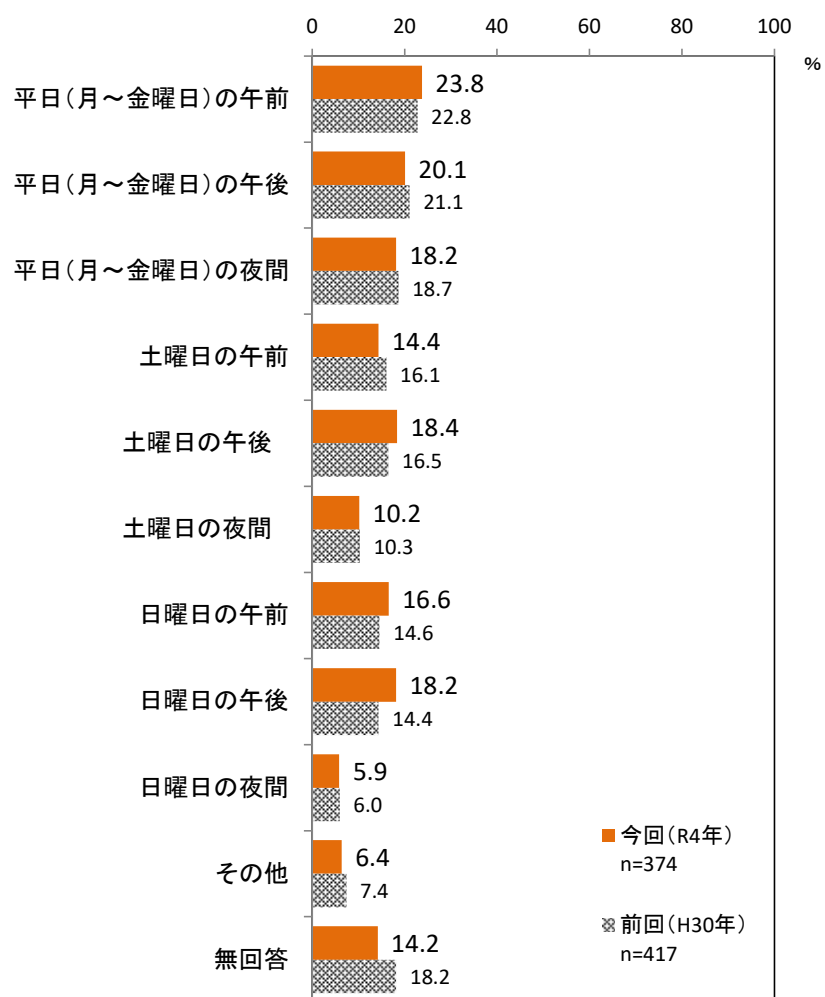
問 13 あなたが生涯学習を行う際に、都合の良い日時はいつですか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問13 生涯学習を行う際の都合の良い日時

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
平日(月～金曜日)の午前	89	23.8	95	22.8
平日(月～金曜日)の午後	75	20.1	88	21.1
平日(月～金曜日)の夜間	68	18.2	78	18.7
土曜日の午前	54	14.4	67	16.1
土曜日の午後	69	18.4	69	16.5
土曜日の夜間	38	10.2	43	10.3
日曜日の午前	62	16.6	61	14.6
日曜日の午後	68	18.2	60	14.4
日曜日の夜間	22	5.9	25	6.0
その他	24	6.4	31	7.4
無回答	53	14.2	76	18.2
回答者数		374	417	

※「夜間」とは午後5時以降とします。



問 13 その他	性別	年齢
不定の休みなので。	女性	25～29 歳
夜中	男性	25～29 歳
子どもが寝た後	女性	25～29 歳
わからない。	女性	35～39 歳
休みが不定期なので決められない。	女性	40～44 歳
不定期	女性	45～49 歳
ひまな時	男性	55～59 歳
特に無し。	女性	55～59 歳
予定が立てない。	男性	55～59 歳
火曜日の午前	女性	55～59 歳
仕事してない時間	男性	55～59 歳
本当に取組みだと思う。生涯学習があるならば、出席出来る様に調整する。	男性	55～59 歳
時間が空いた時	男性	55～59 歳
特にきめていない。自分らしさ！自分の都合です。	女性	60～64 歳
家事終了の夜	女性	60～64 歳
やりたいことができたならその時。	男性	60～64 歳
ケースバイケース	女性	60～64 歳
通信大学の日程に合わせて自宅並びに大学で学んだ。	男性	65～69 歳
知的障害ゆえ施設内で受けている。	男性	65～69 歳
決められたら絶対合わせなければいけない様に感じるから。	女性	70～74 歳
常時	男性	70～74 歳
毎日 24 時間	男性	70～74 歳
四六時中	男性	75～79 歳
深夜	男性	75～79 歳
仕事時間が不規則	男性	75～79 歳

	合計	平日（月～金曜日）の午前	平日（月～金曜日）の午後	平日（月～金曜日）の夜間	土曜日の午前	土曜日の午後	土曜日の夜間	日曜日の午前	日曜日の午後	日曜日の夜間	その他	無回答
全体	374	89 23.8%	75 20.1%	68 18.2%	54 14.4%	69 18.4%	38 10.2%	62 16.6%	68 18.2%	22 5.9%	24 6.4%	53 14.2%
■性別												
男性	165	25 15.2%	33 20.0%	31 18.8%	25 15.2%	33 20.0%	22 13.3%	35 21.2%	41 24.8%	13 7.9%	15 9.1%	24 14.5%
女性	195	61 31.3%	40 20.5%	34 17.4%	29 14.9%	35 17.9%	16 8.2%	27 13.8%	25 12.8%	8 4.1%	9 4.6%	25 12.8%
無回答	14	3 21.4%	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	4 28.6%
■年代別												
18～29歳	27	0 0.0%	2 7.4%	11 40.7%	2 7.4%	4 14.8%	4 14.8%	4 14.8%	6 22.2%	4 14.8%	4 14.8%	2 7.4%
30～39歳	30	5 16.7%	4 13.3%	9 30.0%	8 26.7%	9 30.0%	9 30.0%	7 23.3%	6 20.0%	8 26.7%	1 3.3%	1 3.3%
40～49歳	46	5 10.9%	3 6.5%	17 37.0%	15 32.6%	16 34.8%	8 17.4%	15 32.6%	17 37.0%	5 10.9%	2 4.3%	1 2.2%
50～59歳	55	6 10.9%	10 18.2%	17 30.9%	11 20.0%	17 30.9%	10 18.2%	12 21.8%	15 27.3%	1 1.8%	6 10.9%	3 5.5%
60～69歳	72	26 36.1%	12 16.7%	7 9.7%	9 12.5%	12 16.7%	6 8.3%	12 16.7%	10 13.9%	2 2.8%	5 6.9%	6 8.3%
70～79歳	88	32 36.4%	26 29.5%	6 6.8%	6 6.8%	8 9.1%	1 1.1%	6 6.8%	8 9.1%	1 1.1%	6 6.8%	21 23.9%
80歳以上	54	15 27.8%	18 33.3%	1 1.9%	3 5.6%	3 5.6%	0 0.0%	6 11.1%	5 9.3%	1 1.9%	0 0.0%	18 33.3%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

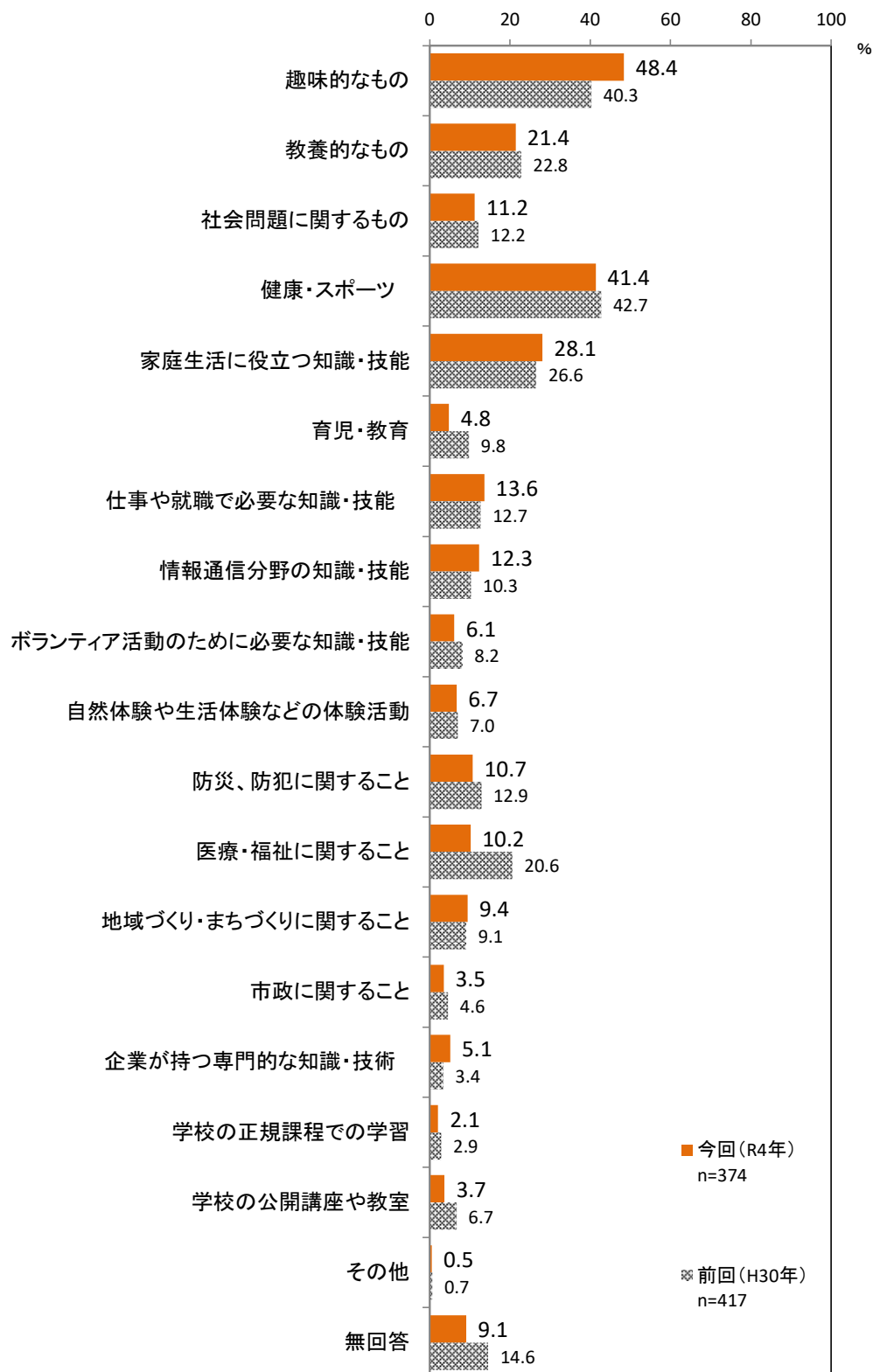
問 14 あなたは、どのようなことを学んでみたいと思いますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問14 学んでみたいこと

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	181	48.4	168	40.3
教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	80	21.4	95	22.8
社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	42	11.2	51	12.2
健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	155	41.4	178	42.7
家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	105	28.1	111	26.6
育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	18	4.8	41	9.8
仕事や就職に必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)	51	13.6	53	12.7
情報通信分野の知識・技能(プログラミング、Zoomの使い方など)	46	12.3	43	10.3
ボランティア活動のために必要な知識・技能	23	6.1	34	8.2
自然体験や生活体験などの体験活動	25	6.7	29	7.0
防災、防犯に関すること	40	10.7	54	12.9
医療・福祉に関すること	38	10.2	86	20.6
地域づくり・まちづくりに関すること	35	9.4	38	9.1
市政に関すること	13	3.5	19	4.6
企業が持つ専門的な知識・技術	19	5.1	14	3.4
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	8	2.1	12	2.9
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	14	3.7	28	6.7
その他	2	0.5	3	0.7
無回答	34	9.1	61	14.6
回答者数	374		417	

問14その他	性別	年齢
この先に…！と考えると特に無しです。	女性	60～64歳
身近に通信大学で学びたい科目や条件があればなお良かった。	男性	65～69歳
つり入門、魚つりを最初から指導してくれるような人材等。	男性	70～74歳
学びたいと思わない。	男性	75～79歳
老人向けのコーラス	女性	80歳以上
化粧品の内容、エステ	女性	80歳以上



	合計	181 48.4%	80 21.4%	42 11.2%	155 41.4%	105 28.1%	18 4.8%	51 13.6%	46 12.3%	23 6.1%	25 6.7%	40 10.7%	38 10.2%	35 9.4%	13 3.5%	19 5.1%	8 2.1%	14 3.7%	2 0.5%	34 9.1%
全体	374																			
■性別																				
男性	165	81 49.1%	38 23.0%	24 14.5%	74 44.8%	38 23.0%	5 3.0%	25 15.2%	24 14.5%	11 6.7%	16 9.7%	18 10.9%	12 7.3%	13 7.9%	7 4.2%	11 6.7%	1 0.6%	4 2.4%	2 1.2%	12 7.3%
女性	195	94 48.2%	41 21.0%	16 8.2%	76 39.0%	66 33.8%	13 6.7%	26 13.3%	22 11.3%	11 5.6%	9 4.6%	20 10.3%	26 13.3%	19 9.7%	6 3.1%	8 4.1%	7 3.6%	10 5.1%	0 0.0%	19 9.7%
無回答	14	6 42.9%	1 7.1%	2 14.3%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 21.4%
■年代別																				
18～29歳	27	12 44.4%	0 0.0%	1 3.7%	8 29.6%	8 29.6%	2 7.4%	8 29.6%	5 18.5%	1 3.7%	3 11.1%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	2 7.4%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	30	17 56.7%	6 20.0%	4 13.3%	10 33.3%	16 53.3%	9 30.0%	14 46.7%	6 20.0%	2 6.7%	4 13.3%	3 10.0%	6 20.0%	4 13.3%	0 0.0%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
40～49歳	46	28 60.9%	9 19.6%	1 2.2%	21 45.7%	15 32.6%	3 6.5%	11 23.9%	11 23.9%	4 8.7%	5 10.9%	7 15.2%	6 13.0%	5 10.9%	1 2.2%	5 10.9%	3 6.5%	3 6.5%	0 0.0%	1 2.2%
50～59歳	55	29 52.7%	16 29.1%	7 12.7%	26 47.3%	18 32.7%	4 7.3%	10 18.2%	11 20.0%	4 7.3%	4 7.3%	5 9.1%	5 9.1%	5 9.1%	3 5.5%	7 12.7%	2 3.6%	5 9.1%	1 1.8%	1 1.8%
60～69歳	72	38 52.8%	17 23.6%	7 9.7%	32 44.4%	21 29.2%	0 0.0%	3 4.2%	5 6.9%	5 6.9%	3 4.2%	3 4.2%	5 6.9%	4 5.6%	1 1.4%	2 2.8%	1 1.4%	1 1.4%	1 1.4%	4 5.6%
70～79歳	88	36 40.9%	22 25.0%	17 19.3%	40 45.5%	22 25.0%	0 0.0%	5 5.7%	6 6.8%	5 5.7%	5 5.7%	11 12.5%	10 11.4%	8 9.1%	5 5.7%	3 3.4%	0 0.0%	2 2.3%	0 0.0%	14 15.9%
80歳以上	54	21 38.9%	10 18.5%	5 9.3%	17 31.5%	5 9.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%	10 18.5%	5 9.3%	8 14.8%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	12 22.2%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

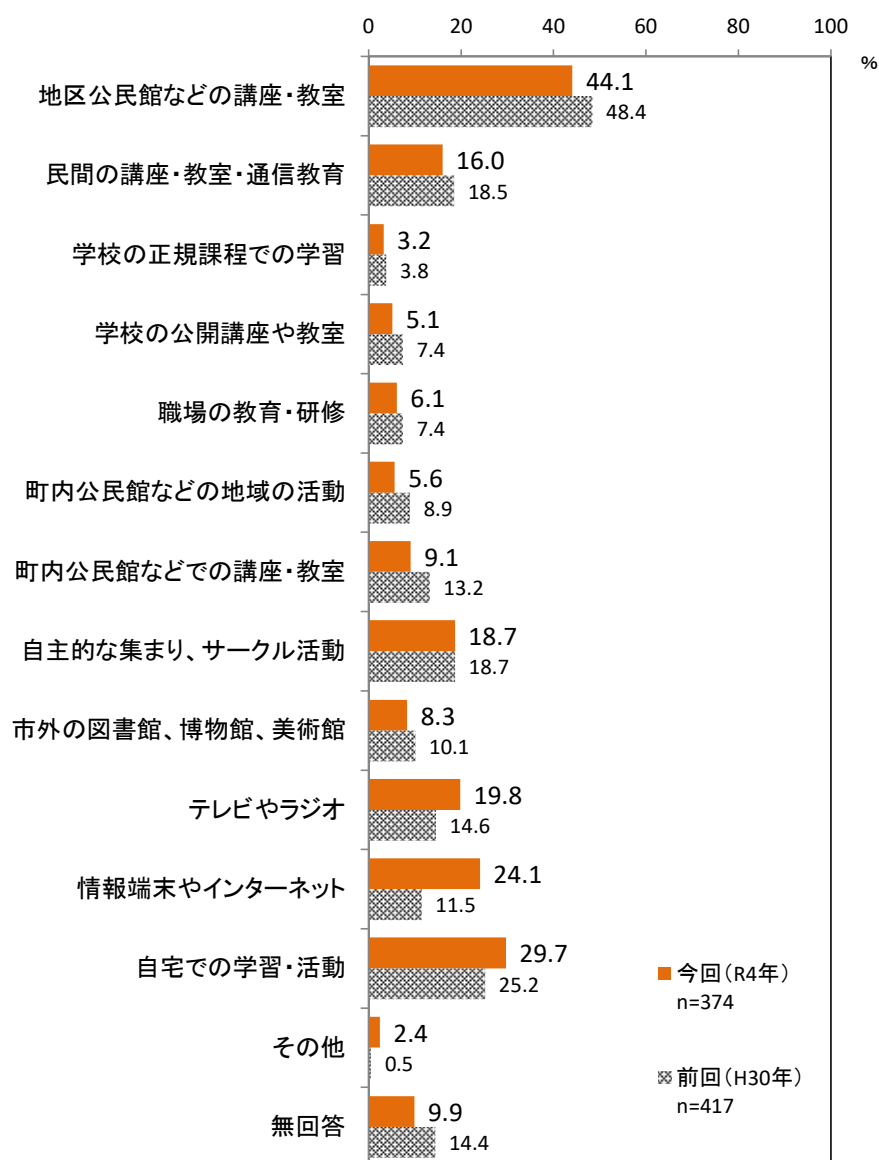
問 15 あなたは、今後どのような場所や形態で生涯学習をしたいと思いますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

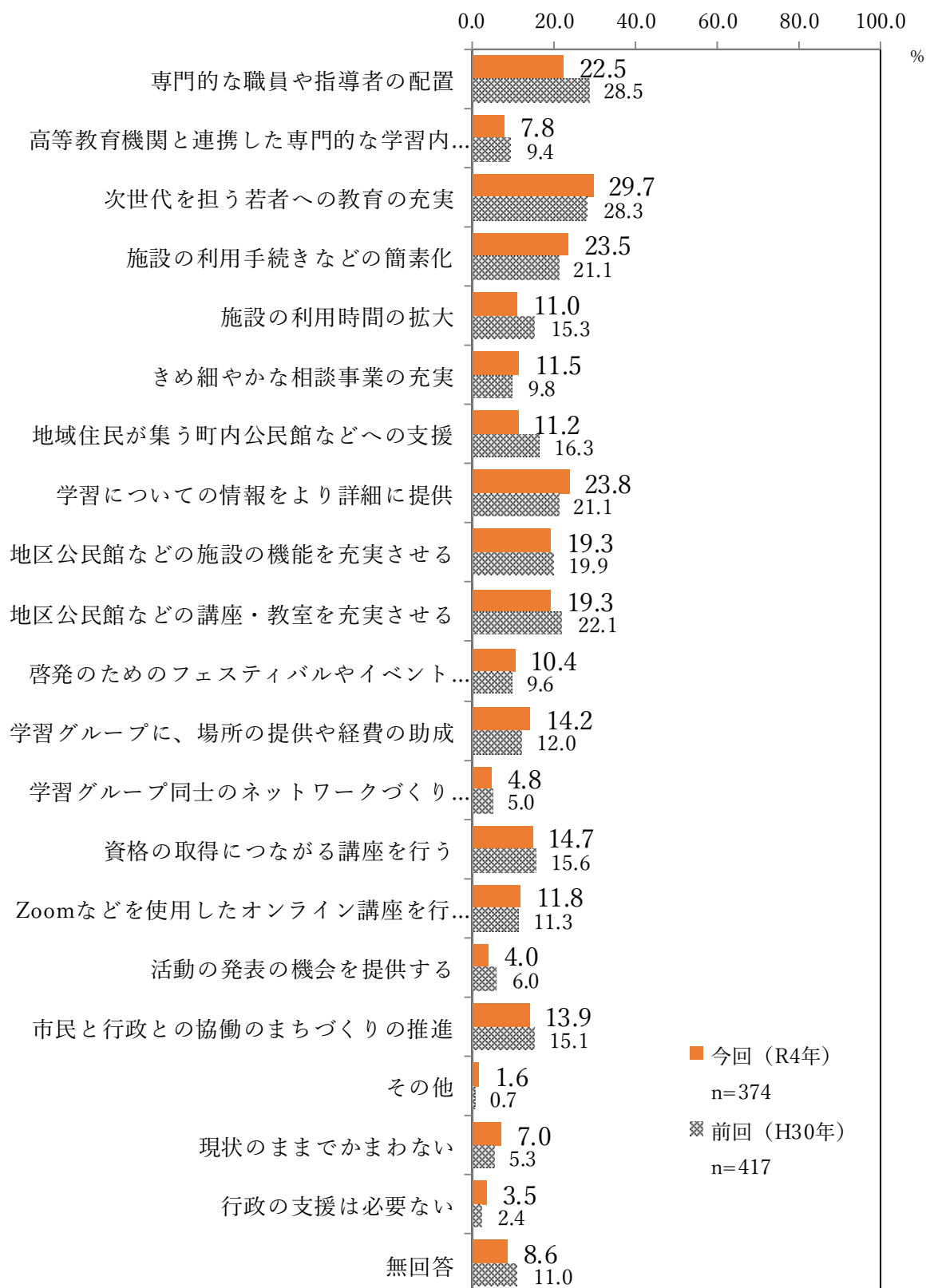
問15 今後、生涯学習したい場所や形態

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室	165	44.1	202	48.4
カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座・教室・通信教育	60	16.0	77	18.5
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	12	3.2	16	3.8
学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	19	5.1	31	7.4
職場の教育・研修	23	6.1	31	7.4
町内公民館、PTA、子ども会などの地域の活動	21	5.6	37	8.9
町内公民館やサロンなどでの講座・教室	34	9.1	55	13.2
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	70	18.7	78	18.7
市外の図書館、博物館、美術館	31	8.3	42	10.1
テレビやラジオ	74	19.8	61	14.6
情報端末やインターネット(eラーニング、Youtube等を含む)★	90	24.1	48	11.5
自宅での学習・活動(書籍など)	111	29.7	105	25.2
その他	9	2.4	2	0.5
無回答	37	9.9	60	14.4
回答者数	374		417	

※「★」: 前回調査の選択肢は「情報端末やインターネット(eラーニング含む)」

問15その他	性別	年齢
カフェなど	男性	25～29歳
初めての方でも学びやすい講座や指導者	女性	50～54歳
決まっていない。	男性	60～64歳
高齢まで学べる通信大学が身近にあれば受けたい。	男性	65～69歳
つり、とくに海づりについて学びたい。有明海という恵まれた自然を活かせたら。	男性	70～74歳
近所の方に手助けをしているのでこれで良いです。	女性	70～74歳
したいと思わない。	男性	75～79歳
介護施設内	女性	80歳以上





問16その他	性別	年齢
専門学校や大学の誘致	男性	35～39歳
スポーツ等であれば、施設の利用料の無料化、外の照明設備の増加、利用料の補助 学習や資格取得なら講座開催して、いつでも受けられるようにして、続けられる環境をつくってほしい。	男性	40～44歳
資金援助	男性	45～49歳
宮原坑等の歴史的、教育的遺産の場所に子供達、家族が過ごし易い公園等を設備する。世界遺産でも人が集まらなければそれを知る教育の機会も減り、無意味に近いし、その付近に住もうと考える人達も増えない！と思う。良い例、吉野ヶ里公園、大牟田市動物園。	男性	45～49歳
昔の青年の家のように若者のサークルがあれば、楽しい。	女性	50～54歳
荒尾市立図書館内にある「静かな部屋」という学習ルームが魅力的だった。	女性	50～54歳
あまりよくわからない。	女性	65～69歳
図書費を充実させ駐車場の広い場所へ、市内に美術館。	女性	70～74歳
三川公民館にPCの設置をお願いします。デスクトップPCの為中断しています。	女性	80歳以上
介護施設入所者への出前授業	女性	80歳以上

[illegible]

問17 少子・高齢化が進む中、行政が、特に力を入れて進めるべき取り組みはどのようなことだと思いますか(学校教育を除きます)。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

問17 少子・高齢化が進む中で行政が特に力を入れて進めるべきこと

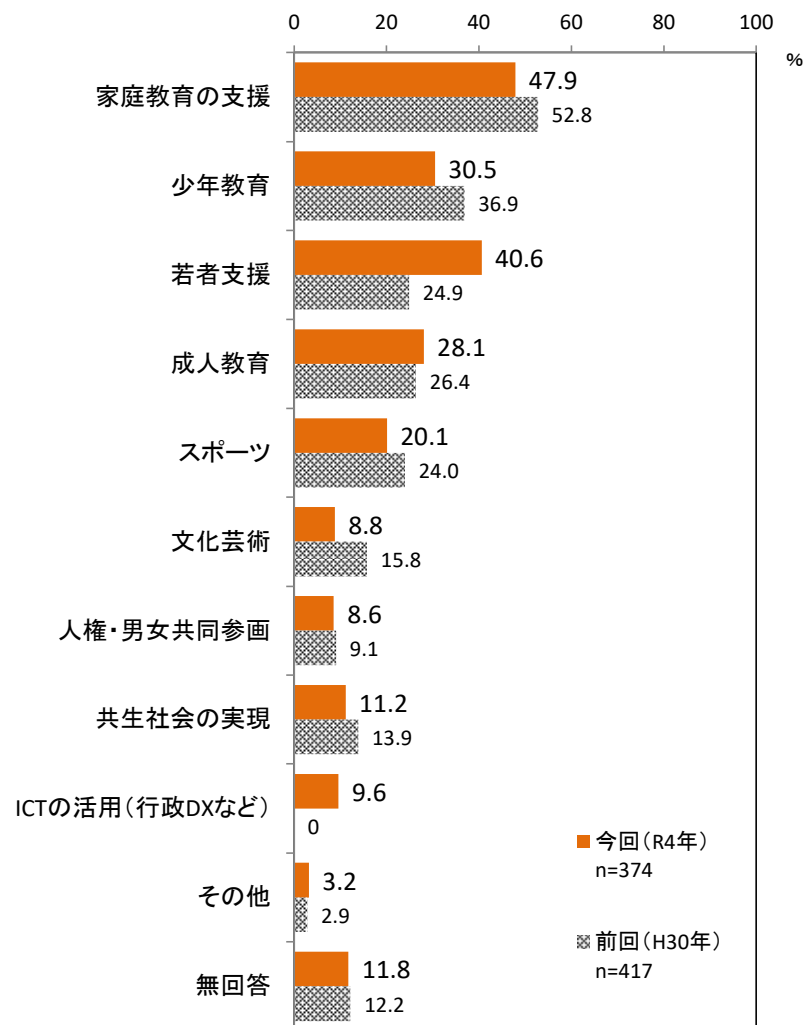
	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
家庭教育の支援(子育て講座の充実、子育てに関する情報提供など)	179	47.9	220	52.8
少年教育(子どもの体験活動、読書活動の充実など)	114	30.5	154	36.9
若者支援(若者の社会参加の促進など)★1	152	40.6	104	24.9
成人教育(各種講座・教室の充実、まなび直し、スキルアップ、学習情報の提供など)	105	28.1	110	26.4
スポーツ(スポーツ事業の充実、スポーツ大会の奨励など)	75	20.1	100	24.0
文化芸術(文化芸術事業の充実など)	33	8.8	66	15.8
人権・男女共同参画(人権教育・啓発活動、男女共同参画の機会の充実など)★2	32	8.6	38	9.1
共生社会の実現(障がい者・外国人のまなぶ機会の提供など)★3	42	11.2	58	13.9
ICTの活用(行政DXなど)★4	36	9.6	—	—
その他	12	3.2	12	2.9
無回答	44	11.8	51	12.2
回答者数	374		417	

※「★1」: 前回調査の選択肢は「少年教育(子どもの体験活動、読書活動の充実など)」

※「★2」: 前回調査の選択肢は「人権(人権教育・啓発活動など)人権(人権教育・啓発活動など)」

※「★3」: 前回調査の選択肢は「多文化共生(国際交流など)多文化共生(国際交流など)」

※「★4」: 前回調査ではなし



問 17 その他	性別	年齢
若年者に対する経済的支援及び結婚等の支援	男性	35～39 歳
高齢者、障がい者への支援、支援手続きの簡素化、支援内容の分かりやすい公布	男性	35～39 歳
子育てについての支援援助金等	男性	40～44 歳
幼児、少年、若者の学ぶ環境の設備として、塾に行けない子のために全部地区公民館へ塾の先生や若者(高校生、大学生)を有償で派遣し、毎日学校以外でも学べる場所の提供をすることで、学力の向上と経済的な支援の両方を行い互いに WIN—WIN になる形をつくってほしい。	男性	40～44 歳
大学無償化、大学生 1 人暮らしの保障。	女性	45～49 歳
どうすればよいか分からない。	男性	45～49 歳
地域全体で子ども育てる取り組みを！！地域イベントを増やしたれもが参加できる様にして近所皆が顔見知りになる機会を。	女性	45～49 歳
他の市からの流入意欲をもたらせる物産・観光・食など。	男性	45～49 歳
インフラ整備(夏場の増水対策)	男性	45～49 歳
私も、私のまわりも、子供ができなかった人がたくさんいます。不妊治療は高額です。補助してくれたらもっともう少しがんばれたかもしれません。	女性	50～54 歳
各社交関係の連携の実現	女性	55～59 歳
地球温暖化の一番の原因は、世界中の人口増加で少子化は、地球規模で考えたなら致し方ないかと思います。	男性	55～59 歳
何かをやりたいと思っている人を応援してください。	男性	60～64 歳
子育てだけ力を入れてるのが今の世の中、もう少し高齢化(高齢者)に対して行政が足りてないように思う。	女性	65～69 歳
高齢者が元気になれる運動を市全体で高める工夫が重要である。	男性	65～69 歳
出産育児教育に関わる負担をなくす。	男性	70～74 歳
学習支援	男性	70～74 歳
息、食、動、想と環境の調和なり。	男性	75～79 歳
趣味の作品展等市外迄も公開、交流市美展、有明美術館等、伝統的に迄いかない展示を指します。	女性	75～79 歳
向上心のある若者への奨学金の支給・教育費の削減	男性	75～79 歳
介護施設入所者への支援	女性	80 歳以上

	合計	情報提供など	家庭教育の充実、子育てに関する講座	家庭読書の活動の充実など	少年教育（子どもの体験活動）	若者支援（若者の社会参加の促進など）	など	の充実、まなび直しの提供	成人教育（各種講座、教室）	など	充実、スポーツ大会の奨励	スポーツ（スポーツ大会の事業）	文化芸術（文化芸術事業の充実など）	参画の機会（文化芸術事業の充実など）	教育・啓発活動、男女共同参画の機会（文化芸術事業の充実など）	人権・男女共同参画（人権啓発活動、男女共同参画の機会）	提供者・外国人のまなぶ機会の提供など	共生社会の実現（障がいのある人のまなぶ機会の提供など）	ICTの活用（行政DXなど）	その他	無回答	
全体	374	179 47.9%	114 30.5%	152 40.6%	105 28.1%	75 20.1%	33 8.8%	32 8.6%	42 11.2%	36 9.6%	12 3.2%	44 11.8%										
■性別																						
男性	165	82 49.7%	53 32.1%	57 34.5%	36 21.8%	38 23.0%	12 7.3%	10 6.1%	17 10.3%	24 14.5%	10 6.1%	14 8.5%										
女性	195	92 47.2%	57 29.2%	93 47.7%	65 33.3%	34 17.4%	21 10.8%	19 9.7%	21 10.8%	12 6.2%	2 1.0%	26 13.3%										
無回答	14	5 35.7%	4 28.6%	2 14.3%	4 28.6%	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	4 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%										
■年代別																						
18～29歳	27	16 59.3%	11 40.7%	14 51.9%	11 40.7%	4 14.8%	0 0.0%	2 7.4%	2 7.4%	4 14.8%	0 0.0%	1 3.7%										
30～39歳	30	19 63.3%	11 36.7%	9 30.0%	14 46.7%	4 13.3%	3 10.0%	1 3.3%	6 20.0%	4 13.3%	2 6.7%	1 3.3%										
40～49歳	46	25 54.3%	10 21.7%	15 32.6%	16 34.8%	9 19.6%	2 4.3%	3 6.5%	6 13.0%	7 15.2%	3 6.5%	4 8.7%										
50～59歳	55	24 43.6%	15 27.3%	24 43.6%	15 27.3%	10 18.2%	2 3.6%	6 10.9%	4 7.3%	10 18.2%	2 3.6%	4 7.3%										
60～69歳	72	40 55.6%	19 26.4%	29 40.3%	17 23.6%	20 27.8%	9 12.5%	5 6.9%	11 15.3%	2 2.8%	1 1.4%	6 8.3%										
70～79歳	88	33 37.5%	35 39.8%	41 46.6%	21 23.9%	20 22.7%	12 13.6%	8 9.1%	5 5.7%	7 8.0%	3 3.4%	12 13.6%										
80歳以上	54	21 38.9%	12 22.2%	20 37.0%	11 20.4%	7 13.0%	5 9.3%	7 13.0%	8 14.8%	2 3.7%	1 1.9%	15 27.8%										
無回答	2	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%										

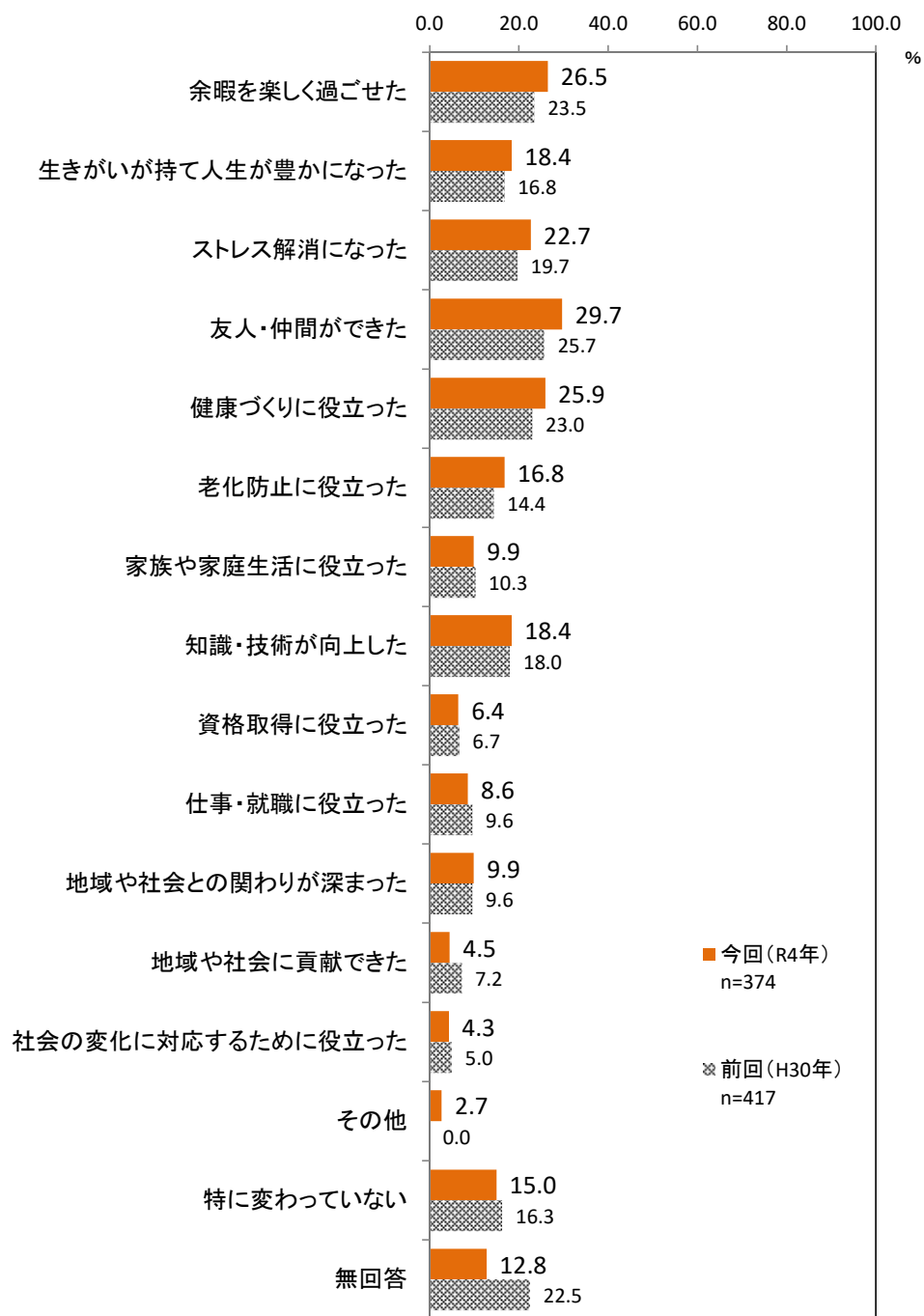
2. 学んだ成果について

問 18 あなたは、これまでに生涯学習を行って、自分がどのように変わったと感じますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問18 生涯学習を行って自分が変わったと思うこと

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
余暇を楽しく過ごせた	99	26.5	98	23.5
生きがいが増えて人生が豊かになった	69	18.4	70	16.8
ストレス解消になった	85	22.7	82	19.7
友人・仲間ができた	111	29.7	107	25.7
健康づくりに役立った	97	25.9	96	23.0
老化防止に役立った	63	16.8	60	14.4
家族や家庭生活に役立った	37	9.9	43	10.3
知識・技術が向上した	69	18.4	75	18.0
資格取得に役立った	24	6.4	28	6.7
仕事・就職に役立った	32	8.6	40	9.6
地域や社会との関わりが深まった	37	9.9	40	9.6
地域や社会に貢献できた	17	4.5	30	7.2
社会の変化に対応するために役立った	16	4.3	21	5.0
その他	10	2.7	0	0.0
特に変わっていない	56	15.0	68	16.3
無回答	48	12.8	94	22.5
回答者数	374		417	

問18その他	性別	年齢
1つの学習によって他の学習へと繋げる事ができるようになった。	男性	35～39歳
子ども達がスポーツを通して成長し多くの人と関わるきっかけとなっています。	男性	40～44歳
生涯学習を行っていない。	女性	55～59歳
特に生涯学習を行ってない。	女性	60～64歳
行ってない。	男性	70～74歳
生涯学習をやったことがない。	女性	70～74歳
学んでいませのでわかりません。	女性	70～74歳
特にしていない	女性	70～74歳
全てに参加できない。病気のため。	男性	70～74歳
生涯学習したことない。	男性	75～79歳
生涯学習に参加したことがない。	男性	80歳以上



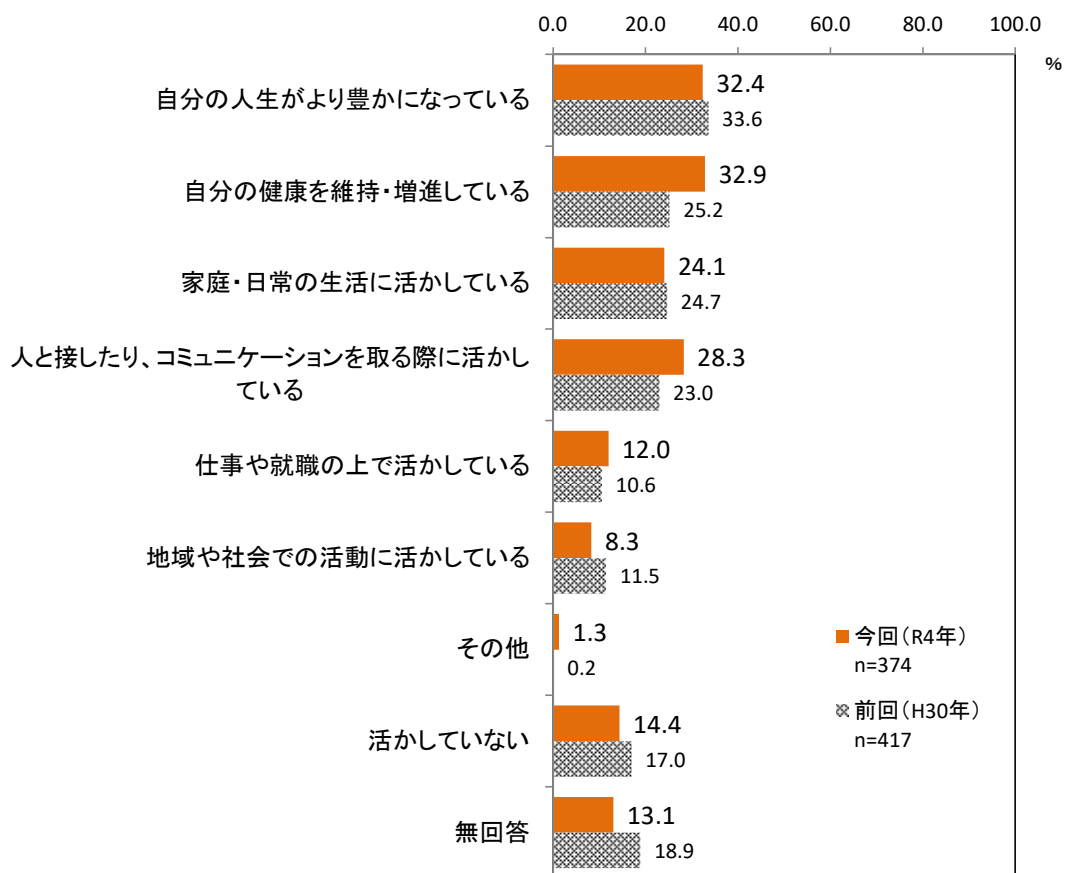
	合計	余暇を楽しく過ごせた	生きがいになった	ストレス解消になった	友人・仲間ができた	健康づくりに役立った	老化防止に役立った	家族や家庭生活に役立った	知識・技術が向上した	資格取得に役立った	仕事・就職に役立った	地域や社会との関わりが深まった	地域や社会に貢献できた	社会の変化に対応するために役立った	その他	特に変わっていない	無回答
全体	374	99 26.5%	69 18.4%	85 22.7%	111 29.7%	97 25.9%	63 16.8%	37 9.9%	69 18.4%	24 6.4%	32 8.6%	37 9.9%	17 4.5%	16 4.3%	10 2.7%	56 15.0%	48 12.8%
■性別																	
男性	165	42 25.5%	33 20.0%	39 23.6%	46 27.9%	50 30.3%	28 17.0%	11 6.7%	36 21.8%	8 4.8%	18 10.9%	21 12.7%	9 5.5%	10 6.1%	5 3.0%	26 15.8%	16 9.7%
女性	195	54 27.7%	33 16.9%	44 22.6%	61 31.3%	42 21.5%	31 15.9%	25 12.8%	33 16.9%	16 8.2%	14 7.2%	15 7.7%	8 4.1%	5 2.6%	5 2.6%	30 15.4%	28 14.4%
無回答	14	3 21.4%	3 21.4%	2 14.3%	4 28.6%	5 35.7%	4 28.6%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 28.6%
■年代別																	
18～29歳	27	5 18.5%	1 3.7%	5 18.5%	4 14.8%	1 3.7%	0 0.0%	3 11.1%	7 25.9%	2 7.4%	4 14.8%	2 7.4%	2 7.4%	0 0.0%	1 3.7%	7 25.9%	0 0.0%
30～39歳	30	7 23.3%	4 13.3%	8 26.7%	8 26.7%	8 26.7%	1 3.3%	3 10.0%	5 16.7%	4 13.3%	6 20.0%	2 6.7%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%	9 30.0%	0 0.0%
40～49歳	46	9 19.6%	7 15.2%	14 30.4%	12 26.1%	7 15.2%	2 4.3%	6 13.0%	14 30.4%	7 15.2%	10 21.7%	5 10.9%	2 4.3%	1 2.2%	1 2.2%	10 21.7%	3 6.5%
50～59歳	55	18 32.7%	7 12.7%	12 21.8%	15 27.3%	13 23.6%	2 3.6%	6 10.9%	12 21.8%	3 5.5%	3 5.5%	6 10.9%	3 5.5%	3 5.5%	1 1.8%	12 21.8%	1 1.8%
60～69歳	72	21 29.2%	16 22.2%	21 29.2%	22 30.6%	20 27.8%	12 16.7%	11 15.3%	16 22.2%	3 4.2%	7 9.7%	6 8.3%	1 1.4%	4 5.6%	1 1.4%	3 4.2%	14 19.4%
70～79歳	88	24 27.3%	22 25.0%	17 19.3%	27 30.7%	32 36.4%	27 30.7%	5 5.7%	11 12.5%	4 4.5%	1 1.1%	10 11.4%	6 6.8%	5 5.7%	4 4.5%	10 11.4%	17 19.3%
80歳以上	54	15 27.8%	12 22.2%	8 14.8%	23 42.6%	15 27.8%	19 35.2%	3 5.6%	4 7.4%	1 1.9%	1 1.9%	6 11.1%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%	5 9.3%	12 22.2%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

問 19 あなたは、これまでの人生や生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験をどのようなことに活かしていますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問19 生涯学習を通じて得た知識・技能や経験等の活かした方

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
自分の人生がより豊かになっている	121	32.4	140	33.6
自分の健康を維持・増進している	123	32.9	105	25.2
家庭・日常生活に活かしている	90	24.1	103	24.7
人と接したり、コミュニケーションを取る際に活かしている	106	28.3	96	23.0
仕事や就職の上で活かしている(仕事で役立つスキルや資格を身につけた、給与面で優遇を受けた、就職活動に役立ったなど)	45	12.0	44	10.6
地域や社会での活動に活かしている(学習、スポーツ、文化活動などの指導やボランティア活動など)	31	8.3	48	11.5
その他	5	1.3	1	0.2
活かしていない	54	14.4	71	17.0
無回答	49	13.1	79	18.9
回答者数	374		417	

問19その他	性別	年齢
日本野鳥の会で活動している。	男性	70～74歳
学ぶ事そのものが目的の場合がある。	女性	75～79歳
生涯学習をしてないから。	女性	75～79歳
高齢化とコロナで現在はやっていない。	女性	80歳以上



	合計	自分の人生がより豊かに	自分の健康を維持・増進	家庭・日常の生活に活か	人と接したり、コミュニケーションを取る際に活	仕事や就職の上で活かし	地域や社会での活動に活	その他	活かしていない	無回答
全体	374	121 32.4%	123 32.9%	90 24.1%	106 28.3%	45 12.0%	31 8.3%	5 1.3%	54 14.4%	49 13.1%
■性別										
男性	165	58 35.2%	64 38.8%	38 23.0%	46 27.9%	25 15.2%	16 9.7%	1 0.6%	23 13.9%	12 7.3%
女性	195	62 31.8%	52 26.7%	51 26.2%	58 29.7%	20 10.3%	14 7.2%	4 2.1%	30 15.4%	32 16.4%
無回答	14	1 7.1%	7 50.0%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	5 35.7%
■年代別										
18～29歳	27	9 33.3%	6 22.2%	11 40.7%	9 33.3%	4 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	3 11.1%	0 0.0%
30～39歳	30	9 30.0%	8 26.7%	8 26.7%	7 23.3%	8 26.7%	2 6.7%	0 0.0%	4 13.3%	0 0.0%
40～49歳	46	14 30.4%	11 23.9%	10 21.7%	15 32.6%	11 23.9%	6 13.0%	0 0.0%	10 21.7%	3 6.5%
50～59歳	55	25 45.5%	11 20.0%	11 20.0%	18 32.7%	11 20.0%	7 12.7%	0 0.0%	13 23.6%	2 3.6%
60～69歳	72	20 27.8%	21 29.2%	18 25.0%	21 29.2%	7 9.7%	5 6.9%	0 0.0%	7 9.7%	14 19.4%
70～79歳	88	31 35.2%	42 47.7%	24 27.3%	24 27.3%	2 2.3%	9 10.2%	4 4.5%	10 11.4%	15 17.0%
80歳以上	54	13 24.1%	23 42.6%	8 14.8%	12 22.2%	2 3.7%	2 3.7%	1 1.9%	7 13.0%	14 25.9%
無回答	2	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

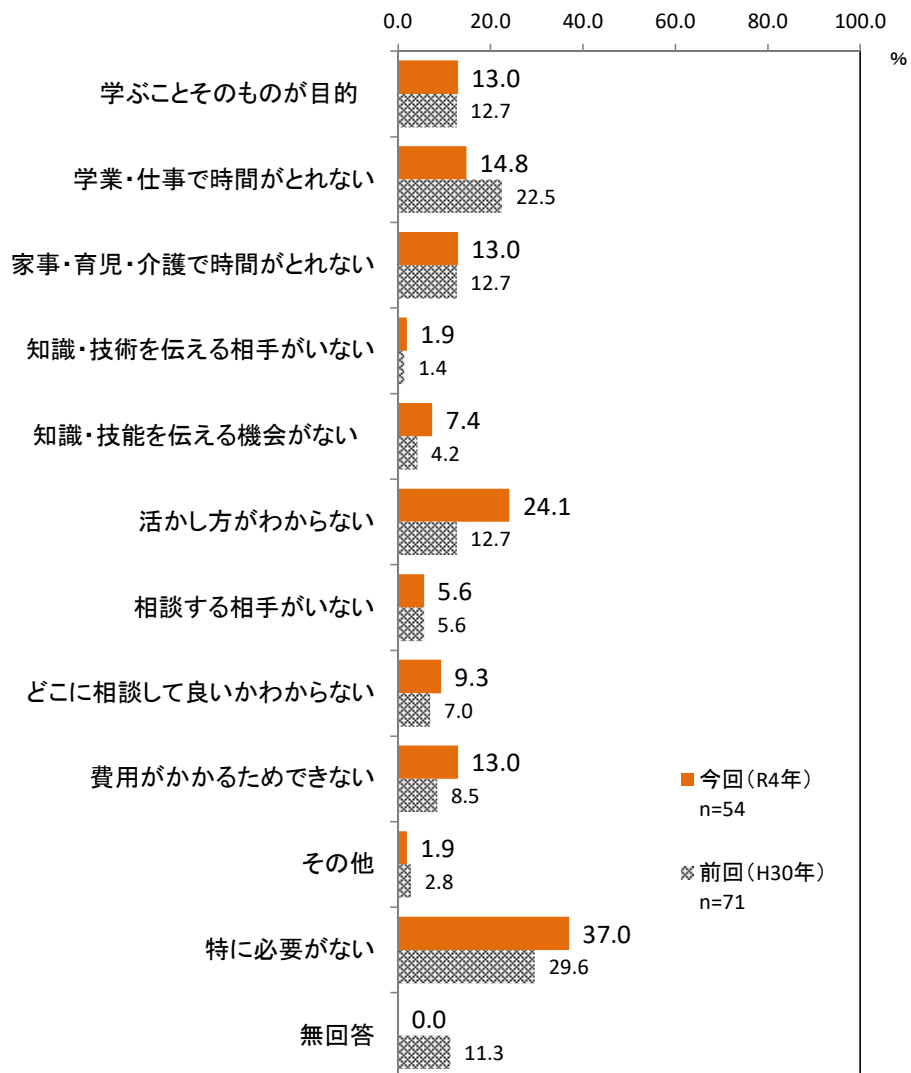
《問 19 で、生涯学習の成果を「活かしていない」とお答えの方におたずねします》

問20 あなたが学習によって得た知識、経験、技能を活かしていない理由は何ですか。
あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

問20 学習によって得た知識、経験、技能を活かしていない理由

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
学ぶことそのものが目的	7	13.0	9	12.7
学業・仕事で時間がとれない	8	14.8	16	22.5
家事・育児・介護で時間がとれない	7	13.0	9	12.7
知識・技術を伝える相手がいらない	1	1.9	1	1.4
知識・技能を伝える機会がない	4	7.4	3	4.2
活かし方がわからない	13	24.1	9	12.7
相談する相手がいらない	3	5.6	4	5.6
どこに相談して良いかわからない	5	9.3	5	7.0
費用がかかるためできない	7	13.0	6	8.5
その他	1	1.9	2	2.8
特に必要がない	20	37.0	21	29.6
無回答	0	0.0	8	11.3
回答者数	54		71	

(その他 1 件の具体的な記述なし)

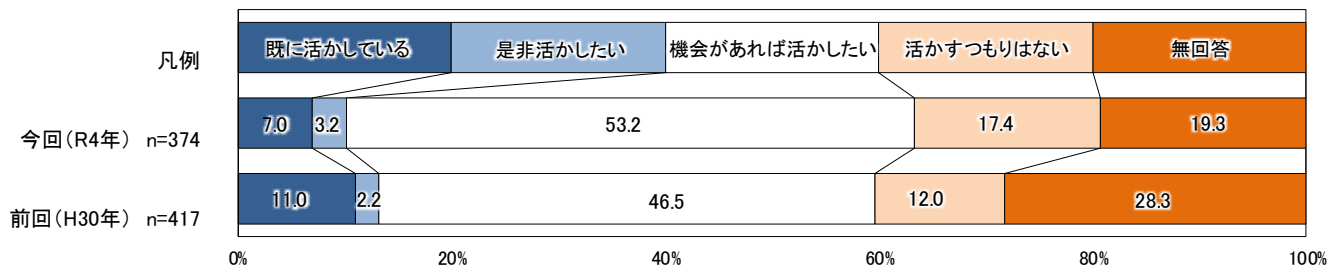


	合計	学的 ぶこと その ものが	と 業・仕事 で時間 が	家事・ 育児・ 介護 で	知識・ 技術 を伝える	知識・ 技能 を伝える	活 かし 方 が わ か ら な	相 談 す る 相 手 が い な	ど こ に 相 談 し て 良 い	費 用 が か か る た め で	そ の 他	特 に 必 要 が な い	無 回 答
全体	54	7 13.0%	8 14.8%	7 13.0%	1 1.9%	4 7.4%	13 24.1%	3 5.6%	5 9.3%	7 13.0%	1 1.9%	20 37.0%	0 0.0%
■性別													
男性	23	1 4.3%	4 17.4%	2 8.7%	0 0.0%	1 4.3%	4 17.4%	2 8.7%	4 17.4%	5 21.7%	1 4.3%	9 39.1%	0 0.0%
女性	30	5 16.7%	4 13.3%	5 16.7%	1 3.3%	3 10.0%	9 30.0%	1 3.3%	1 3.3%	2 6.7%	0 0.0%	11 36.7%	0 0.0%
無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
■年代別													
18～29歳	3	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
30～39歳	4	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%
40～49歳	10	0 0.0%	2 20.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	0 0.0%
50～59歳	13	1 7.7%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%	1 7.7%	4 30.8%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	3 23.1%	0 0.0%
60～69歳	7	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
70～79歳	10	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	0 0.0%	5 50.0%	0 0.0%
80歳以上	7	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 21 あなたは、これまで身につけた知識や技能を、地域活動やボランティア活動などを通して、地域や人々のために活かしたいと思いますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

問21 身につけた知識や技能の活用意向

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
既に活かしている	26	7.0	46	11.0
是非活かしたい	12	3.2	9	2.2
機会があれば活かしたい	199	53.2	194	46.5
活かすつもりはない	65	17.4	50	12.0
無回答	72	19.3	118	28.3
合計(回答者数)	374	100.0	417	100.0



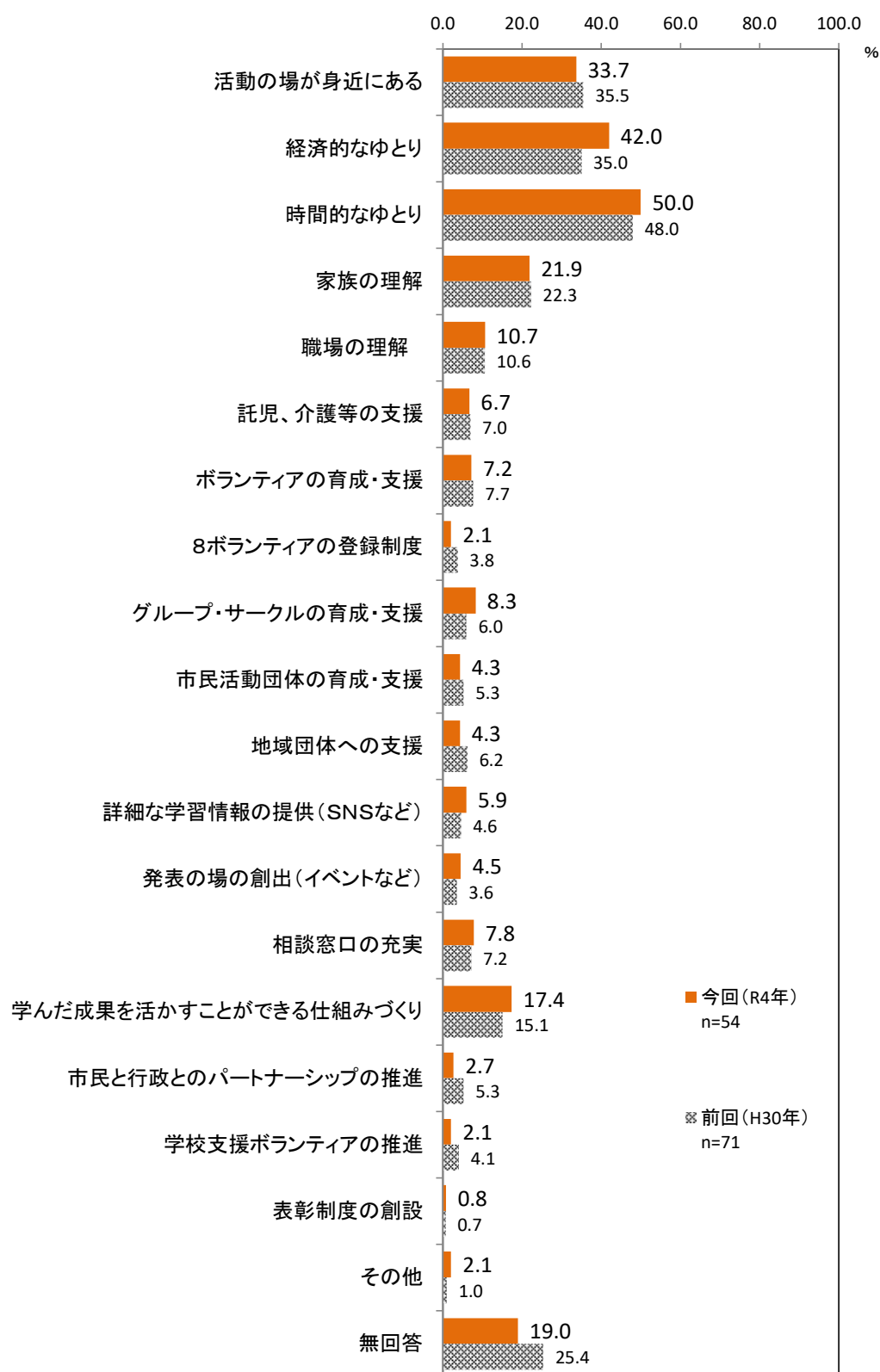
	合計	既に活かしている	是非活かしたい	機会があれば活かしたい	活かすつもりはない	無回答
全体	374 100.0%	26 7.0%	12 3.2%	199 53.2%	65 17.4%	72 19.3%
■ 性別						
男性	165 100.0%	14 8.5%	9 5.5%	91 55.2%	26 15.8%	25 15.2%
女性	195 100.0%	10 5.1%	3 1.5%	103 52.8%	38 19.5%	41 21.0%
無回答	14 100.0%	2 14.3%	0 0.0%	5 35.7%	1 7.1%	6 42.9%
■ 年代別						
18～29歳	27 100.0%	1 3.7%	1 3.7%	19 70.4%	3 11.1%	3 11.1%
30～39歳	30 100.0%	2 6.7%	2 6.7%	17 56.7%	6 20.0%	3 10.0%
40～49歳	46 100.0%	4 8.7%	4 8.7%	23 50.0%	10 21.7%	5 10.9%
50～59歳	55 100.0%	5 9.1%	1 1.8%	37 67.3%	10 18.2%	2 3.6%
60～69歳	72 100.0%	5 6.9%	0 0.0%	41 56.9%	11 15.3%	15 20.8%
70～79歳	88 100.0%	6 6.8%	2 2.3%	43 48.9%	15 17.0%	22 25.0%
80歳以上	54 100.0%	3 5.6%	2 3.7%	19 35.2%	9 16.7%	21 38.9%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%

問22 学んだ成果を活かすために、何が必要だと思いますか。
 あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問22 学んだ成果を活かすために必要なこと

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
活動の場が身近にある	126	33.7	148	35.5
経済的なゆとり	157	42.0	146	35.0
時間的なゆとり	187	50.0	200	48.0
家族の理解	82	21.9	93	22.3
職場の理解	40	10.7	44	10.6
託児、介護等の支援	25	6.7	29	7.0
ボランティアの育成・支援	27	7.2	32	7.7
8ボランティアの登録制度	8	2.1	16	3.8
グループ・サークルの育成・支援	31	8.3	25	6.0
市民活動団体の育成・支援	16	4.3	22	5.3
地域団体への支援	16	4.3	26	6.2
詳細な学習情報の提供(SNSなど)	22	5.9	19	4.6
発表の場の創出(イベントなど)	17	4.5	15	3.6
相談窓口の充実	29	7.8	30	7.2
学んだ成果を活かすことができる仕組みづくり	65	17.4	63	15.1
市民(市民活動団体、地域団体など)と行政とのパートナーシップの推進	10	2.7	22	5.3
学校支援ボランティアの推進	8	2.1	17	4.1
表彰制度の創設	3	0.8	3	0.7
その他	8	2.1	4	1.0
無回答	71	19.0	106	25.4
回答者数	374		417	

問22その他	性別	年齢
スポーツや学習ができる環境の整備	男性	40～44歳
社交的な人格	男性	45～49歳
学ぶこと自体が成果	男性	55～59歳
その人の気持ちのゆとり(自分から動く)	男性	60～64歳
特に必要ないと思います。	男性	70～74歳
自分の健康	男性	70～74歳
活かすつもりではないので現状維持でよい。	男性	75～79歳
自分自身の事があり他に評価してほしいとは思わない。	女性	75～79歳



	合計	活動の場が身近にある	経済的なゆとり	時間的なゆとり	家族の理解	職場の理解	託児、介護等の支援	ボランティアの育成・支援	8ボランティアの登録制度	グループ・サークルの育成・支援	市民活動団体の育成・支援	地域団体への支援	詳細な学習情報の提供（SNSなど）	発表の場の創出（イベントなど）	相談窓口の充実	学んだ成果を活かすことができる仕組みづくり	市民と行政とのパートナーシップの推進	学校支援ボランティアの推進	表彰制度の創設	その他	無回答
全体	374	126 33.7%	157 42.0%	187 50.0%	82 21.9%	40 10.7%	25 6.7%	27 7.2%	8 2.1%	31 8.3%	16 4.3%	16 4.3%	22 5.9%	17 4.5%	29 7.8%	65 17.4%	10 2.7%	8 2.1%	3 0.8%	8 2.1%	71 19.0%
■性別																					
男性	165	55 33.3%	65 39.4%	80 48.5%	39 23.6%	22 13.3%	6 3.6%	14 8.5%	3 1.8%	19 11.5%	6 3.6%	9 5.5%	10 6.1%	8 4.8%	14 8.5%	35 21.2%	5 3.0%	5 3.0%	2 1.2%	6 3.6%	22 13.3%
女性	195	69 35.4%	87 44.6%	102 52.3%	41 21.0%	18 9.2%	19 9.7%	12 6.2%	5 2.6%	12 6.2%	9 4.6%	7 3.6%	12 6.2%	9 4.6%	14 7.2%	30 15.4%	5 2.6%	3 1.5%	1 0.5%	2 1.0%	42 21.5%
無回答	14	2 14.3%	5 35.7%	5 35.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 50.0%
■年代別																					
18～29歳	27	8 29.6%	19 70.4%	18 66.7%	5 18.5%	5 18.5%	3 11.1%	1 3.7%	0 0.0%	2 7.4%	1 3.7%	2 7.4%	4 14.8%	2 7.4%	3 11.1%	3 11.1%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	30	17 56.7%	17 56.7%	22 73.3%	8 26.7%	8 26.7%	4 13.3%	2 6.7%	1 3.3%	3 10.0%	1 3.3%	1 3.3%	2 6.7%	1 3.3%	2 6.7%	7 23.3%	2 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
40～49歳	46	16 34.8%	24 52.2%	30 65.2%	13 28.3%	9 19.6%	7 15.2%	3 6.5%	1 2.2%	7 15.2%	1 2.2%	1 0.0%	5 10.9%	1 2.2%	2 4.3%	10 21.7%	0 0.0%	2 4.3%	0 0.0%	2 4.3%	3 6.5%
50～59歳	55	19 34.5%	32 58.2%	40 72.7%	15 27.3%	9 16.4%	4 7.3%	6 10.9%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	2 3.6%	3 5.5%	3 5.5%	2 3.6%	15 27.3%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	5 9.1%
60～69歳	72	23 31.9%	26 36.1%	35 48.6%	17 23.6%	2 2.8%	3 4.2%	1 1.4%	1 1.4%	6 8.3%	3 4.2%	2 2.8%	5 6.9%	4 5.6%	5 6.9%	14 19.4%	1 1.4%	0 0.0%	1 1.4%	0 0.0%	14 19.4%
70～79歳	88	30 34.1%	27 30.7%	29 33.0%	16 18.2%	3 3.4%	1 1.1%	10 11.4%	4 4.5%	6 6.8%	4 4.5%	5 5.7%	2 2.3%	4 4.5%	7 8.0%	10 11.4%	5 5.7%	4 4.5%	1 1.1%	3 3.4%	25 28.4%
80歳以上	54	13 24.1%	12 22.2%	12 22.2%	8 14.8%	4 7.4%	3 5.6%	4 7.4%	0 0.0%	5 9.3%	4 7.4%	4 7.4%	1 1.9%	2 3.7%	8 14.8%	6 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	22 40.7%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

3. ボランティア活動・地域活動について

問23 ボランティア活動についておたずねします。

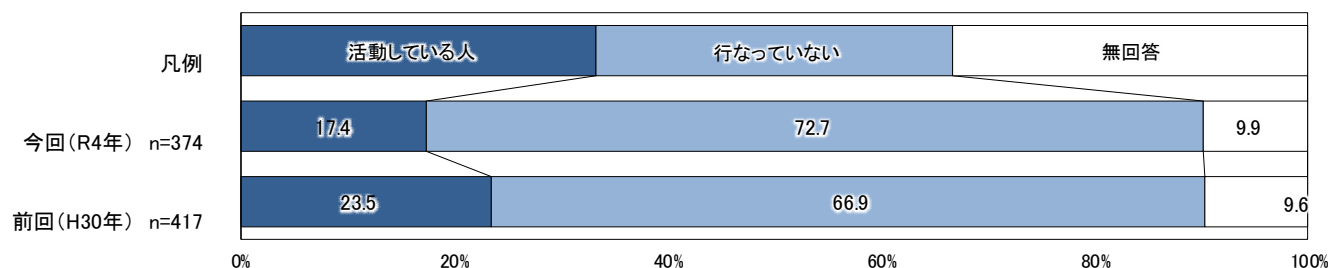
あなたは、この1年程の間に、どのくらいの^{ひん}頻度でボランティア活動を行いましたか。

問23 ボランティア活動の年間における頻度

	度数	%
週単位で活動	12	3.2
月単位で活動	16	4.3
年単位で活動	37	9.9
行っていない	272	72.7
無回答	37	9.9
合計(回答者数)	374	100.0

(ボランティア活動の有無)

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
活動している人	65	17.4	98	23.5
行なっていない	272	72.7	279	66.9
無回答	37	9.9	40	9.6
合計(回答者数)	374	100.0	417	100.0



問23 ボランティア活動の年間における頻度(活動している人の頻度の分布)

	今回(R4年)	
	度数(人)	%
年1～10日未満	36	55.4
年10～20日未満	10	15.4
年20～30日未満	6	9.2
年30～40日未満	0	0.0
年40～50日未満	8	12.3
年50～60日未満	0	0.0
年60～70日未満	0	0.0
年70～80日未満	0	0.0
年80～90日未満	0	0.0
年90～100日未満	1	1.5
年100日以上	4	6.2
無回答	0	0.0
合計(回答者数)	65	100.0

	合計	年 1 ～ 1 0 日 未 満	年 1 0 ～ 2 0 日 未 満	年 2 0 ～ 3 0 日 未 満	年 3 0 ～ 4 0 日 未 満	年 4 0 ～ 5 0 日 未 満	年 5 0 ～ 6 0 日 未 満	年 6 0 ～ 7 0 日 未 満	年 7 0 ～ 8 0 日 未 満	年 8 0 ～ 9 0 日 未 満	年 9 0 ～ 1 0 0 日 未 満	年 1 0 0 日 以 上	行 な っ て い な い	無 回 答
全体	374	36	10	6	0	8	0	0	0	0	1	4	272	37
	100.0%	9.6%	2.7%	1.6%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%	1.1%	72.7%	9.9%
■性別														
男性	165	18	6	2	0	6	0	0	0	0	0	1	119	13
	100.0%	10.9%	3.6%	1.2%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	72.1%	7.9%
女性	195	18	4	4	0	2	0	0	0	0	1	1	145	20
	100.0%	9.2%	2.1%	2.1%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	74.4%	10.3%
無回答	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	4
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%
■年代別														
18～29歳	27	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	23	1
	100.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.2%	3.7%
30～39歳	30	4	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	23	0
	100.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%	0.0%
40～49歳	46	4	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	34	4
	100.0%	8.7%	2.2%	2.2%	0.0%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	73.9%	8.7%
50～59歳	55	9	4	0	0	1	0	0	0	0	1	1	38	1
	100.0%	16.4%	7.3%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	69.1%	1.8%
60～69歳	72	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61	6
	100.0%	5.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.7%	8.3%
70～79歳	88	10	1	3	0	1	0	0	0	0	0	1	58	14
	100.0%	11.4%	1.1%	3.4%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	65.9%	15.9%
80歳以上	54	3	1	2	0	2	0	0	0	0	0	2	33	11
	100.0%	5.6%	1.9%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	61.1%	20.4%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

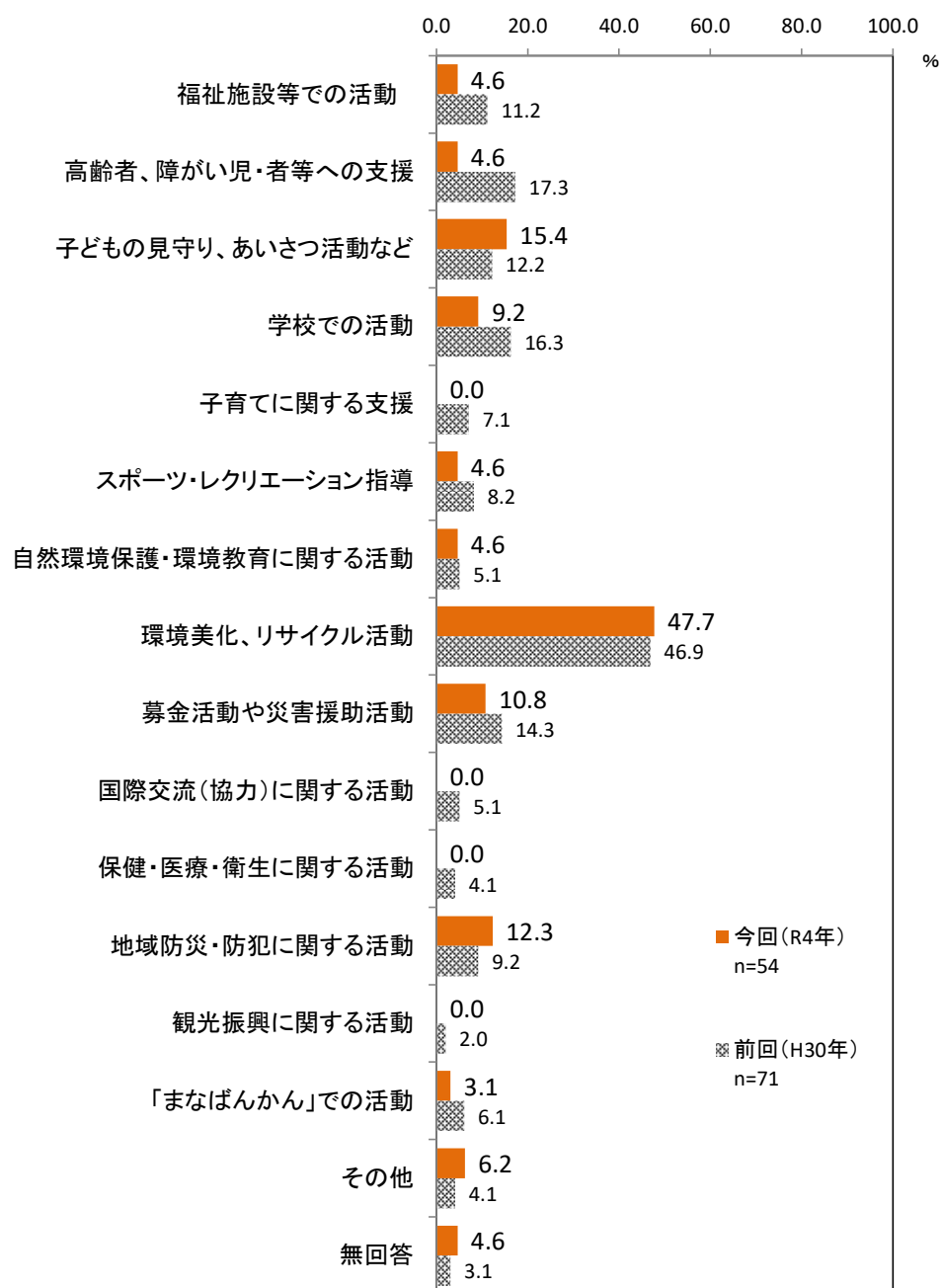
問23-2 (問23で「1～3」を選んだ人におたずねします)

あなたは、この1年程の間に、どのようなボランティア活動を行いましたか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問23-2 この1年間に行ったボランティア活動

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
福祉施設等での活動	3	4.6	11	11.2
高齢者、障がい児・者等への支援	3	4.6	17	17.3
子どもの見守り、あいさつ活動など	10	15.4	12	12.2
学校での活動	6	9.2	16	16.3
子育てに関する支援	0	0.0	7	7.1
スポーツ・レクリエーション指導	3	4.6	8	8.2
自然環境保護・環境教育に関する活動	3	4.6	5	5.1
環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	31	47.7	46	46.9
募金活動や災害援助活動	7	10.8	14	14.3
国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、留学生援助など)	0	0.0	5	5.1
保健・医療・衛生に関する活動(食育、病院ボランティアなど)	0	0.0	4	4.1
地域防災・防犯に関する活動	8	12.3	9	9.2
観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	0	0.0	2	2.0
生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」での活動	2	3.1	6	6.1
その他	4	6.2	4	4.1
無回答	3	4.6	3	3.1
回答者数	65		98	



問23の2その他	性別	年齢
美術館	女性	35～39歳
〇〇山	男性	35～39歳
献血	男性	35～39歳
学習支援(中学生)	男性	70～74歳
サロン～子供食堂	女性	80歳以上

[illegible][illegible]

問 24 ボランティア活動をもっと盛んにするために、どのような取組みが必要だと思いますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問24 ボランティア活動を盛んにするために必要な取り組み

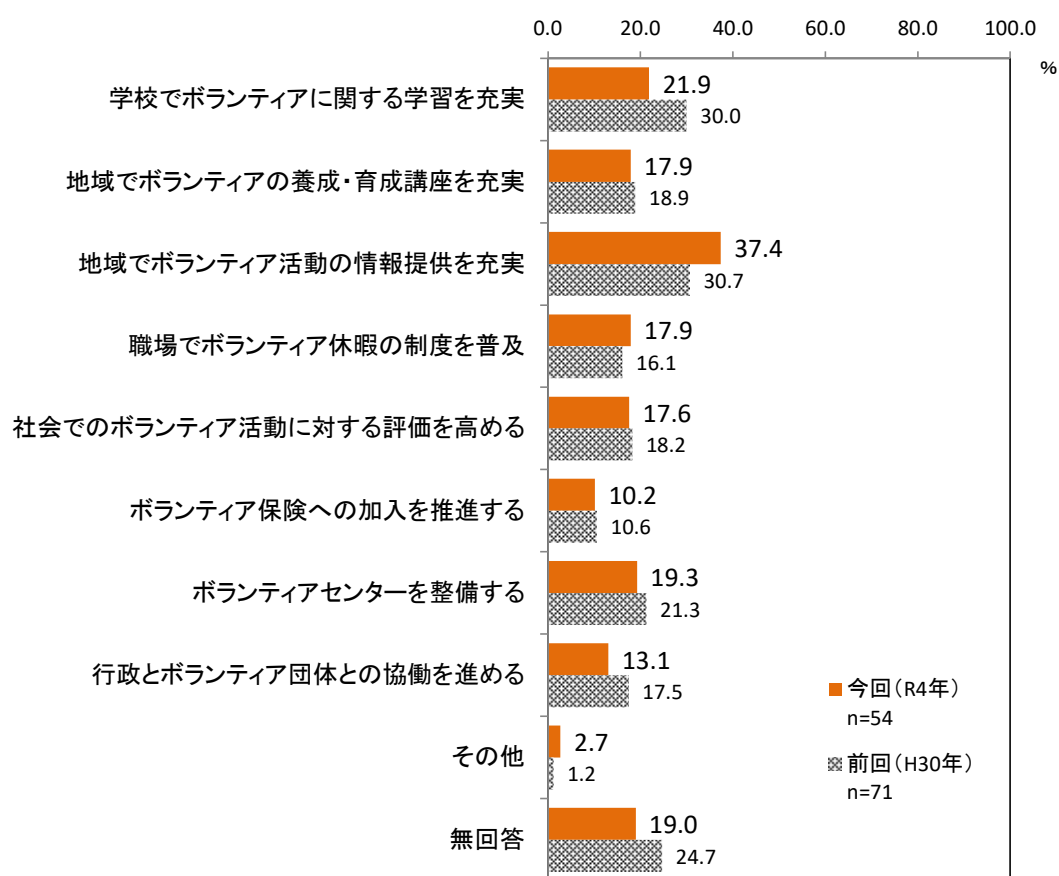
	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
学校において奉仕活動や、ボランティアに関する学習を充実させる	82	21.9	125	30.0
地域においてボランティアの養成・育成のための講座を充実させる★1	67	17.9	79	18.9
地域においてボランティア活動に関する情報提供を充実させる★2	140	37.4	128	30.7
職場においてボランティア休暇の制度を普及させる	67	17.9	67	16.1
社会においてボランティア活動に対する評価を高める★3	66	17.6	76	18.2
ボランティアの責任が軽減されるよう、保険への加入を推進する	38	10.2	44	10.6
ボランティア活動の窓口となるボランティアセンターを整備する	72	19.3	89	21.3
行政とボランティア団体との協働を進める	49	13.1	73	17.5
その他	10	2.7	5	1.2
無回答	71	19.0	103	24.7
回答者数	374		417	

※「★1」: 前回調査の選択肢は「ボランティアの養成・育成のための講座を充実させるボランティアの養成・育成のための講座を充実させる」

※「★2」: 前回調査の選択肢は「ボランティア活動に関する情報提供を充実させるボランティア活動に関する情報提供を充実させる」

※「★3」: 前回調査の選択肢は「社会におけるボランティア活動に対する評価を高める」

問 24 その他	性別	年齢
就職や進学に有利になると良い。	男性	40～44 歳
若者の定住	女性	40～44 歳
有償にしていく必要があるものも多くある、と思う	男性	40～44 歳
責任が軽減されるよう指導者等の数を増やし、援助を充実させる。	男性	45～49 歳
ボランティアは、そもそも生活に余裕があるから行えるもの。心にゆとりがある人じゃないとできません。	男性	45～49 歳
人とのつながりが希薄なので、そこをどう解決するか。	男性	70～74 歳
お金を出す。	男性	80 歳以上



	合計	ボランティアを充実させる	学校において奉仕活動や、ボランティアに関する学習	の養成・育成のための講座	地域においてボランティアに関する情報提供を充実させる	活動に関する情報提供を充実させる	地域においてボランティアの制度を普及させる	職場においてボランティアの制度を普及させる	社会においてボランティアの評価を高める	ボランティアの責任が軽減されるよう、保険への加入を推進する	ボランティア活動の窓口となるボランティア活動センターを整備する	行政とボランティア団体との協働を進める	その他	無回答
全体	374	82 21.9%	67 17.9%	140 37.4%	67 17.9%	66 17.6%	38 10.2%	72 19.3%	49 13.1%	10 2.7%	71 19.0%			
■性別														
男性	165	36 21.8%	26 15.8%	62 37.6%	29 17.6%	31 18.8%	15 9.1%	30 18.2%	19 11.5%	8 4.8%	29 17.6%			
女性	195	44 22.6%	39 20.0%	72 36.9%	37 19.0%	35 17.9%	22 11.3%	42 21.5%	28 14.4%	2 1.0%	37 19.0%			
無回答	14	2 14.3%	2 14.3%	6 42.9%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	0 0.0%	5 35.7%			
■年代別														
18～29歳	27	7 25.9%	0 0.0%	8 29.6%	12 44.4%	6 22.2%	0 0.0%	4 14.8%	4 14.8%	1 3.7%	3 11.1%			
30～39歳	30	12 40.0%	4 13.3%	12 40.0%	11 36.7%	10 33.3%	2 6.7%	7 23.3%	2 6.7%	1 3.3%	1 3.3%			
40～49歳	46	8 17.4%	8 17.4%	20 43.5%	11 23.9%	8 17.4%	3 6.5%	4 8.7%	7 15.2%	5 10.9%	4 8.7%			
50～59歳	55	15 27.3%	11 20.0%	17 30.9%	18 32.7%	15 27.3%	8 14.5%	19 34.5%	10 18.2%	0 0.0%	7 12.7%			
60～69歳	72	11 15.3%	15 20.8%	34 47.2%	9 12.5%	9 12.5%	11 15.3%	19 26.4%	10 13.9%	1 1.4%	10 13.9%			
70～79歳	88	23 26.1%	18 20.5%	31 35.2%	5 5.7%	13 14.8%	9 10.2%	16 18.2%	12 13.6%	1 1.1%	25 28.4%			
80歳以上	54	6 11.1%	11 20.4%	17 31.5%	1 1.9%	5 9.3%	5 9.3%	3 5.6%	4 7.4%	1 1.9%	20 37.0%			
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%			

問25 『地域活動』についておたずねします。

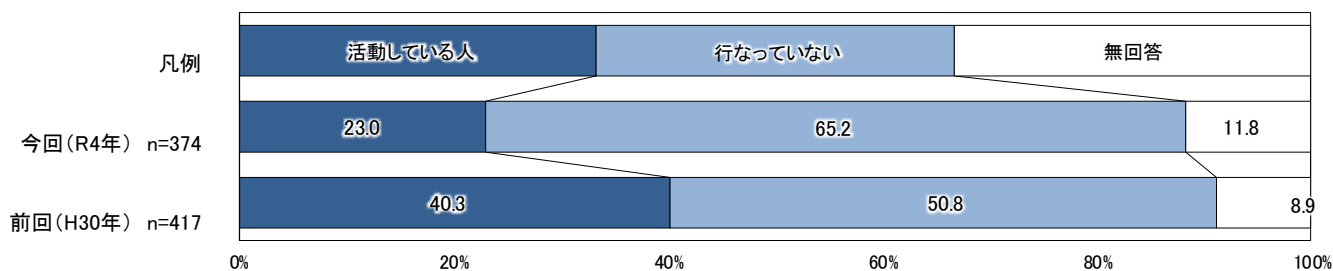
あなたは、この1年程の間に、どのくらいの頻度で『地域活動』に参加しましたか。

問25 地域活動の年間における頻度

	度数	%
週単位で活動	7	1.9
月単位で活動	16	4.3
年単位で活動	63	16.8
参加していない	244	65.2
無回答	44	11.8
合計(回答者数)	374	100.0

(地域活動の年間における有無)

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
活動している人	86	23.0	168	40.3
行なっていない	244	65.2	212	50.8
無回答	44	11.8	37	8.9
合計(回答者数)	374	100.0	417	100.0



問25 地域活動の年間における頻度(活動している人の頻度の分布)

	今回(R4年)	
	度数(人)	%
年1～10日未満	62	72.1
年10～20日未満	10	11.6
年20～30日未満	6	7.0
年30～40日未満	1	1.2
年40～50日未満	3	3.5
年50～60日未満	0	0.0
年60～70日未満	0	0.0
年70～80日未満	0	0.0
年80～90日未満	0	0.0
年90～100日未満	3	3.5
年100日以上	1	1.2
無回答	0	0.0
合計(回答者数)	86	100.0

	合計	年 1 ～ 1 0 日 未 満	年 1 0 ～ 2 0 日 未 満	年 2 0 ～ 3 0 日 未 満	年 3 0 ～ 4 0 日 未 満	年 4 0 ～ 5 0 日 未 満	年 5 0 ～ 6 0 日 未 満	年 6 0 ～ 7 0 日 未 満	年 7 0 ～ 8 0 日 未 満	年 8 0 ～ 9 0 日 未 満	年 9 0 ～ 1 0 0 日 未 満	年 1 0 0 日 以 上	行 な っ て い な い	無 回 答
全体	374	62	10	6	1	3	0	0	0	0	3	1	244	44
	100.0%	16.6%	2.7%	1.6%	0.3%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.3%	65.2%	11.8%
■性別														
男性	165	29	4	2	0	3	0	0	0	0	2	0	107	18
	100.0%	17.6%	2.4%	1.2%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	64.8%	10.9%
女性	195	32	6	4	1	0	0	0	0	0	1	1	130	20
	100.0%	16.4%	3.1%	2.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	66.7%	10.3%
無回答	14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	6
	100.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	42.9%
■年代別														
18～29歳	27	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3
	100.0%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.5%	11.1%
30～39歳	30	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	25	0
	100.0%	10.0%	3.3%	0.0%	0.0%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
40～49歳	46	8	0	2	0	1	0	0	0	0	1	0	30	4
	100.0%	17.4%	0.0%	4.3%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	65.2%	8.7%
50～59歳	55	10	6	1	0	0	0	0	0	0	0	1	35	2
	100.0%	18.2%	10.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	63.6%	3.6%
60～69歳	72	15	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52	4
	100.0%	20.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.2%	5.6%
70～79歳	88	15	2	1	1	1	0	0	0	0	1	0	51	16
	100.0%	17.0%	2.3%	1.1%	1.1%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	58.0%	18.2%
80歳以上	54	9	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	27	15
	100.0%	16.7%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	50.0%	27.8%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

問 25-2 (問 25 で「1～3」を選んだ人におたずねします)

あなたは、この1年程の間にどのような『地域活動』に参加しましたか。

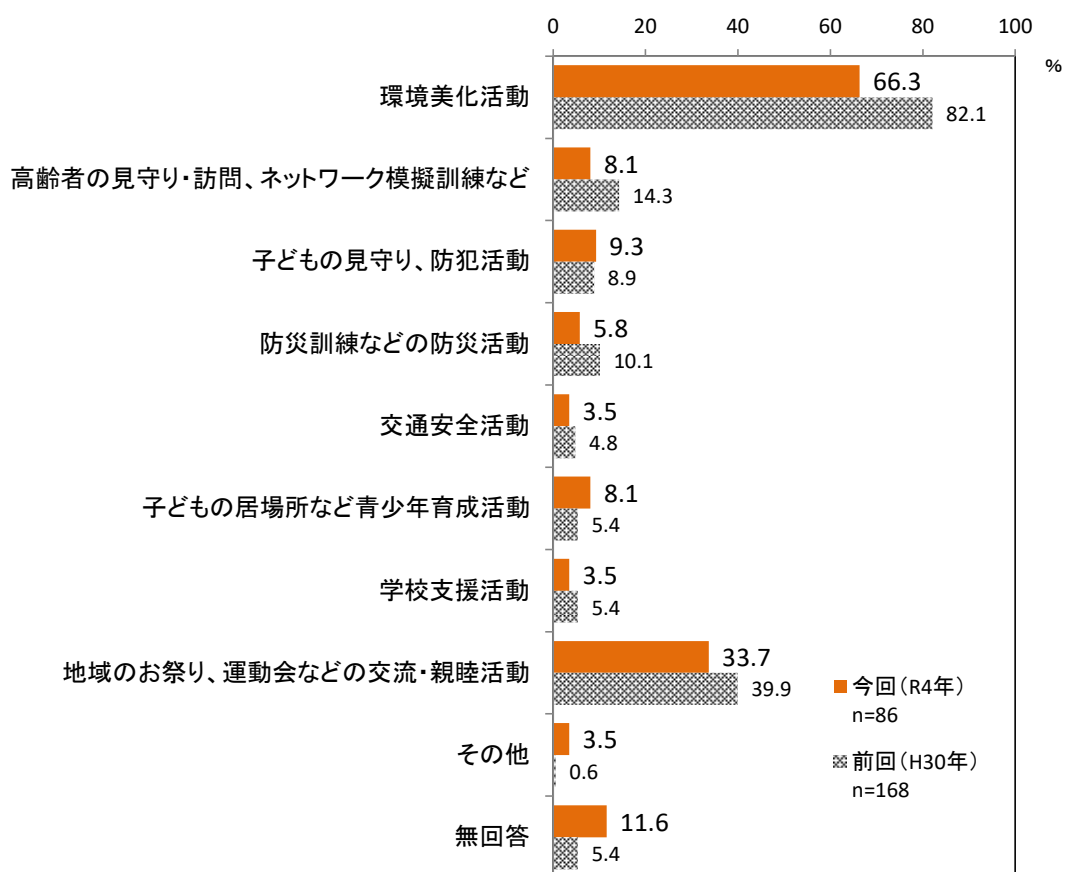
また、企画・立案から参加した地域活動はありますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問25-2 地域活動の参加経験

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	57	66.3	138	82.1
高齢者の見守り・訪問、ほっとあんしんネットワーク模擬訓練など	7	8.1	24	14.3
子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	8	9.3	15	8.9
防災訓練などの防災活動	5	5.8	17	10.1
交通安全活動	3	3.5	8	4.8
子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	7	8.1	9	5.4
学校支援活動	3	3.5	9	5.4
地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	29	33.7	67	39.9
その他	3	3.5	1	0.6
無回答	10	11.6	9	5.4
回答者数	86		168	

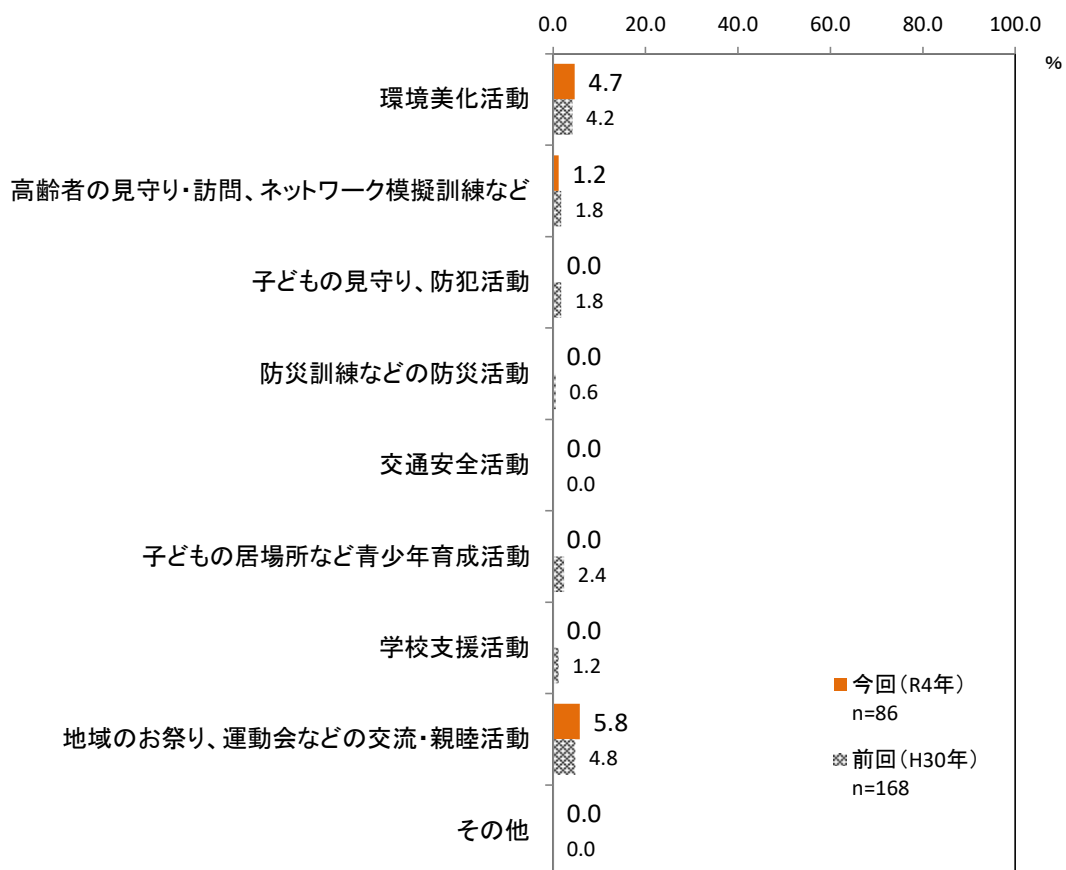
問25の2その他	性別	年齢
公民館活動	女性	60～64歳
草刈り	男性	65～69歳
隊組長をしている。	男性	70～74歳
個人で清掃活動。道路清掃。花壇。	女性	80歳以上



	合計	リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	高齢者の見守り・訪問、ほっとあんしんネットワーク模擬訓練など	子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	防災訓練などの防災活動	交通安全活動	子ども食堂など青少年育成活動	学校支援活動	地域の祭り、交流会、スポーツなどの交流・親睦活動	その他	無回答
全体	86	57 66.3%	7 8.1%	8 9.3%	5 5.8%	3 3.5%	7 8.1%	3 3.5%	29 33.7%	3 3.5%	10 11.6%
■ 性別											
男性	40	22 55.0%	3 7.5%	5 12.5%	1 2.5%	0 0.0%	2 5.0%	1 2.5%	16 40.0%	2 5.0%	7 17.5%
女性	45	34 75.6%	4 8.9%	2 4.4%	4 8.9%	3 6.7%	4 8.9%	2 4.4%	12 26.7%	1 2.2%	3 6.7%
無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
■ 年代別											
18～29歳	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	5	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	12	3 25.0%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	2 16.7%	2 16.7%	7 58.3%	0 0.0%	1 8.3%
50～59歳	18	15 83.3%	3 16.7%	4 22.2%	1 5.6%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	6 33.3%	0 0.0%	1 5.6%
60～69歳	16	12 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%
70～79歳	21	15 71.4%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%	6 28.6%	1 4.8%	3 14.3%
80歳以上	12	7 58.3%	1 8.3%	2 16.7%	1 8.3%	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	4 33.3%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問25-2 地域活動での企画・立案からの参加経験

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	4	4.7	7	4.2
高齢者の見守り・訪問、ほっとあんしんネットワーク模擬訓練など	1	1.2	3	1.8
子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	0	0.0	3	1.8
防災訓練などの防災活動	0	0.0	1	0.6
交通安全活動	0	0.0	0	0.0
子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	0	0.0	4	2.4
学校支援活動	0	0.0	2	1.2
地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	5	5.8	8	4.8
その他	0	0.0	0	0.0
回答者数	86		168	



	合計	などの環境美化活動	ワークシクル・模範訓練など	高齢者の見守り・訪問、ほっとあんしんネット	子どもの見守り、防犯活動	防犯訓練などの防犯活動	交通安全活動	子ども居場所・通学合宿・子ども食堂など	学校支援活動	地域の祭り、運動会、交流・親睦活動	その他	無回答
全体	86	4 4.7%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 5.8%	0 0.0%	79 91.9%
■性別												
男性	40	3 7.5%	1 2.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 7.5%	0 0.0%	35 87.5%
女性	45	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 4.4%	0 0.0%	43 95.6%
無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
■年代別												
18～29歳	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%
30～39歳	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	4 80.0%
40～49歳	12	1 8.3%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	0 0.0%	9 75.0%
50～59歳	18	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	17 94.4%
60～69歳	16	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	15 93.8%
70～79歳	21	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 95.2%
80歳以上	12	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 100.0%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 25-3 (問 25 で 4. 「参加していない」 とお答えの方におたずねします)

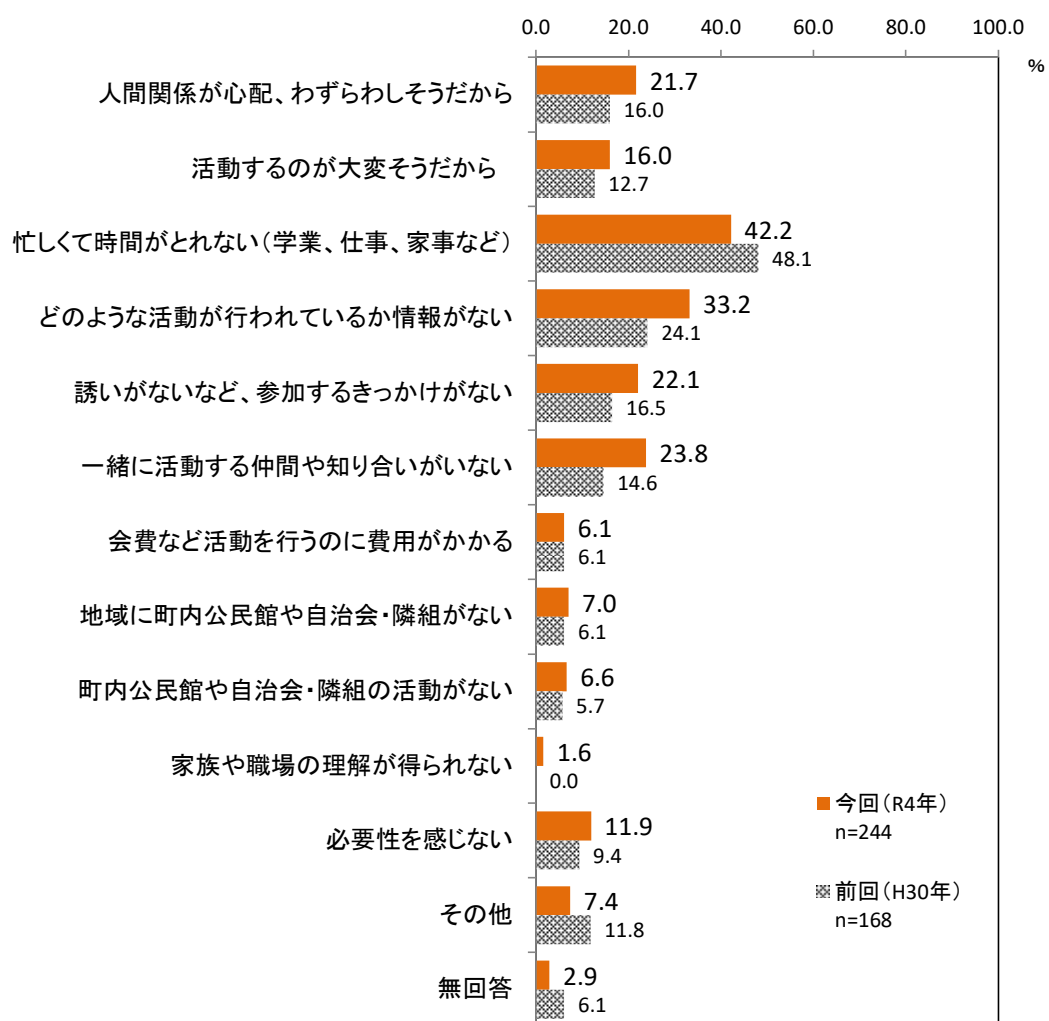
あなたが『地域活動』に参加していない理由は何ですか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問25-3 地域活動に参加していない理由

	今回 (R4年)		前回 (H30年)	
	度数 (人)	%	度数 (人)	%
人間関係が心配、わずらわしそうだから	53	21.7	34	16.0
活動するのが大変そうだから	39	16.0	27	12.7
忙しくて時間がとれない(学業、仕事、家事など)	103	42.2	102	48.1
どのような活動が行われているか情報がない	81	33.2	51	24.1
誘いがないなど、参加するきっかけがない	54	22.1	35	16.5
一緒に活動する仲間や知り合いがない	58	23.8	31	14.6
会費など活動を行うのに費用がかかる	15	6.1	13	6.1
住んでいる地域に、町内公民館や自治会・隣組がない	17	7.0	13	6.1
町内公民館や自治会・隣組の活動がない	16	6.6	12	5.7
家族や職場の理解が得られない	4	1.6	0	0.0
必要性を感じない	29	11.9	20	9.4
その他	18	7.4	25	11.8
無回答	7	2.9	13	6.1
回答者数	244		212	

問25の3その他	性別	年齢
体調が悪く、自分が生きていくのに大変なので。	女性	25～29歳
機会がない。隣組はあるが家族の別の者が参加している。	女性	45～49歳
体調不良	男性	45～49歳
曜日、時間が合わない。	女性	50～54歳
コロナと高齢化で活動が中止になっている。	女性	50～54歳
ひざが悪いので生活するので精一杯です。	女性	65～69歳
知的障害なので難しい。	男性	65～69歳
自治会役員の当番年度ではなかったから。	女性	70～74歳
参加する魅力がない。	男性	70～74歳
コロナの為	女性	70～74歳
病気(軽い精神的病気)	男性	70～74歳
未来の会、清掃活動、社会福祉事業としての帽子(ガン患者さんへの)女性の 会管理職、公的会館等への花苗の提供、小学校での出前授業etc会長の高齢 化で後継者を作れない状況の為中止又会員の高齢化で現在活動無し。	女性	75～79歳
入院中	女性	75～79歳
体の健康(脊柱管狭窄症で手術済み)	女性	75～79歳
高齢のため、活動していません。(83才)	女性	80歳以上
体力的に自信がない。きつくて行きたくない。	女性	80歳以上
要介護4状態区分	女性	80歳以上
90代で高齢のため	無回答	80歳以上
体力がない	女性	80歳以上
介護施設に入所中の為	女性	80歳以上
体力がない	女性	80歳以上
病気のため参加出来ない	女性	80歳以上
年令	女性	80歳以上

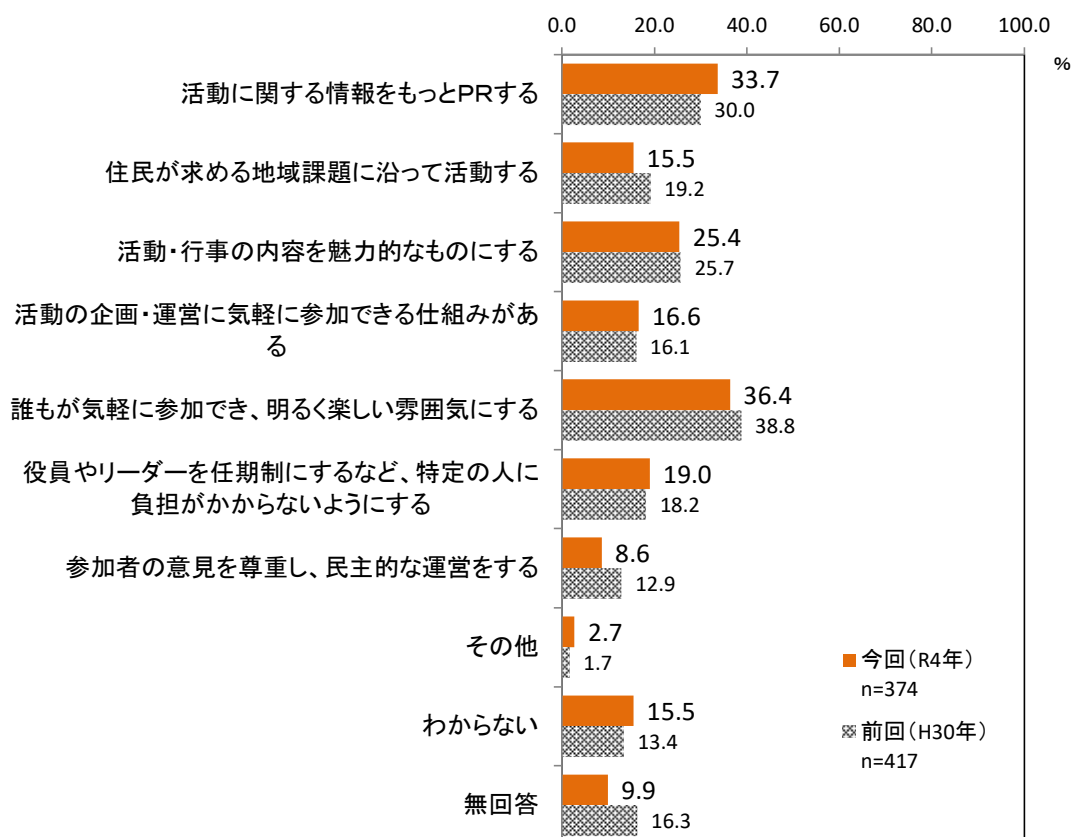


	合計	人間関係が心配、 わずらわしそうだから	活動するのが大変 そうだから	（学業、仕事、家事 など）忙しい、時間 がとれない	どのような活動が 行われているか情報 がない	誘いがけないなど、 参加するきっかけが ない	一緒に活動する仲間 や知り合いがいな い	会費など活動を行 うのに費用がかか る	公民館や自治会・隣 組がない	住んでいる地域に、 町内公民館や自治 会・隣の活動がな い	家族や職場の理解 が得られない	必要性を感じない	その他	無回答
全体	244	53 21.7%	39 16.0%	103 42.2%	81 33.2%	54 22.1%	58 23.8%	15 6.1%	17 7.0%	16 6.6%	4 1.6%	29 11.9%	18 7.4%	7 2.9%
■性別														
男性	107	27	17	45	39	24	26	9	7	2	3	15	4	3
		25.2%	15.9%	42.1%	36.4%	22.4%	24.3%	8.4%	6.5%	1.9%	2.8%	14.0%	3.7%	2.8%
女性	130	25	21	55	41	30	31	6	9	14	1	12	14	4
		19.2%	16.2%	42.3%	31.5%	23.1%	23.8%	4.6%	6.9%	10.8%	0.8%	9.2%	10.8%	3.1%
無回答	7	1	1	3	1	0	1	0	1	0	0	2	0	0
		14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%
■年代別														
18～29歳	22	4	1	14	7	5	7	2	0	1	0	1	1	0
		18.2%	4.5%	63.6%	31.8%	22.7%	31.8%	9.1%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%
30～39歳	25	4	4	14	11	11	10	3	1	0	1	4	0	0
		16.0%	16.0%	56.0%	44.0%	44.0%	40.0%	12.0%	4.0%	0.0%	4.0%	16.0%	0.0%	0.0%
40～49歳	30	13	7	19	13	8	5	3	1	3	0	2	1	0
		43.3%	23.3%	63.3%	43.3%	26.7%	16.7%	10.0%	3.3%	10.0%	0.0%	6.7%	3.3%	0.0%
50～59歳	35	5	4	22	11	9	6	1	5	4	1	3	1	1
		14.3%	11.4%	62.9%	31.4%	25.7%	17.1%	2.9%	14.3%	11.4%	2.9%	8.6%	2.9%	2.9%
60～69歳	52	8	6	23	16	6	14	1	7	5	1	5	2	2
		15.4%	11.5%	44.2%	30.8%	11.5%	26.9%	1.9%	13.5%	9.6%	1.9%	9.6%	3.8%	3.8%
70～79歳	51	12	11	9	15	11	10	5	0	2	1	8	6	3
		23.5%	21.6%	17.6%	29.4%	21.6%	19.6%	9.8%	0.0%	3.9%	2.0%	15.7%	11.8%	5.9%
80歳以上	27	7	6	2	8	4	6	0	3	1	0	4	7	1
		25.9%	22.2%	7.4%	29.6%	14.8%	22.2%	0.0%	11.1%	3.7%	0.0%	14.8%	25.9%	3.7%
無回答	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

問 26 お住まいの地域の活動が、もっと参加しやすいものとなるためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問26 地域の活動が参加しやすいものとするために必要なこと

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
活動に関する情報をもっとPRする	126	33.7	125	30.0
住民が求める地域課題に沿って活動する	58	15.5	80	19.2
活動・行事の内容を魅力的なものにする	95	25.4	107	25.7
活動の企画・運営に気軽に参加できる仕組みがある	62	16.6	67	16.1
誰もが気軽に参加でき、明るく楽しい雰囲気にする	136	36.4	162	38.8
役員やリーダーを任期制にするなど、特定の人に負担がかからないように	71	19.0	76	18.2
参加者の意見を尊重し、民主的な運営をする	32	8.6	54	12.9
その他	10	2.7	7	1.7
わからない	58	15.5	56	13.4
無回答	37	9.9	68	16.3
回答者数	374		417	



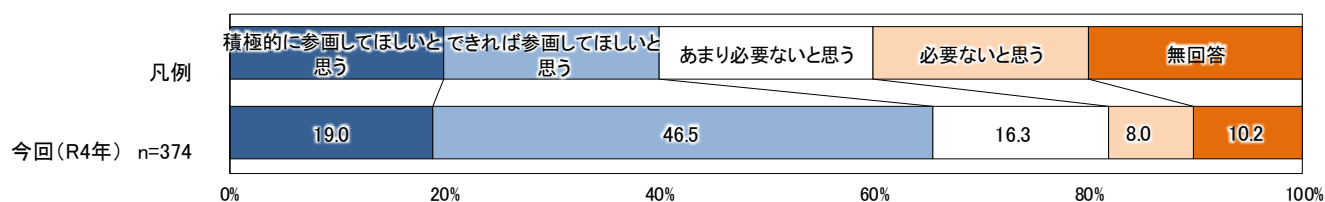
問 26 その他	性別	年齢
若者は年金など自分達で解決しないといけないと言われている。将来的金銭面不安が強い気がする。なので社会貢献という視野もないと思う。まず社会(政府、政治)が若者を助けようという意識が微塵も感じない。そんな中で若者が社会貢献するとは思えない。 自分のため、自分が良ければいいという人間が増えている気がする。なので、まず日本から変えないと難しいと思います。	男性	25～29 歳
対価、地域活動に伴う職場の理解が必要。	男性	40～44 歳
若者の定住	女性	40～44 歳
まち協なしの地域活動団体や自発的に活動しているサークルや団体がもっと自由に責任をもってとりくめるように協働や補助をしてほしい。	男性	40～44 歳
若い人の人材発掘・育成。仕事をしていても参加しやすくする。	女性	50～54 歳
グランドゴルフなどいつでも集まり運動ができる広場を各地域に整備していく。活動の場づくりが課題になっている。	男性	65～69 歳
無駄な支出が増える。	男性	65～69 歳
住民皆がいそがしい。生活の為の仕事におわれている。	女性	70～74 歳
言葉は悪いですが当時日本はエコミックと言われてました。(金になるか、ならないか)	男性	75～79 歳
特にコロナ状態の為、動きがとれていない。会員がすべて退職後で構成されていて、活動できるのがほぼ 70 才以上。	女性	75～79 歳
特定の人に大きな負担がかからないように住民の輪番制がある程度必要かも。	男性	75～79 歳
参加出来ない年齢、一人暮らしの人が増えている事を考えるべき時期に来ていると思う。	男性	75～79 歳
足のない人を送迎する。	女性	80 歳以上

	合計	も活動に PRする 情報を	住民が 求める 地域課 題に沿	魅力的・ 行動的 な内容 にする	活動の 企画・ 運営に 参加で きる	活動に 参加で きる	誰が 気軽 に参 加で きる	定期的 に参 加で きる	役員の 意見 を尊 重	参加 者の 意 見 を 尊 重	その他	わからない	無回答
全体	374	126 33.7%	58 15.5%	95 25.4%	62 16.6%	136 36.4%	71 19.0%	32 8.6%	10 2.7%	58 15.5%	37 9.9%		
■性別													
男性	165	60 36.4%	27 16.4%	39 23.6%	30 18.2%	60 36.4%	31 18.8%	20 12.1%	6 3.6%	24 14.5%	15 9.1%		
女性	195	62 31.8%	29 14.9%	55 28.2%	30 15.4%	73 37.4%	39 20.0%	11 5.6%	4 2.1%	31 15.9%	18 9.2%		
無回答	14	4 28.6%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	3 21.4%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	3 21.4%	4 28.6%		
■年代別													
18～29歳	27	8 29.6%	5 18.5%	12 44.4%	9 33.3%	9 33.3%	4 14.8%	4 14.8%	0 0.0%	6 22.2%	0 0.0%		
30～39歳	30	12 40.0%	6 20.0%	12 40.0%	9 30.0%	13 43.3%	10 33.3%	3 10.0%	0 0.0%	4 13.3%	1 3.3%		
40～49歳	46	19 41.3%	8 17.4%	14 30.4%	13 28.3%	18 39.1%	11 23.9%	3 6.5%	4 8.7%	8 17.4%	2 4.3%		
50～59歳	55	17 30.9%	12 21.8%	13 23.6%	11 20.0%	19 34.5%	13 23.6%	6 10.9%	1 1.8%	11 20.0%	1 1.8%		
60～69歳	72	24 33.3%	9 12.5%	17 23.6%	9 12.5%	34 47.2%	15 20.8%	3 4.2%	2 2.8%	10 13.9%	4 5.6%		
70～79歳	88	29 33.0%	14 15.9%	18 20.5%	7 8.0%	23 26.1%	14 15.9%	11 12.5%	2 2.3%	12 13.6%	15 17.0%		
80歳以上	54	17 31.5%	4 7.4%	9 16.7%	4 7.4%	20 37.0%	4 7.4%	2 3.7%	1 1.9%	6 11.1%	13 24.1%		
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%		

問 27 地域の担い手不足がいわれていますが、お住まいの地域の活動の活性化には、中高生等の
参画が必要だと思いますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

問27 中高生等の参画に対する意向

	度数	%
積極的に参画してほしいと思う	71	19.0
できれば参画してほしいと思う	174	46.5
あまり必要ないと思う	61	16.3
必要ないと思う	30	8.0
無回答	38	10.2
合計	374	100.0



	合計	積極的に参画してほしいと思う	できれば参画してほしいと思う	あまり必要ないと思う	必要ないと思う	無回答
全体	374	71	174	61	30	38
	100.0%	19.0%	46.5%	16.3%	8.0%	10.2%
■ 性別						
男性	165	36	77	22	15	15
	100.0%	21.8%	46.7%	13.3%	9.1%	9.1%
女性	195	32	93	36	14	20
	100.0%	16.4%	47.7%	18.5%	7.2%	10.3%
無回答	14	3	4	3	1	3
	100.0%	21.4%	28.6%	21.4%	7.1%	21.4%
■ 年代別						
18～29歳	27	6	13	5	2	1
	100.0%	22.2%	48.1%	18.5%	7.4%	3.7%
30～39歳	30	10	16	3	1	0
	100.0%	33.3%	53.3%	10.0%	3.3%	0.0%
40～49歳	46	6	21	10	7	2
	100.0%	13.0%	45.7%	21.7%	15.2%	4.3%
50～59歳	55	11	28	9	6	1
	100.0%	20.0%	50.9%	16.4%	10.9%	1.8%
60～69歳	72	9	44	9	4	6
	100.0%	12.5%	61.1%	12.5%	5.6%	8.3%
70～79歳	88	18	37	13	5	15
	100.0%	20.5%	42.0%	14.8%	5.7%	17.0%
80歳以上	54	10	15	12	4	13
	100.0%	18.5%	27.8%	22.2%	7.4%	24.1%
無回答	2	1	0	0	1	0
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%

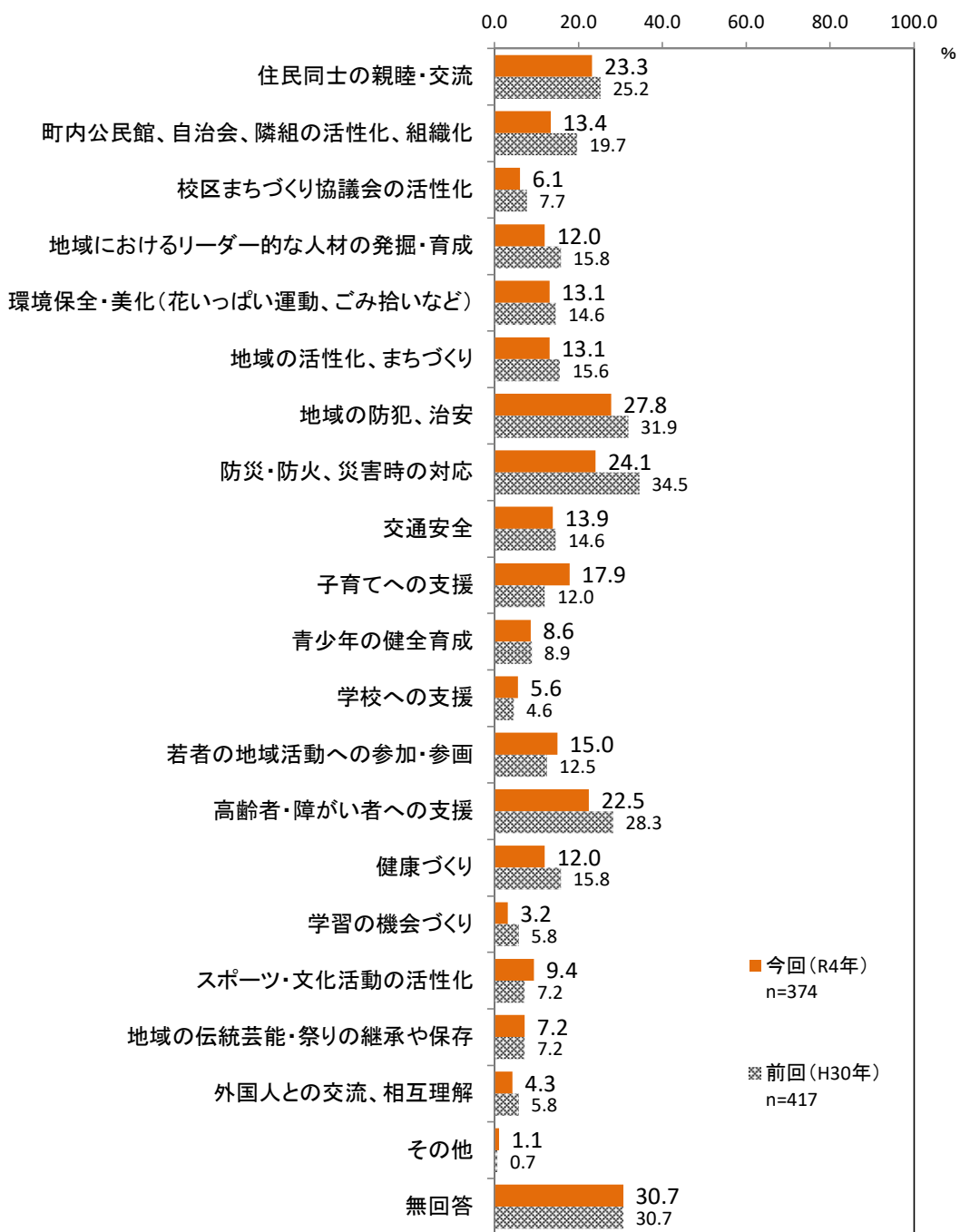
問 28 あなたの住まいの地域では、どのような課題がありますか。

あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。また、○印をつけたことのうち、地域だけでは解決が難しく、地域と行政が協働して取り組む必要があると思うことは、どれですか。特に必要だと思うものを3つまで○印をつけてください。

問28 お住まいの地域の課題

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
住民同士の親睦・交流	87	23.3	105	25.2
町内公民館、自治会、隣組の活性化、組織化	50	13.4	82	19.7
校区まちづくり協議会の活性化	23	6.1	32	7.7
地域におけるリーダー的な人材の発掘・育成	45	12.0	66	15.8
環境保全・美化(花いっぱい運動、ごみ拾いなど)	49	13.1	61	14.6
地域の活性化、まちづくり	49	13.1	65	15.6
地域の防犯、治安(不審者・空き家対策、防犯灯など)	104	27.8	133	31.9
防災・防火、災害時の対応	90	24.1	144	34.5
交通安全	52	13.9	61	14.6
子育てへの支援	67	17.9	50	12.0
青少年の健全育成	32	8.6	37	8.9
学校への支援	21	5.6	19	4.6
若者の地域活動への参加・参画	56	15.0	52	12.5
高齢者・障がい者への支援	84	22.5	118	28.3
健康づくり	45	12.0	66	15.8
学習の機会づくり(生活問題や制度、法律等)	12	3.2	24	5.8
スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭など)	35	9.4	30	7.2
地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	27	7.2	30	7.2
外国人との交流、相互理解	16	4.3	24	5.8
その他	4	1.1	3	0.7
無回答	115	30.7	128	30.7
回答者数		374	417	

	合計	住民同士の親睦・交流	町内公民館、自治会、隣組の活性化、組織化	校区まちづくり協議会の活性化	地域におけるリーダー的な人材の発掘・育成	環境保全・美化(花いっぱい運動、ごみ拾いなど)	地域の活性化、まちづくり	地域の防犯、治安(不審者・空き家対策、防犯灯など)	防災・防火、災害時の対応	交通安全	子育てへの支援	青少年の健全育成	学校への支援	若者の地域活動への参加・参画	高齢者・障がい者への支援	健康づくり	学習の機会づくり(生活問題や制度、法律等)	スポーツ・文化活動の活性化(運動会や文化祭など)	地域の伝統芸能・祭りの継承	外国人との交流、相互理解	その他	無回答
全体	374	87 23.3%	50 13.4%	23 6.1%	45 12.0%	49 13.1%	49 13.1%	104 27.8%	90 24.1%	52 13.9%	67 17.9%	32 8.6%	21 5.6%	56 15.0%	84 22.5%	45 12.0%	12 3.2%	35 9.4%	27 7.2%	16 4.3%	4 1.1%	115 30.7%
■性別																						
男性	165	49 29.7%	29 17.6%	14 8.5%	21 12.7%	24 14.5%	24 14.5%	49 29.7%	39 23.6%	24 14.5%	40 24.2%	19 11.5%	14 8.5%	30 18.2%	43 26.1%	25 15.2%	8 4.8%	24 14.5%	21 12.7%	8 4.8%	3 1.8%	39 23.6%
女性	195	36 18.5%	20 10.3%	9 4.6%	22 11.3%	22 11.3%	24 12.3%	52 26.7%	49 25.1%	23 11.8%	26 13.3%	13 6.7%	7 3.6%	26 13.3%	40 20.5%	20 10.3%	4 2.1%	11 5.6%	5 2.6%	8 4.1%	1 0.5%	71 36.4%
無回答	14	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	1 7.1%	3 21.4%	2 14.3%	5 35.7%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 35.7%
■年代別																						
18～29歳	27	6 22.2%	2 7.4%	1 3.7%	0 0.0%	5 18.5%	4 14.8%	5 18.5%	6 22.2%	7 25.9%	12 44.4%	3 11.1%	6 22.2%	8 29.6%	7 25.9%	6 22.2%	1 3.7%	6 22.2%	4 14.8%	4 14.8%	0 0.0%	5 18.5%
30～39歳	30	10 33.3%	5 16.7%	4 13.3%	2 6.7%	5 16.7%	4 13.3%	12 40.0%	8 26.7%	5 16.7%	14 46.7%	6 20.0%	2 6.7%	8 26.7%	10 33.3%	3 10.0%	3 10.0%	4 13.3%	6 20.0%	3 10.0%	1 3.3%	3 10.0%
40～49歳	46	14 30.4%	8 17.4%	4 8.7%	10 21.7%	7 15.2%	11 23.9%	18 39.1%	15 32.6%	9 19.6%	15 32.6%	4 8.7%	5 10.9%	8 17.4%	7 15.2%	2 4.3%	2 2.2%	8 17.4%	4 8.7%	4 8.7%	0 0.0%	7 15.2%
50～59歳	55	11 20.0%	13 23.6%	4 7.3%	8 14.5%	8 14.5%	8 14.5%	21 38.2%	13 23.6%	10 18.2%	7 12.7%	4 7.3%	2 3.6%	8 14.5%	10 18.2%	4 7.3%	1 1.8%	3 5.5%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	12 21.8%
60～69歳	72	19 26.4%	7 9.7%	4 5.6%	7 9.7%	5 6.9%	12 16.7%	15 20.8%	23 31.9%	5 6.9%	9 12.5%	4 5.6%	1 1.4%	12 16.7%	18 25.0%	14 19.4%	2 2.8%	8 11.1%	3 4.2%	3 4.2%	1 1.4%	21 29.2%
70～79歳	88	19 21.6%	9 10.2%	3 3.4%	12 13.6%	12 13.6%	7 8.0%	22 25.0%	17 19.3%	9 10.2%	9 10.2%	8 9.1%	4 4.5%	9 10.2%	23 26.1%	11 12.5%	4 4.5%	5 5.7%	6 6.8%	1 1.1%	1 1.1%	36 40.9%
80歳以上	54	7 13.0%	6 11.1%	3 5.6%	6 11.1%	7 13.0%	3 5.6%	11 20.4%	7 13.0%	6 11.1%	1 1.9%	3 5.6%	1 1.9%	3 5.6%	9 16.7%	5 9.3%	0 0.0%	1 1.9%	4 7.4%	0 0.0%	0 0.0%	30 55.6%
無回答	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%

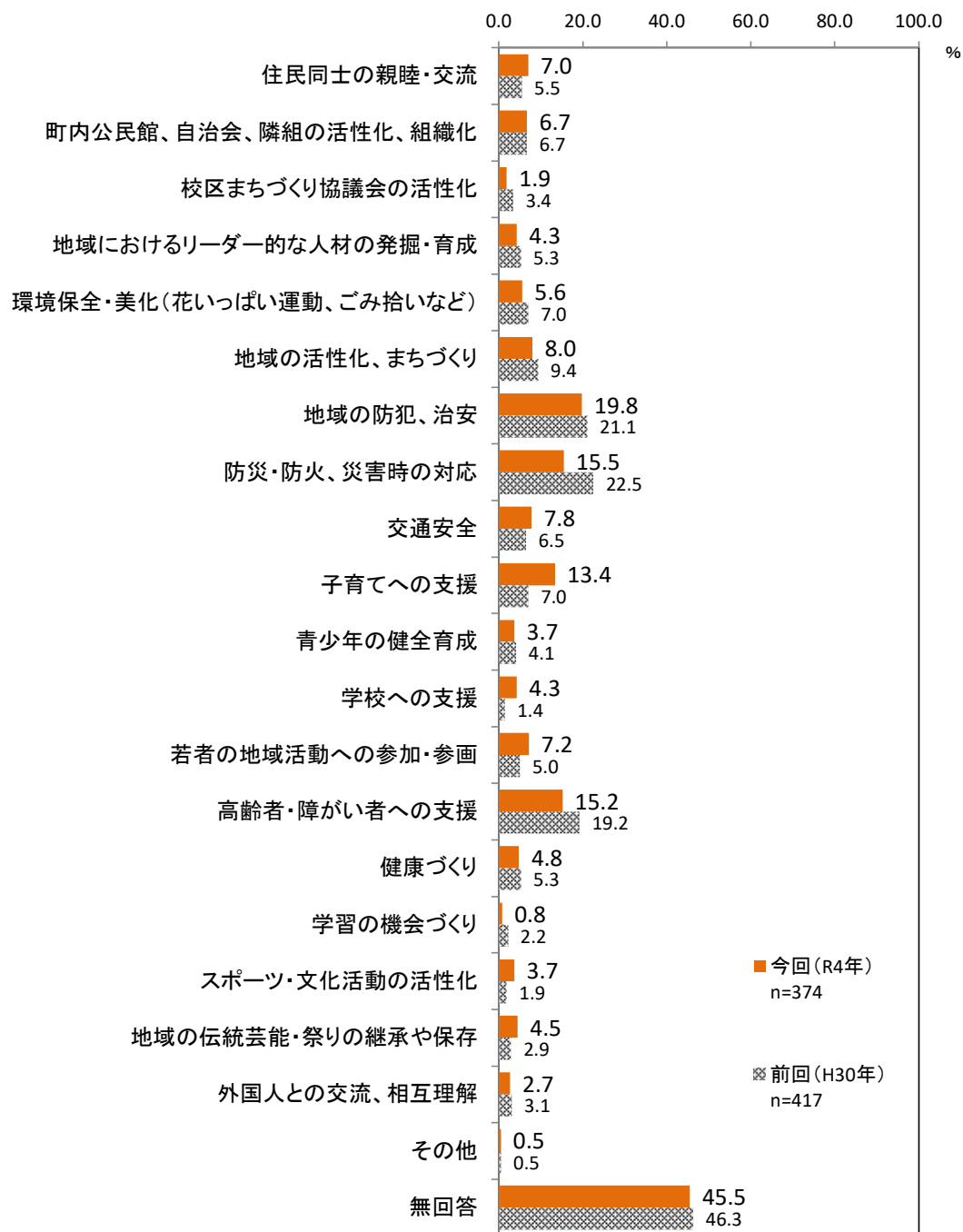


問28地域課題その他	性別	年齢
のら猫対策	男性	55～59歳
高齢化	女性	60～64歳
考えたことなく、意識もなくわからない。	女性	65～69歳
特に会話なし。	男性	65～69歳
地域の活性化をあまり望まない人もいるかも。	男性	75～79歳

問28 地域と行政が協働で取り組むべきこと

	今回（R4年）		前回（H30年）	
	度数（人）	%	度数（人）	%
住民同士の親睦・交流	26	7.0	23	5.5
町内公民館、自治会、隣組の活性化、組織化	25	6.7	28	6.7
校区まちづくり協議会の活性化	7	1.9	14	3.4
地域におけるリーダー的な人材の発掘・育成	16	4.3	22	5.3
環境保全・美化（花いっぱい運動、ごみ拾いなど）	21	5.6	29	7.0
地域の活性化、まちづくり	30	8.0	39	9.4
地域の防犯、治安（不審者・空き家対策、防犯灯など）	74	19.8	88	21.1
防災・防火、災害時の対応	58	15.5	94	22.5
交通安全	29	7.8	27	6.5
子育てへの支援	50	13.4	29	7.0
青少年の健全育成	14	3.7	17	4.1
学校への支援	16	4.3	6	1.4
若者の地域活動への参加・参画	27	7.2	21	5.0
高齢者・障がい者への支援	57	15.2	80	19.2
健康づくり	18	4.8	22	5.3
学習の機会づくり（生活問題や制度、法律等）	3	0.8	9	2.2
スポーツ・文化活動の活性化（運動会や文化祭など）	14	3.7	8	1.9
地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	17	4.5	12	2.9
外国人との交流、相互理解	10	2.7	13	3.1
その他	2	0.5	2	0.5
無回答	170	45.5	193	46.3
回答者数	374		417	

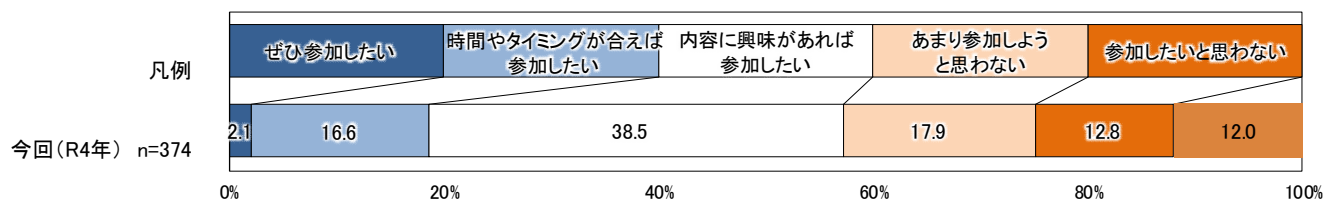
	合計	住民同士の親睦・交流	町内公民館、自治会、隣組の活性化	校区まちづくり協議会の活性化	地域におけるリーダー的な人材の発掘・育成	環境保全・美化（花いっぱい運動、ごみ拾いなど）	地域の活性化、まちづくり	地域の防犯、治安（不審者・空き家対策、防犯灯など）	防災・防火、災害時の対応	交通安全	子育てへの支援	青少年の健全育成	学校への支援	若者の地域活動への参加・参画	高齢者・障がい者への支援	健康づくり	学習の機会づくり（生活問題や制度、法律等）	スポーツ・文化活動の活性化（運動会や文化祭など）	地域の伝統芸能・祭りの継承や保存	外国人との交流、相互理解	その他	無回答
全体	374	26 7.0%	25 6.7%	7 1.9%	16 4.3%	21 5.6%	30 8.0%	74 19.8%	58 15.5%	29 7.8%	50 13.4%	14 3.7%	16 4.3%	27 7.2%	57 15.2%	18 4.8%	3 0.8%	14 3.7%	17 4.5%	10 2.7%	2 0.5%	170 45.5%
■性別																						
男性	165	15 9.1%	13 7.9%	4 2.4%	5 3.0%	10 6.1%	15 9.1%	29 17.6%	20 12.1%	10 6.1%	28 17.0%	9 5.5%	11 6.7%	15 9.1%	29 17.6%	6 3.6%	2 1.2%	8 4.8%	15 9.1%	5 3.0%	1 0.6%	66 40.0%
女性	195	10 5.1%	12 6.2%	3 1.5%	11 5.6%	9 4.6%	14 7.2%	43 22.1%	38 19.5%	16 8.2%	21 10.8%	5 2.6%	5 2.6%	12 6.2%	27 13.8%	11 5.6%	1 0.5%	6 3.1%	2 1.0%	5 2.6%	1 0.5%	96 49.2%
無回答	14	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 57.1%
■年代別																						
18～29歳	27	1 3.7%	1 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.7%	1 3.7%	1 3.7%	4 14.8%	2 7.4%	9 33.3%	1 3.7%	5 18.5%	4 14.8%	5 18.5%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	2 7.4%	2 7.4%	0 0.0%	10 37.0%
30～39歳	30	2 6.7%	5 16.7%	1 3.3%	1 3.3%	1 3.3%	2 6.7%	10 33.3%	5 16.7%	4 13.3%	13 43.3%	3 10.0%	2 6.7%	3 10.0%	6 20.0%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	5 16.7%	3 10.0%	0 0.0%	6 20.0%
40～49歳	46	7 15.2%	3 6.5%	2 4.3%	3 6.5%	5 10.9%	7 15.2%	10 21.7%	12 26.1%	2 4.3%	10 21.7%	0 0.0%	3 6.5%	6 13.0%	5 10.9%	1 2.2%	0 0.0%	3 6.5%	4 8.7%	3 6.5%	0 0.0%	14 30.4%
50～59歳	55	2 3.6%	4 7.3%	0 0.0%	4 7.3%	5 9.1%	3 5.5%	21 38.2%	11 20.0%	11 14.5%	7 12.7%	0 0.0%	1 1.8%	7 12.7%	8 14.5%	2 3.6%	0 0.0%	3 5.5%	0 0.0%	1 1.8%	1 1.8%	16 29.1%
60～69歳	72	4 5.6%	1 1.4%	1 1.4%	2 2.8%	2 2.8%	8 11.1%	10 13.9%	14 19.4%	6 8.3%	5 6.9%	2 2.8%	1 1.4%	4 5.6%	14 19.4%	4 5.6%	2 2.8%	2 2.8%	3 4.2%	1 1.4%	1 1.4%	32 44.4%
70～79歳	88	6 6.8%	9 10.2%	2 2.3%	5 5.7%	6 6.8%	6 6.8%	15 17.0%	11 12.5%	5 5.7%	6 6.8%	5 5.7%	4 4.5%	2 2.3%	13 14.8%	4 4.5%	1 1.1%	1 1.1%	3 3.4%	0 0.0%	0 0.0%	50 56.8%
80歳以上	54	4 7.4%	2 3.7%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	3 5.6%	7 13.0%	1 1.9%	2 3.7%	0 0.0%	3 5.6%	0 0.0%	1 1.9%	6 11.1%	3 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	40 74.1%
無回答	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%



問 29 地区公民館やえるる等において、「地域づくり・まちづくり」について学ぶ講座等があれば、参加したいと思いますか。

問29 「地域づくり・まちづくり」について学ぶ講座等への参加意向

	度数	%
ぜひ参加したい	8	2.1
時間やタイミングが合えば参加したい	62	16.6
内容に興味があれば参加したい	144	38.5
あまり参加しようと思わない	67	17.9
参加したいと思わない	48	12.8
無回答	45	12.0
合計	374	100.0



	合計	ぜひ参加したい	時間やタイミングが合えば参加したい	内容に興味があれば参加したい	あまり参加しようと思わない	参加したいと思わない	無回答
全体	374	8	62	144	67	48	45
	100.0%	2.1%	16.6%	38.5%	17.9%	12.8%	12.0%
■ 性別							
男性	165	6	25	66	27	24	17
	100.0%	3.6%	15.2%	40.0%	16.4%	14.5%	10.3%
女性	195	2	34	76	36	22	25
	100.0%	1.0%	17.4%	39.0%	18.5%	11.3%	12.8%
無回答	14	0	3	2	4	2	3
	100.0%	0.0%	21.4%	14.3%	28.6%	14.3%	21.4%
■ 年代別							
18～29歳	27	0	2	13	4	6	2
	100.0%	0.0%	7.4%	48.1%	14.8%	22.2%	7.4%
30～39歳	30	2	5	14	6	2	1
	100.0%	6.7%	16.7%	46.7%	20.0%	6.7%	3.3%
40～49歳	46	2	13	15	7	6	3
	100.0%	4.3%	28.3%	32.6%	15.2%	13.0%	6.5%
50～59歳	55	2	8	25	8	9	3
	100.0%	3.6%	14.5%	45.5%	14.5%	16.4%	5.5%
60～69歳	72	1	16	28	15	8	4
	100.0%	1.4%	22.2%	38.9%	20.8%	11.1%	5.6%
70～79歳	88	1	11	35	15	9	17
	100.0%	1.1%	12.5%	39.8%	17.0%	10.2%	19.3%
80歳以上	54	0	7	14	12	6	15
	100.0%	0.0%	13.0%	25.9%	22.2%	11.1%	27.8%
無回答	2	0	0	0	0	2	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

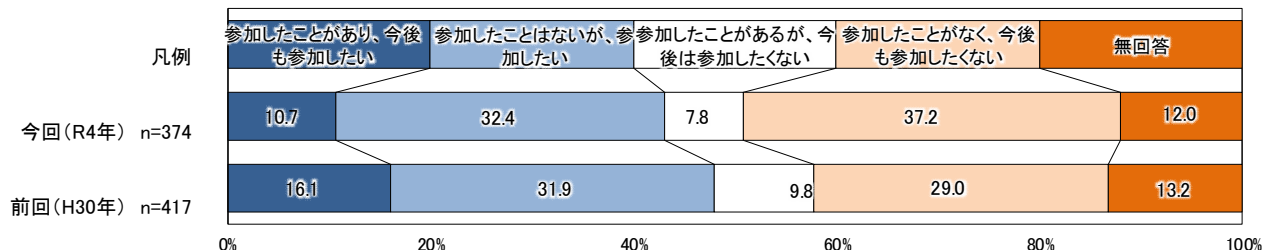
問 30 最後に、おたずねします。地域の住民が登下校時の子どもの見守りを行ったり、子ども達が地域の文化活動に参加したりするなど、学校と地域が連携・協働し、地域の未来を担う子ども達の成長を支える必要性が高まっています。

あなたは、お住まいの地域にある学校を支援する活動に参加したいと思いますか。

あてはまる番号に○印をつけてください。

問30 地域にある学校支援活動に対する参加意向

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
参加したことがあり、今後も参加したい	40	10.7	67	16.1
参加したことはないが、参加したい	121	32.4	133	31.9
参加したことがあるが、今後は参加したくない	29	7.8	41	9.8
参加したことがなく、今後も参加したくない	139	37.2	121	29.0
無回答	45	12.0	55	13.2
合計(回答者数)	374	100.0	417	100.0

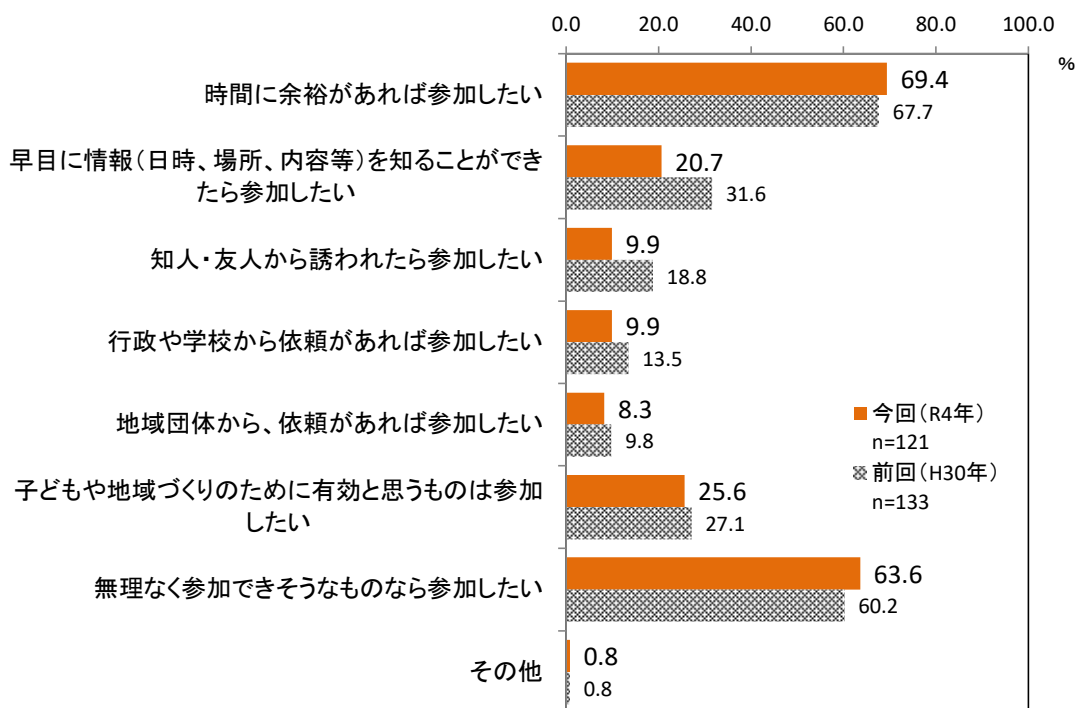


	合計	今参加もしたことがあり、	が参加したことはない	が参加したことはない	今参加もしたことがなく、	無回答
全体	374 100.0%	40 10.7%	121 32.4%	29 7.8%	139 37.2%	45 12.0%
■ 性別						
男性	165 100.0%	18 10.9%	58 35.2%	13 7.9%	60 36.4%	16 9.7%
女性	195 100.0%	20 10.3%	62 31.8%	15 7.7%	73 37.4%	25 12.8%
無回答	14 100.0%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	6 42.9%	4 28.6%
■ 年代別						
18～29歳	27 100.0%	0 0.0%	16 59.3%	3 11.1%	8 29.6%	0 0.0%
30～39歳	30 100.0%	5 16.7%	15 50.0%	1 3.3%	9 30.0%	0 0.0%
40～49歳	46 100.0%	10 21.7%	18 39.1%	5 10.9%	10 21.7%	3 6.5%
50～59歳	55 100.0%	12 21.8%	14 25.5%	5 9.1%	23 41.8%	1 1.8%
60～69歳	72 100.0%	1 1.4%	32 44.4%	5 6.9%	29 40.3%	5 6.9%
70～79歳	88 100.0%	7 8.0%	21 23.9%	5 5.7%	35 39.8%	20 22.7%
80歳以上	54 100.0%	5 9.3%	5 9.3%	5 9.3%	23 42.6%	16 29.6%
無回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

問30-2 (問30で2.「参加したことはないが、参加したい」を選んだ人におたずねします)
あなたは、どのような状況なら参加することができますか。
あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

問30-2 学校を支援する活動に参加するための条件

	今回(R4年)		前回(H30年)	
	度数(人)	%	度数(人)	%
時間に余裕があれば参加したい	84	69.4	90	67.7
早目に情報(日時、場所、内容等)を知ることができたら参加したい	25	20.7	42	31.6
知人・友人から誘われたら参加したい	12	9.9	25	18.8
行政や学校から依頼があれば参加したい	12	9.9	18	13.5
地域団体(まちづくり協議会、町内公民館、校区社協、校区民児協・主任児童委員など)から、依頼があれば参加したい	10	8.3	13	9.8
子どもや地域づくりのために有効と思うものは参加したい	31	25.6	36	27.1
無理なく参加できそうなものなら参加したい	77	63.6	80	60.2
その他	1	0.8	1	0.8
回答者数	121		133	



問30の2その他	性別	年齢
仕事の都合が…。	男性	45～49歳
コロナで外出解禁になれば歴史・文学講座に参加したいと思います。	女性	75～79歳

		時間 に余裕 があれば 参加し たい	早 目 に 情 報 （ 日 時 、 場 所 、 内 容 等 ） を 知 る こ と が で き た ら 参 加 し た い	知 人 ・ 友 人 か ら 誘 わ れ た ら 参 加 し た い	行 政 や 学 校 か ら 依 頼 が あ れ ば 参 加 し た い	地 域 団 体 （ ま ち づ く り 協 議 会 、 町 内 公 民 館 、 校 区 社 協 、 校 区 民 児 協 、 主 任 児 童 委 員 協 議 会 な ど ） か ら 、 依 頼 が あ れ ば 参 加 し た い	子 ど も や 地 域 づ く り の た め に 有 効 と 思 う も の は 参 加 し た い	無 理 な く 参 加 で き そ う な も の な ら 参 加 し た い	そ の 他	無 回 答
合 計	121	84 69.4%	25 20.7%	12 9.9%	12 9.9%	10 8.3%	31 25.6%	77 63.6%	1 0.8%	0 0.0%
■ 性別										
男性	58	38 65.5%	11 19.0%	6 10.3%	9 15.5%	7 12.1%	18 31.0%	39 67.2%	1 1.7%	0 0.0%
女性	62	45 72.6%	14 22.6%	6 9.7%	3 4.8%	3 4.8%	13 21.0%	38 61.3%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
■ 年代別										
18～29歳	16	12 75.0%	5 31.3%	3 18.8%	3 18.8%	1 6.3%	4 25.0%	6 37.5%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	15	12 80.0%	3 20.0%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	6 40.0%	11 73.3%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	18	16 88.9%	4 22.2%	3 16.7%	2 11.1%	2 11.1%	4 22.2%	10 55.6%	1 5.6%	1 5.6%
50～59歳	14	11 78.6%	2 14.3%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	6 42.9%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	32	22 68.8%	7 21.9%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 25.0%	26 81.3%	0 0.0%	0 0.0%
70～79歳	21	8 38.1%	3 14.3%	0 0.0%	3 14.3%	5 23.8%	4 19.0%	17 81.0%	0 0.0%	0 0.0%
80歳以上	5	3 60.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問 31 今回、おたずねした生涯学習や地域づくりについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

生涯学習について	性別	年代
10 代後半～20 代の若者に対する取り組みが少ないので多くしてほしいです。	女性	20～24 歳
太宰府にあったと思いますがファラボ(Fablab)の施設がほしい。確か民間の企業と連携して運営していたと思います。(グッデイ)	男性	35～39 歳
学習の面で学費安めの講座があれば助かります。	女性	40～44 歳
参加しやすい環境と、魅力的な活動であれば周知されれば人は来ます。参加しやすくするための場所や費用の提供、活動によって得られるメリットと楽しさをもっと周知して欲しい。	男性	40～44 歳
核家族化が進み(三世代家族…祖父祖母からの)愛情の受け渡し、生活の知恵が受け継がれないまま、スマホ時代となっています。収入の少ない家庭で育つ子供達にも未来・夢がある為、是非とも(本人達は産まれてきたきた親、家庭は選べない)学べるための支援、大学生で自宅外で学べる様に、自分の力で開拓できる成年になるまでは学びの保障をお願いします。純粋に「学びたい将来・未来の夢に向かって」という気持ちを持っています。地域サロン等で、子供たちとお年寄り(高齢者)の方を繋いでいく。	女性	45～49 歳
生涯学習をもっと身近な公民館でできれば行きやすく時間もとれると思います。小さな公民館でも近所の子ども・高齢者が行きやすい場所で行って頂ければ公民館にも活気が出て、地域づくりにもつながっていくのでは？と思います。	女性	45～49 歳
仕事をしている間は難しいので、退職後時間ができた時に役立つ様なものがあれば参加できればいいと思います。	女性	50～54 歳
学んでみたい学習もあるのですが、どれも午前中(平日)等で、なかなか時間帯がありません。仕事帰りに寄れる時間帯など増やしていただけるともう少し学べる人達が、集まるのではないかと考えています。	女性	50～54 歳
コロナのため、生涯学習の開催も厳しいと思いますが、楽しみにしている講座が沢山あります。今後ともよろしくお願い致します。又、仕事が不規則なため、同じ講座が少し時間を空けて開催いただけると非常に参加しやすいです。	女性	55～59 歳
自分自身は、興味のあることに対して、自分で取り組み、行政の支援は不要だが、行政が主導するサークル等が必要な人もいると思う。	男性	55～59 歳
参加したくなるような企画をまずは行政から発信してほしい。子供達が誇りに思える郷土であるように魅力ある街作りをすれば、おのずと興味を持つ者も増えると思う。	女性	55～59 歳
行政がやる事じゃなく、個人のやり方が問題かな？バカは死んでもなおらない。自分自身が学ぶ気持ちがないと人間は成長しないから。	男性	60～64 歳

高齢の親、家族の看護がある間は、自分のことについての時間はなかなかとれません。余裕ができたらずいづつと思っています。その時の「第一歩」が参加しやすかったらいいなと思っています。	女性	65～69 歳
IT 化が進んでいる中、「感情」「思い」を持っている「人」が基本となっている事が全ての取り組みの基本にした大牟田市であって欲しいです。ご苦労様です。	女性	70～74 歳
①大牟田は海に囲まれ、自然環境には最適の場所と思います。従って、海づりを中心としたとりくみがあると初心者でも参加しやすいと思います。②高齢者に対して音楽教室への参加。特にピアノ教室など行政と民間の楽器店が提携して安い授業料で開設する。	男性	70～74 歳
生涯学習については教育委員会に頑張って欲しい。	男性	70～74 歳
知識・智恵、治療・養生、年を取る・積み重ねる。自由自在と言われてますが責任を伴います。実際厳しくて、そこまで考えての行動です。次の世代は大変です。	男性	75～79 歳
何らかの形で貢献できればいいなあと思います。私のできる範囲で。	女性	75～79 歳
退職後 10 年間程積極的活動に参加、協力してきましたが、只今内向きな生活になり、このアンケートの主旨に添えず申し訳ありません。	女性	75～79 歳
地区のサロンに月 1 回行ってますが、金銭的援助がもっとほしいです。	女性	75～79 歳

地域づくりについて	性別	年代
私が小学生の頃に比べ 1 クラスだとだいぶ子供の数が減っているのにおどろきがありました。子育て支援でいうと、あんまり大牟田はお勧めできないと思います。ほかの県が良すぎて医療費とかもやっぱり他と比べてしまいます。	女性	25～29 歳
街コンとか主催してくれれば若い人が来るかもしれません。	男性	25～29 歳
ボランティアというものが、自分達に利が無く社会貢献をすることでの自己満足にすぎない。皆が皆、進んでボランティアをするとは思えない。	男性	25～29 歳
参加したい、協力したいと思えるような早目の情報提供をお願いします。参加したくても、仕事が・・・とかで行けない人はたくさんいらっしゃると思うので、「ボランティア休暇」的なのが職場で出せるとみんな参加しやすくなるのかなと思います。お忙しいとは思いますが、大牟田がもっとよりよくなるためにお願いします。ご苦労様です。	女性	25～29 歳
まち協や自治会という制度を根本的に見直すべき。自治会業務を専属的に行う職員を雇用し、行政主体になるべき。そうしないとたない。	男性	40～44 歳
持ち主不明の土地に生えた草木を切って欲しい。自宅の敷地に侵入してきており困っている。野良猫にエサを与えている人がおり、野良猫が増え自宅に糞をされる。エサを与えている人に注意や駆除をして欲しい。	男性	40～44 歳

生涯学習に限らず、地域の活性化のためには、とにかく若い年代の方々の「若い力」が必要と思う。スポーツを通じて子供達と活動しているが、若い世代の指導者等は不可欠であるも、通常仕事を行っている若年世代が仕事時間外に活動に参加するのは困難で、さらに若い世代が少ないとなれば、より困難。よりよい地域づくりのためには、まずは「住みたいと思うまちづくり」を推進し、環境美化等できれいな街並みを整え、次世代の住民を増やすことに力を注ぐべきだと思う。	男性	45～49 歳
大牟田を魅力的な町にしたい。全国的に注目させる様なアイデアを求めます。	男性	45～49 歳
登校時の「見守り隊」の方は、毎朝・夕従事されており、有難いと感じる一方で、旗の振り方、判断にどうかと思う場面が何度かありました。状況判断が難しいと思いますが、児童、自転車、車等が安全に通行することを意識して、旗を振っていただきたいと思います。	女性	50～54 歳
地域づくりに関して公民館の新規加入が少ないため役員をずっと同じ人で回していますが、公民館の必要性を問われるとよくわからない為進めることもできない状況にあります。	女性	50～54 歳
役員の方(自治会等)の高齢化が進んでおり、地域づくりのあり方自体を見直すべき。高齢化に伴い生涯学習の充実について期待しています。	女性	50～54 歳
通学路の環境整備を行って欲しい。用水路などゴミ・草取り・たまった土の取り除きをしてもらいたい。	男性	50～54 歳
コロナの影響で地域活動や人との関りが一気に衰退した。大牟田市の現状と課題(人口減少・高齢化)を踏まえ今からできることを考え、みんなが住みやすいまちづくりを実行していく。	女性	50～54 歳
より良い大牟田に。住んでいて良かったと思える場所に。市の方でも、アンケート調査をされる程、真剣に検討されている事が伺え、うれしいと思いました。ここが良い(大牟田)と思える街に、より良く変わっていく事を願います。	女性	55～59 歳
小・中学生がもっと地域の道路、公園のゴミ拾いや、らく書き消し等の活動を行えば、子供たちは学習しその姿を見た若者大人も共感し、きれいな「まちづくり」が出来るのではと思います。	男性	55～59 歳
公民館活動を長年やってきましたが、こちらからいろんなことを呼びかけても反応する人が減ってきました。だから何かに困っている・何かをしたい人がいたら一緒に解決できるようにつとめてます。そのために自分のレベルを上げる努力はしてます。	男性	60～64 歳
1人ぐらしの高齢者増えていると思います。市や地域で支えている全国的な事例や教訓を学びたいと思います。	男性	65～69 歳
隣組加入者が未加入の人々の当番表を作ったり配ったり、加入者(1/3)が未加入者(2/3)の所へ防犯灯の協力金(?)を集金に行ったりと何か変ではありませんか？	女性	65～69 歳

大牟田が大好きでもっと住み良い町になったら素晴らしい事で嬉しく思いますが、日々の暮らしに追われ進んで何かをしようと言う気持ちになれなくて申し訳ないです。陰ながら応援しています。	女性	65～69 歳
高齢者になって来るとなかなか回りの方と接することが少なくなってしまう。集合住宅になるととくに少なくなります。隣はどなたかも知らない状態です。	女性	70～74 歳
ご近所のお年寄を見守っていますので、これからも変化にいち早く気づき守っていきたいと思います。	女性	70～74 歳
高齢で身体が自由が乏しいので支援活動に参加できない旨の理解が欲しい。	女性	70～74 歳
若者が少ないので市に活気がなく魅力がない。	女性	70～74 歳
今まで地域づくりに参加してこなかった反省と余生を静かに送りたいという気持ちがあり微妙に揺れている。	男性	75～79 歳
コロナ関係で思うように活動が出来てないと思います。近所、校区内の方と出会いおしゃべりしたいと皆さん思ってるでしょう。	女性	75～79 歳
町内公民館のあり方を考える時期と思う。高齢者の一人暮らしが増えて、機能しない所もあると思う。	男性	75～79 歳
高齢者なので地域の集まりは参加できないけど、これからの若い世代のすみよい大牟田市、町づくり、地域づくりを考えてほしい。今まさに大牟田は淋しいと思います。	男性	80 歳以上
現在の公民館制度を廃止して市民全員参加型が望ましい。いろんな面でまとまりが無くて清掃活動、リサイクル等参加者が少ない横の繋がりが無く近所にどんな人が住んで居るのか判らない。高齢者が多いのでお互いの目くばり気くばりが必要。昨年、同じ校区で死後数ヵ月後に発見された人の話を聞いて不安が募ります。	女性	80 歳以上
お互い時間を作って交流の場をつくってほしい。	男性	80 歳以上

その他	性別	年代
生涯学習や地域づくりをする前にもっとすべき事があると思う。全体的な給料を上げたり、休みがもっと取得しやすい制度を作ったり…この将来が見えない給料や休みの取りづらさ・少なさで若者に心の余裕なんて生まれないし、こんな世の中では結婚も出産もできない。お年寄りにお金(税金)を使う事は悪いとは言わないが、もっと若者への支援を増やしてほしい。	女性	20～24 歳
大牟田市をもっと素敵な場所にしていくことが重要！！今福岡県内でも最低レベルなこと、しっかりと！！理解して頂けたらと思っています。	男性	45～49 歳
このアンケートがどのように活用されるのか興味があります。私の年齢になると、お金はありませんが時間はあります！！ただし…何をするにも行くにも敷居が高いです。	女性	60～64 歳

特にありません。このようなアンケートは、市民として必要な事だと思います。お疲れ様です。	女性	60～64 歳
このようなアンケートは無作為に選んだとのことですが、知的障害、認知症患者がいるだろう施設入居者に関してはアンケートに答えるのが難しいので、考えてほしいです。よろしくお願いいたします。	男性	65～69 歳
生涯学習、ボランティア活動。一度も出席した事ありません。意見にならずすみません。	女性	75～79 歳
今まで色々参加して来たが、今高齢なのでひかえている。	女性	80 歳以上
コロナで要介護度が 2～4 度までになった。(3 年間で)	女性	80 歳以上
60 才過ぎてから、化粧品販売をしている。ビジネスなので利害がからんでくるので??とはニュアンスがちがってくる。好みもあるので、おたずねの内容とはお答えしにくいところがあります。老化防止にはつながっている。5 月で 89 才になります。わずかですが小銭をかせいでいます。	女性	80 歳以上
高齢者は知らない人が多いと思う。PR 不足。	女性	80 歳以上
90 才で介護老人保健施設に入所中の母の代筆で記入しました。無作為とのことですが年齢的に 80 歳以上は除外して欲しいと思います。	女性	80 歳以上
①市県政だより、情報誌等の企画をもっと小さく、普通のチラシ大にせよ(大き過ぎてごみ、リサイクル等でたばねるとき、ハミ出して困る。②このような問合わせも項目を少なくして、ハガキ大にしてほしい。費用も少なくなると思う。上質紙を使わず普通の紙切れで良いと思う。	男性	80 歳以上

市民意識調査結果を受けての助言者からの提言

未来を拓く社会教育・生涯学習の発展に向けて

西九州大学 子ども学部長 上野景三

I はじめに

前回の 2018（平成 30）年の調査以降、日本の社会はこれまでに経験したことのないコロナ禍にさらされ、全世界的規模でのパンデミックの渦に巻き込まれました。新型コロナウイルス感染症は、感染症の恐ろしさを教えてくれるとともに、リモート学習やリモートワークという新しい学習形態や働き方を生み出しました。またロシアによるウクライナの侵攻は、戦争の恐ろしさ認識させ、平和の大切さを教えてくれました。

これらの経験は、日本や世界のどこに居住していようともリモートによる仕事や学習活動の可能性を拓けるとともに、SDGs の「誰一人取り残さない」という基本理念の大切さを再認識させてくれました。

社会教育・生涯学習の世界では、これまでに経験したことのない事態によって、新しい局面に入ってきたように思います。ここでは、国の次期教育振興基本計画等の動向、及び 3 年間にわたる新型コロナの生活を経験した中で、市民の行動や意識の変容を調査したアンケート結果をふまえ、大牟田市における今後の諸施策へとつながる社会教育・生涯学習推進の課題についてコメントしておきます。

II アンケート調査結果から見えてきたもの

1. 次期教育振興基本計画（第 4 期）の動向をふまえて

2023（令和 5）年度は、国の第 4 期教育振興基本計画が策定される年です。その柱は、①グローバル化への対応、②誰一人取り残さない共生社会の実現、③地域コミュニティの基盤形成とされています。いずれの項目も、社会教育・生涯学習の推進と密接にかかわっていることがらです。その上で、教育デジタルトランスフォーメーション（DX）ⁱの推進が目指されています。

社会教育・生涯学習の基本施策の例としては、次のような項目が掲げられています。

「生涯学び、活躍できる環境整備」

○大学等と産業界の連携等によるリカレント教育ⁱⁱの充実 ○働きながら学べる環境整備 ○リカレント教育のための経済支援・情報提供 ○現代的・社会的課題に対応した学習 ○女性

活躍に向けたリカレント教育の推進 ○高齢者の生涯学習の推進 ○リカレント教育の成果の適切な評価・活用 ○生涯を通じた文化芸術活動の推進

「地域・学校・家庭の連携・協働の推進による地域の教育力の向上」

○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ○家庭教育支援の充実 ○部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備

「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」

○社会教育施設の機能強化 ○社会教育人材の養成・活躍機会拡充 ○地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携

いずれも重要な施策です。大牟田市においてもこれまでに組みこんできた施策があれば、さらに充実していかなければならない項目もあります。また未着手の項目もあるように思われます。すべての施策を大牟田市でできるわけではありませんが、これからは日本社会全体の動向をふまえて、次期の大牟田市社会教育・生涯学習の充実・発展につなげていかなければなりません。

2. 学びの多様化に対応する生涯学習の手法を探る

今回のアンケート結果をみると、新型コロナウイルスの影響を見過ごすことはできないでしょう。わかりやすく言うと、通信環境の整備やリモートワークの普及に伴う生涯学習場面のオンライン環境の整備や情報提供のしかたの変化というものです。

これまでの社会教育・生涯学習は、対面での学習を基本としていました。ところがオンラインの発展によって、学びの局面が多様化し、生涯学習の推進にあたってオンラインを組み入れた生涯学習の手法を開発していかなければなりません。

生涯学習の手法を開発するにあたっては、次の視点を踏まえておく必要があると思います。

一つは、通信環境の整備による公共施設・公共空間の生涯学習空間化です。大牟田市においては、公共施設での Wi-Fi 環境の整備がこの間に積極的に進められてきました。そうするとリモート学習の場所は、何も社会教育・生涯学習施設だけに限らなくてもよくなります。どこでも生涯学習空間になります。学校教育も同様です。必ずしもどの家庭にも Wi-Fi 環境があるとは限りません。そのような家庭では、公共施設の Wi-Fi 環境が頼みの綱になります。公共施設・公共空間が、つながることができる、印刷することができる、ちょっとした調べものができる、といった学びの場としての施設・設備や雰囲気を整えられる必要があるかと思います。リモートの使い方について、どの公共施設でも市民の皆さんの質問や疑問に答えることができ、支援することができるといった環境です。

二つには、学習形態として、対面だけではなくオンライン講座の開設が待たれるということです。さらに対面とオンラインを兼ね備えたハイブリッド型の学習形態が求められるようになります。オンラインに特化した特色のある講座の開設も開発されていいのではないかと思います。とくに「生涯学習の時間がない」と回答した層への拡大にチャレンジしてみたらどうでしょうか。

三つには、オンライン講座やハイブリッド型の学習方法を開発することができるようにするためには、社会教育関係職員の研修の機会を進めていく必要があります。

3. 知の循環と地域づくり、つながりづくり

生涯学習の推進が叫ばれる理由の一つには、学んだことが地域社会に還元され、住民の皆さんにつながりが生まれ、地域が活性化していくことが期待されていることがあります。しかし、前回の調査でも地域活動に参加する人たちは減少し、地域活動に参加する時間もないと回答した割合が一定数ありました。今回のアンケート結果をみると、コロナ禍を経験したことによってさらに地域活動への関心が薄くなり、実際にボランティア活動へ参加しようという意欲が減少してきていると言わざるをえません。

この背景には、一人親家庭の増加といった家族形態の多様化、共働き家庭の増加、通勤時間の拡大、地域諸団体の活動の衰退といった様々な要因が潜んでいます。したがって、生涯学習の推進方策の改善をはかったからといって、社会的要因を除去することは難しいでしょう。

しかしだからといって、このままでいいというものでもありません。地域住民の皆さんが地域社会の諸活動に参加できるようにすることは、社会参加の窓口でもあり民主主義の基盤をなすものでもあります。地域社会におけるつながりの安定は、地域防災や地域福祉といった多くの領域にわたる住民生活の安全と安心の観点から最重要課題だといっていいかと思えます。

そういう観点から考えてみたときに、生涯学習の役割は、学んだ成果を地域に還元させるという循環だけではなく、地域住民が自らの地域生活に関心をもってもらい、実際にいろいろな活動に参加してもらうような取り組みを、どう構築することができるのか。それを生涯学習の推進という観点からだけではなく、地域生活に関わる行政内部の多機関・多職種連携の中でどのように連携をもって取り組んでいくことができるのかという観点で発展させていかなければならないでしょう。

4. 次世代を担う子ども・若者たちへの社会教育・生涯学習の充実

コロナ禍を経験した社会は、緊急事態宣言下では子ども・若者たちは、学校へ通学しなくなることもあるということを受け止めざるをえませんでした。この期間に、子どもたちの生

活や学習環境は、とても厳しかったのではないかと想像されます。またこのことは、あらためて子ども・若者たちが学校へ通うことの意味と、学校の存在意義を問い直さざるをえなくなりました。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって前倒し的に進められたGIGAスクール構想ⁱⁱⁱは、どの子どもたちも家庭でのリモート学習を可能にし、個別最適化学習の基盤を作りました。このような経験が続くと、そう遠くない時代に子ども・若者たちはなぜ学校に通わなければならないのかという点を疑問に思うかもしれません。逆に言えば、大人たちは、学校に行かないと得られない教育的価値とは何かを作り出す責任を負っているということでもあります。

このことは、社会教育・生涯学習の側についても同様の問題を指摘できるでしょう。社会教育・生涯学習施設は、GIGA スクール構想と同じように情報インフラは整備されているのでしょうか。学校に通学できない場合、地域社会の中で子ども・若者たちが安全・安心にすごすことのできる学びや遊び、スポーツの空間がどれだけ準備されているのでしょうか。地域社会の中で過ごすことによって、そこでしか学ぶことのできない価値をつくりだすことのできる地域の教育力はあるのでしょうか。学校教育を支える地域力は、残っているのでしょうか。

社会教育・生涯学習の推進の観点から、大牟田市の子ども・若者たちが、地域に対して関心をもち愛着心を育んでいくことができるような取り組みを引き続き行っていく必要があります。

5. 社会教育・生涯学習行政に係る既存事業の検証と施策・事業の再構築

大牟田市における社会教育・生涯学習行政に係る既存事業の検証と見直しは、いつの時代にも求められるところです。しかし今回はコロナ禍を経験したことから、ポストコロナからwith コロナの時代を見通した社会教育・生涯学習の体制と事業の再構築が求められています。

一つには、冒頭に述べたように、国が推進しようとしている「生涯学び、活躍できる環境整備」、「地域・学校・家庭の連携・協働の推進による地域の教育力の向上」、「地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進」の三点については、どこの自治体であっても同じような課題を抱えており、大牟田市としても未着手の領域があれば早急に取り組むことが求められます。

二つには、前回の調査時と今回とで大きく異なっているのは、繰り返しになりますが、コロナ禍の経験です。社会教育・生涯学習推進の体制が、ポストコロナ時代にあった環境になっているのでしょうか。リモートも含んだものとして事業展開されているのでしょうか。そのような観点から検証さなければならず、立ち遅れている部分があるとしたら、自治体DX・教育DX化の推進とともに早急に改善をはかっていく必要があるでしょう。

三つには、近年、地域福祉の立場から地域共生社会の構築が提起されていますが、社会教

育・生涯学習行政の立場からどのような連携をはかっていくことができるのか。多機関・多職種が叫ばれる中で、地域社会をコアとした社会教育・生涯学習も含めた連携のネットワーク構築が求められていると思います。

四つには、社会教育・生涯学習の推進は、やはり対人支援が中心となって進められていきます。AI（人工知能）ではできない仕事の領域です。そうであれば、社会教育・生涯学習人材の育成は不可欠です。社会教育・生涯学習関係の職員が、ポストコロナの時代にみあったスキルアップをはかることができるような体系的かつ継続的な研修機会の拡充が求められます。

ⁱ DX: (デジタルトランスフォーメーション)・・・データとデジタル技術を活用して、ビジネス環境の変化に対応し、顧客や社会のニーズに応える製品やサービス、ビジネスモデルの変革と、業務や組織、プロセス、企業文化・風土の変革を行い、競争力を高めることである（経済産業省 HP より）。

ⁱⁱ リカレント教育・・・就職してからも、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働,余暇など）を交互に行なうといった概念である。1970 年に経済協力開発機構（OECD）が公式に採用し、1973 年に「リカレント教育－生涯学習のための戦略－」報告書が公表されたことで国際的に広く認知された（総務省 HP より）。

ⁱⁱⁱ GIGA スクール・・・1 人 1 台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子供を含め、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 環境を実現する（文部科学省 HP より）。

若者意識調査

調査の概要

(1) 調査の目的

本市における社会教育・生涯学習を今後一層推進するために、平成 30 年度調査時と現在のウイズコロナにおける若者の学習活動に対する意欲、学習ニーズ、ライフスタイルの変化を調査することを目的にアンケート調査を実施する。

(2) 調査の対象

令和 5 年 5 月 1 日を基準日とし、おもに市内在住の 16 歳～34 歳の人

(3) 調査方法

大牟田市市民活動等多目的交流施設「えるる」個人学習室利用受付時に調査票を配布してのアンケート調査。インターネットでの回答と紙で回収箱に投函の 2 種類の回答方法。

(4) 調査期間

令和 5 年 5 月 17 日～5 月 31 日（土・日曜及び祝日を含む）

(5) 回収状況

有効回収数 83 件(回収箱への投函:75件、インターネットでの回答:8件)

(6) 調査結果利用上の留意事項

- ・ 文章や表、グラフ中の回答割合(相対度数)は百分比のポイント以下 2 位を四捨五入しているの
で、合計は必ずしも 100%にならないことがある。
- ・ 2 つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答割合の合計は原則として 100%を
超える。
- ・ 数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数(回答数)を示している。
- ・ 前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化さ
れた回答者を基数として算出している。
- ・ 文中では選択肢(変数)を「 」で示している。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところ
がある。また、2 つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- ・ 性別を「その他」と回答した人は皆無であったことから分析対象から除いている。

＜ 調 査 項 目 ＞

◇回答者属性（性別、年齢、居住地、職業等）……………4 問

（１）生涯学習について……………9 問

- 生涯学習のイメージ
- 生涯学習の必要性、生涯学習が必要と思う理由
- 生涯学習の情報源
- 生涯学習の実施状況・学習ニーズ
- 生涯学習の場所・形態
- 生涯学習を行う曜日・時間帯
- 生涯学習をしない理由（できない理由）
- 行政に対する要望

（２）ボランティア活動・地域活動について……………3 問

- ボランティア活動について（参加状況・今後行いたいと思う活動）
- 地域活動について（認知・参加状況）
- ボランティア活動・地域活動への関心度

（３）自由記述（生涯学習やボランティア・地域活動に関する意見）……1 問

（計 17 問）

社会教育・生涯学習について【アンケート】 若者意識調査用

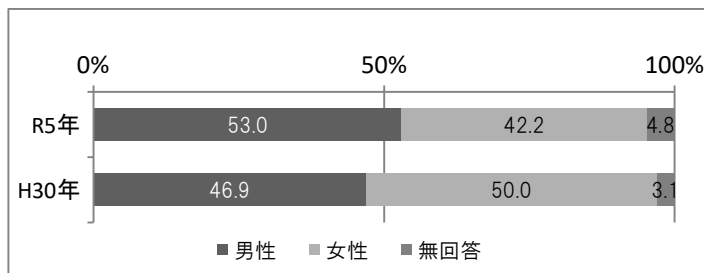
2. 調査結果

回答者属性

◆性別

F1 あなたの性別について、あてはまる番号をご記入ください。

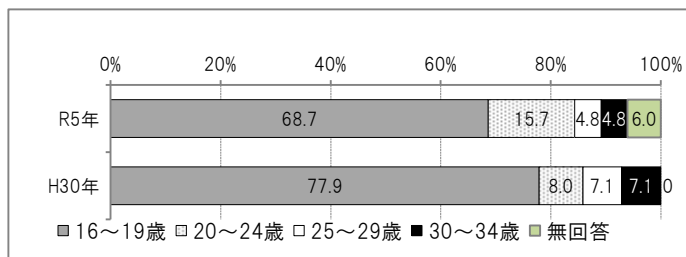
		R5年		H30年	
1	男 性	44	53.0%	46	46.9%
2	女 性	35	42.2%	49	50.0%
3	その他	4	4.8%	3	3.1%
	合 計	83	100.0%	98	100.0%



◆年齢

F2 あなたの年齢(令和5年5月1日現在)について、あてはまる番号をご記入ください。

		R5年		H30年	
1	16歳～19歳	57	68.7%	88	77.9%
2	20歳～24歳	13	15.7%	9	8.0%
3	25歳～29歳	4	4.8%	8	7.1%
4	30歳～34歳	4	4.8%	8	7.1%
	無回答	5	6.0%	0	0.0%
	合 計	83	100.0%	113	100.0%



社会教育・生涯学習について【アンケート】 若者意識調査用

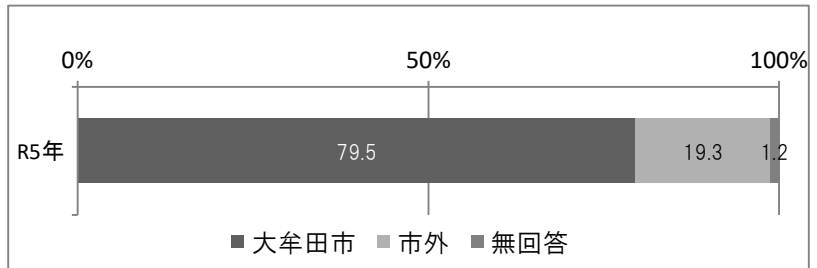
2. 調査結果

回答者属性

◆居住地

F3 あなたはどこに住んでいますか。あてはまる番号に○印をつけてください。

	R5年	
1 大牟田市	66	79.5%
2 市外	16	19.3%
3 無回答	1	1.2%
合計	83	100.0%

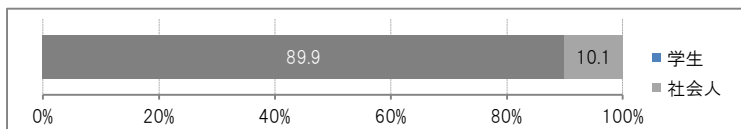
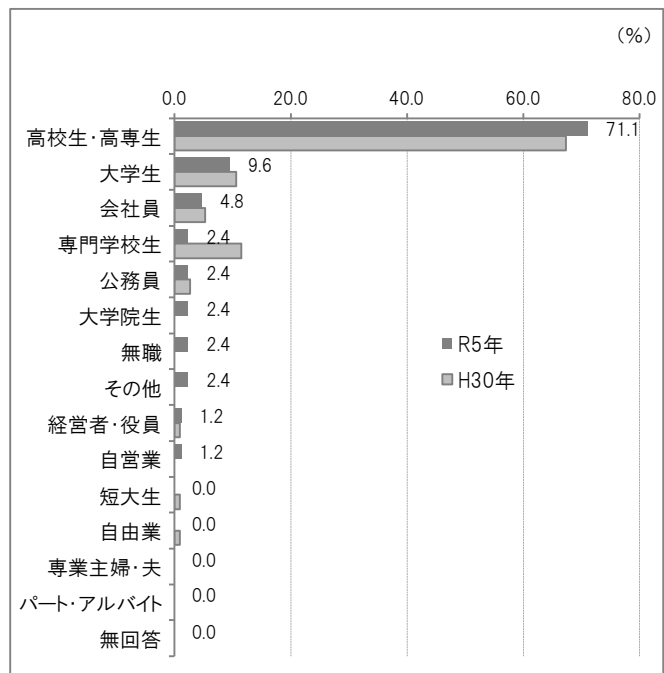


◆年齢

◆職業等

F4 あなたの職業等について、あてはまる番号に○印をつけてください。

	R5年		H30年	
1 高校生・高専生	59	71.1	76	67.3
2 短大生	0	0.0	1	0.9
3 大学生	8	9.6	12	10.6
4 専門学校生	2	2.4	13	11.5
5 大学院生	2	2.4	0	0.0
6 公務員	2	2.4	3	2.7
7 経営者・役員	1	1.2	1	0.9
8 会社員	4	4.8	6	5.3
9 自営業	1	1.2	0	0.0
10 自由業	0	0.0	1	0.9
11 専業主婦(夫)	0	0.0	0	0.0
12 パート・アルバイト	0	0.0	0	0.0
13 無職	2	2.4	0	0.0
14 その他	2	2.4	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0
合計	83	100.0	113	100.0



(1)生涯学習について

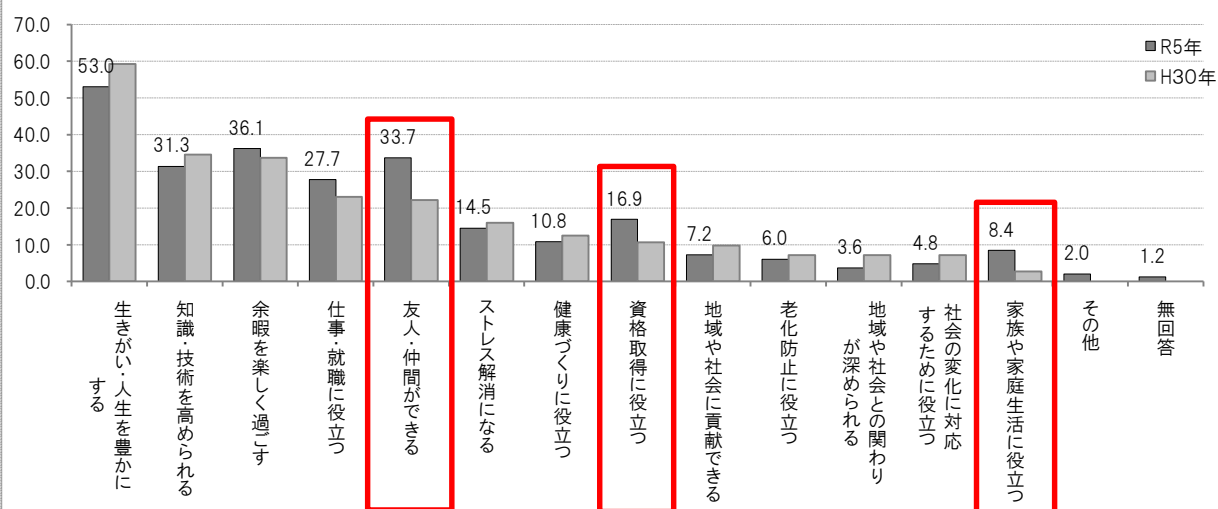
◆生涯学習のイメージ

問5 あなたは、「生涯学習」について、どのような考えやイメージをお持ちですか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

生涯学習に関する考え・イメージは、「生きがい・人生を豊かにする」(53%)が最も高く、次いで、「余暇を楽しく過ごす」(36.1%)、「友人・仲間ができる」(33.7%)、「知識・技術が高められる」(31.3%)、「仕事・就職に役立つ」(27.7%)となっています。「友人・仲間ができる」が(H30年22.1%→R5年33.7%)、「資格取得に役立つ」が(H30年11.1%→R5年16.9%)、「家族や家庭生活に役立つ」が(H30年2.7%→R5年8.4%)と増えています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ の 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 余暇を楽しく過ごす	36.1	35.6	35.3	50.0	31.6	38.5	50.0	50.0	60.0
2 生きがい・人生を豊かにする	53.0	57.8	50.0	25.0	49.1	76.9	25.0	100.0	20.0
3 ストレス解消になる	14.5	11.1	20.6	0.0	12.3	30.8	0.0	0.0	20.0
4 友人・仲間ができる	33.7	35.6	29.4	50.0	33.3	30.8	25.0	75.0	20.0
5 健康づくりに役立つ	10.8	8.9	14.7	0.0	8.8	15.4	0.0	0.0	40.0
6 老化防止に役立つ	6.0	4.4	8.8	0.0	7.0	7.7	0.0	0.0	0.0
7 家族や家庭生活に役立つ	8.4	11.1	5.9	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	20.0
8 知識・技術が高められる	31.3	22.2	44.1	25.0	35.1	15.4	50.0	25.0	20.0
9 資格取得に役立つ	16.9	11.1	23.5	25.0	15.8	30.8	0.0	0.0	20.0
10 仕事・就職に役立つ	27.7	31.1	23.5	25.0	28.1	30.8	50.0	0.0	20.0
11 地域や社会との関わりが深められる	3.6	6.7	0.0	0.0	1.8	7.7	0.0	25.0	0.0
12 地域や社会に貢献できる	7.2	4.4	11.8	0.0	8.8	0.0	0.0	25.0	0.0
13 社会の変化に対応するために役立つ	4.8	6.7	2.9	0.0	3.5	7.7	25.0	0.0	0.0
14 その他	2.0	2.2	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.2	2.2	2.9	0.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0



R5とH30

BEST5

令和5年 ①生きがい・人生を豊にする(53%)、②余暇を楽しく過ごす(36.1%)、③友人・仲間ができる(33.7%)、④知識・技術が高められる(31.3%)、⑤仕事・就職に役立つ(27.7%)

平成30年 ①生きがい・人生を豊にする(59.3%)、②知識・技術が高められる(34.5%)、③余暇を楽しく過ごす(33.6%)、④仕事・就職に役立つ(23%)、⑤友人・仲間ができる(22.1%)

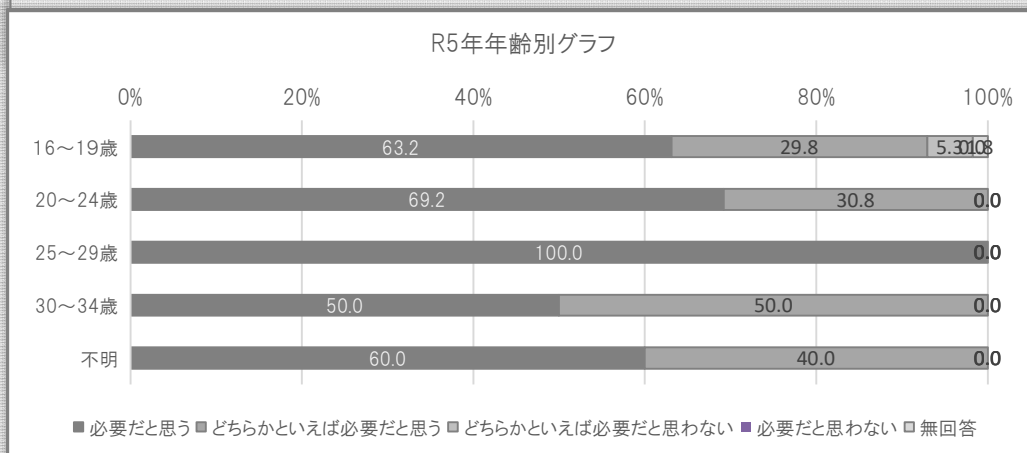
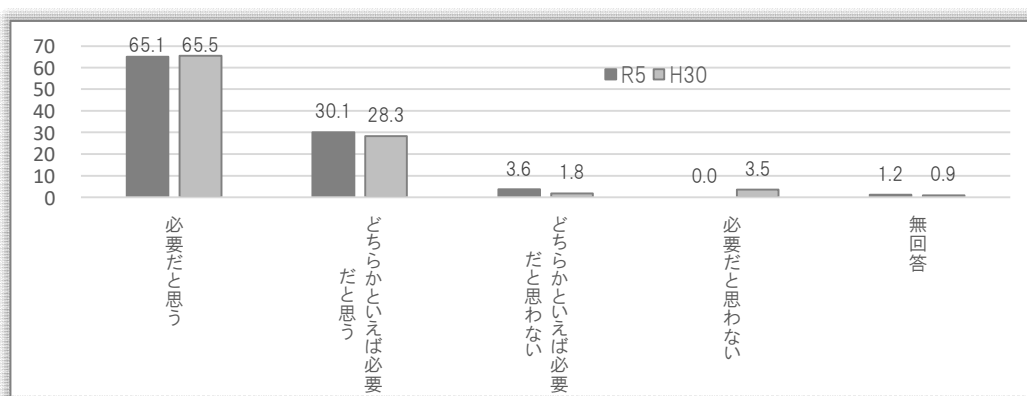
◆生涯学習の必要性

問6 あなたは、生涯学習は必要だと思いますか。

生涯学習は、「必要だと思う」「どちらかといえば必要だと思う」と合わせて95.2%が必要だと感じています。「必要だと思わない」「どちらかといえば必要だと思わない」と回答した人の割合は3.6%と低くなっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 必要だと思う	65.1	59.1	68.6	100.0	63.2	69.2	100.0	50.0	60.0
2 どちらかといえば必要だと思う	30.1	31.8	31.4	0.0	29.8	30.8	0.0	50.0	40.0
3 どちらかといえば必要だと思わない	3.6	6.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
4 必要だと思わない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1.2	2.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0



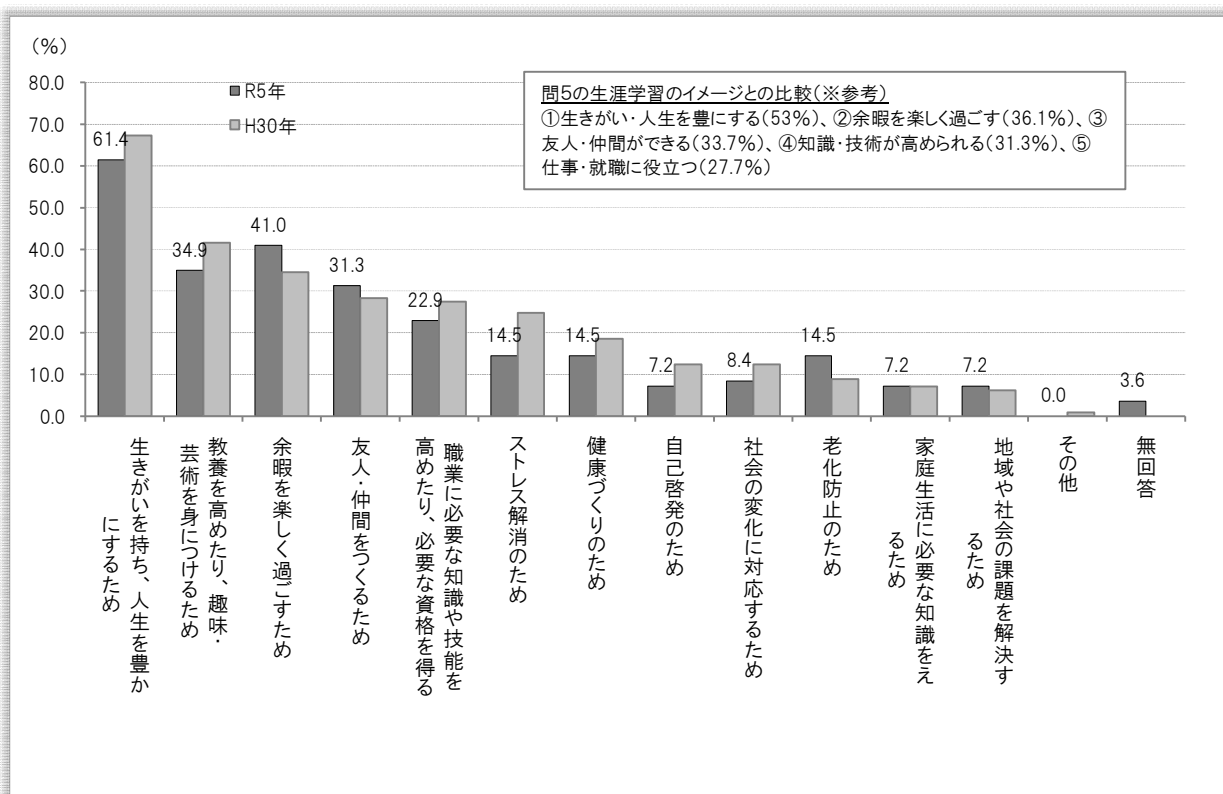
◆生涯学習が必要と思う理由

問7 なぜあなたは、生涯学習が必要だと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

生涯学習が必要な理由は、「生きがいをもち、人生を豊かにするため」(61.4%)が最も高く、次いで、「余暇を楽しく過ごすため」(41%)、「教養を高めたり、趣味・芸術を身につけるため」(34.9%)、「友人・仲間をつくるため」(31.3%)、「職業に必要な知識や技能を高めたり、必要な資格を得るため」(22.9%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 余暇を楽しく過ごすため	41.0	43.2	34.3	75.0	40.4	23.1	75.0	75.0	50.0
2 生きがいをもち、人生を豊かにするため	61.4	61.4	68.6	0.0	54.4	76.9	50.0	50.0	100.0
3 ストレス解消のため	14.5	13.6	17.1	0.0	10.5	38.5	0.0	0.0	25.0
4 友人・仲間をつくるため	31.3	31.8	34.3	0.0	26.3	38.5	25.0	25.0	100.0
5 健康づくりのため	14.5	9.1	22.9	0.0	8.8	30.8	0.0	0.0	25.0
6 老化防止のため	14.5	9.1	22.9	0.0	19.3	0.0	0.0	0.0	25.0
7 教養を高めたり、趣味・芸術を身につけるため	34.9	27.3	45.7	25.0	36.8	38.5	50.0	50.0	0.0
8 自己啓発のため	7.2	9.1	5.7	0.0	5.3	7.7	50.0	50.0	0.0
9 家庭生活に必要な知識をえるため	7.2	6.8	5.7	25.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0
10 職業に必要な知識や技能を高めたり、必要な資格を得るため	22.9	18.2	28.6	25.0	24.6	38.5	0.0	0.0	0.0
11 地域や社会の課題を解決するため	7.2	6.8	8.6	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	50.0
12 社会の変化に対応するため	8.4	9.1	5.7	25.0	8.8	15.4	0.0	0.0	0.0
13 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.6	6.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0



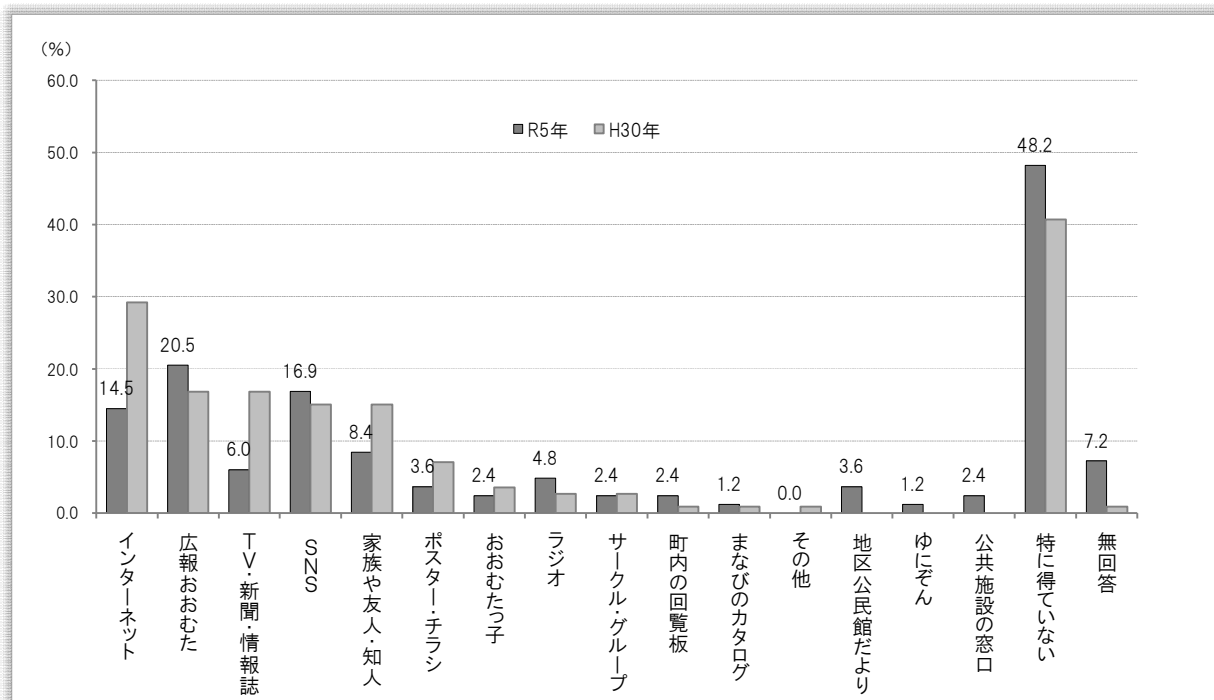
◆生涯学習の情報源

問8 あなたは、生涯学習に関する情報を何から得ていますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。

生涯学習に関する情報は「特に得ていない」(48.2%)と回答した割合が最も高くなっています。情報を取得している人では、「広報おおむた」(20.5%)が最も高く、次いで、「SNS」(16.9%)、「インターネット」(14.5%)となっています。前回調査と比較すると、「インターネット」(H30年29.2%→R5年14.5%)、「TV・新聞・情報誌」(H30年16.8%→R5年6%)、「家族や友人・知人」(H30年15%→R5年8.4%)が大きく減少しています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 市の広報紙「広報おおむた」	20.5	13.6	31.4	0.0	15.8	15.4	50.0	75.0	20.0
2 インターネット(市ホームページ等)	14.5	18.2	8.6	25.0	10.5	30.8	0.0	50.0	50.0
3 SNS(愛情ねっと等)	16.9	15.9	14.3	50.0	15.8	23.1	25.0	25.0	25.0
4 ラジオ(FMたんとう等)	4.8	2.3	5.7	25.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0
5 TV・新聞・情報誌	6.0	2.3	8.6	25.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0
6 家族や友人・知人	8.4	11.4	5.7	0.0	5.3	7.7	25.0	25.0	25.0
7 町内の回覧板	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
8 地区公民館だより	3.6	2.3	5.7	0.0	1.8	7.7	0.0	25.0	25.0
9 学習情報誌「まなびのカタログ」	1.2	2.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10 文化会館情報誌「ゆにぞん」	1.2	2.3	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
11 子育て情報誌「おおむたっ子」	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	7.7	0.0	0.0	0.0
12 公共施設の窓口	2.4	4.5	0.0	0.0	1.8	7.7	0.0	0.0	0.0
13 ポスター・チラシ	3.6	2.3	5.7	0.0	3.5	0.0	0.0	25.0	25.0
14 サークル・グループ	2.4	2.3	0.0	25.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
15 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
16 特に得ていない	48.2	50.0	51.4	0.0	54.4	38.5	25.0	0.0	0.0
無回答	7.2	13.6	0.0	0.0	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0



◆生涯学習の実施状況・学習ニーズ

問9 あなたは、この1年くらいの間に、生涯学習をしたことがありますか。また、今後、どのようなことを学んでみたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

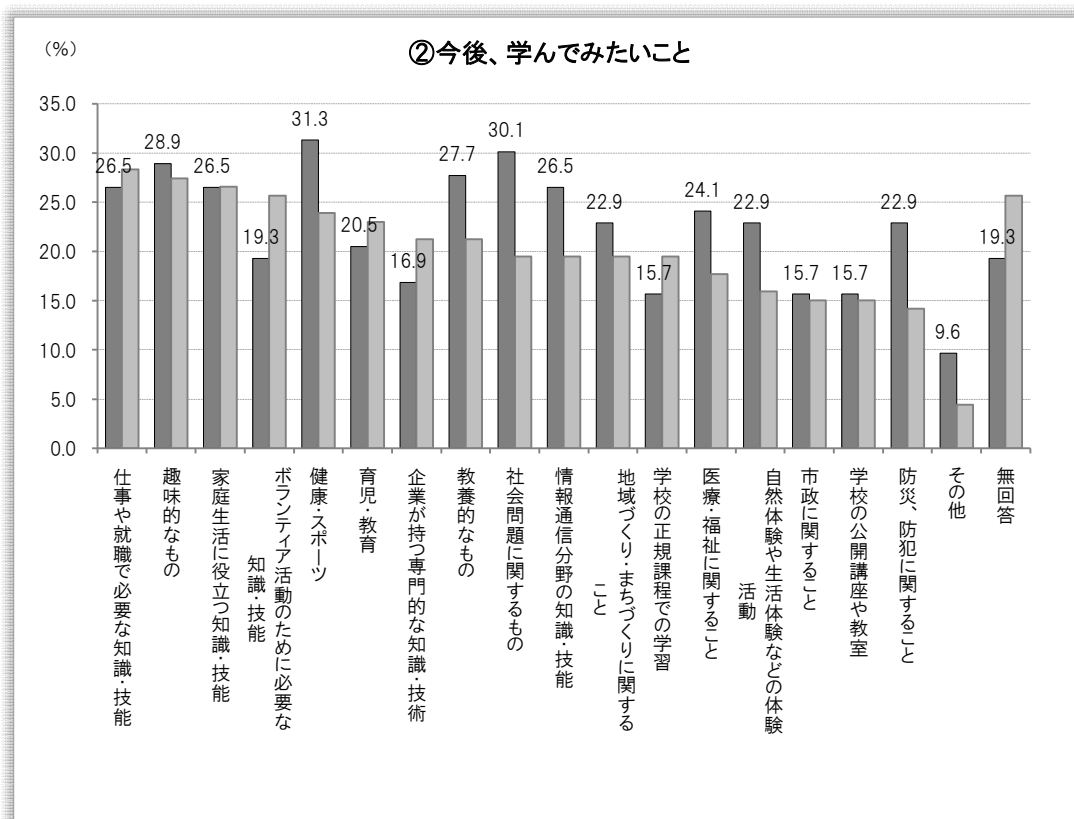
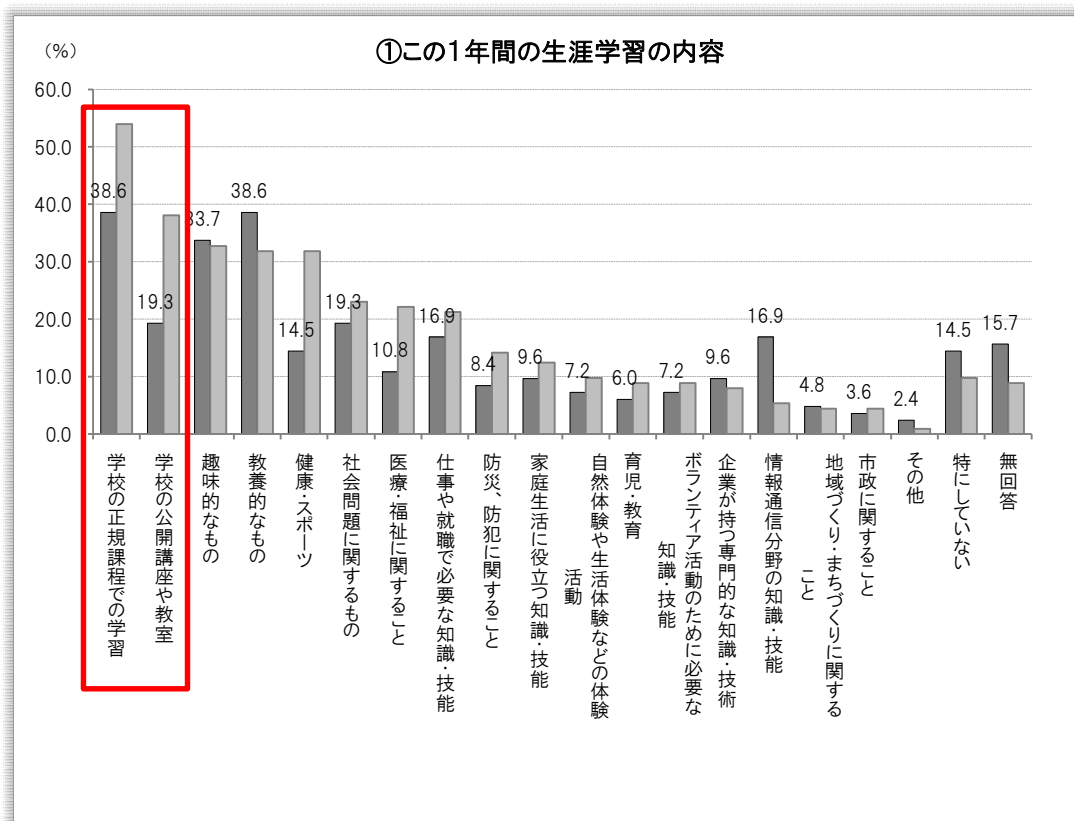
この1年間に行った生涯学習は、「教養的なもの」及び「学校の正規課程での学習」(38.6%)で最も高く、次いで、「趣味的なもの」(33.7%)、「社会問題に関するもの」及び「学校の公開講座や教室」(19.3%)となっています。
また、今後学んでみたいことは、「健康・スポーツ」(31.3%)で最も高く、次いで、「社会問題に関するもの」(30.1%)、「趣味的なもの」(28.9%)、「教養的なもの」(27.7%)、「仕事や就職に必要な知識・技能」「情報通信分野の知識・技能」「家庭生活に役立つ知識・技能」(26.5%)となっています。

(単位:%)

①この1年間の生涯学習の内容	全 体	男 性	女 性	そ の 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	33.7	22.7	45.7	50.0	33.3	46.2	0.0	25.0	40.0
2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	38.6	38.6	40.0	25.0	45.6	30.8	25.0	25.0	0.0
3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	19.3	20.5	14.3	50.0	24.6	15.4	0.0	0.0	0.0
4 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	14.5	18.2	5.7	50.0	15.8	23.1	0.0	0.0	0.0
5 家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	9.6	11.4	5.7	25.0	10.5	15.4	0.0	0.0	0.0
6 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	6.0	6.8	2.9	25.0	5.3	15.4	0.0	0.0	0.0
7 仕事や就職に必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)	16.9	22.7	11.4	0.0	12.3	38.5	50.0	0.0	0.0
8 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	16.9	11.4	22.9	25.0	14.0	46.2	0.0	0.0	0.0
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	7.2	4.5	11.4	0.0	7.0	15.4	0.0	0.0	0.0
10 自然体験や生活体験などの体験活動	7.2	4.5	8.6	25.0	7.0	15.4	0.0	0.0	0.0
11 防災、防犯に関すること	8.4	4.5	11.4	25.0	8.8	15.4	0.0	0.0	0.0
12 医療・福祉に関すること	10.8	6.8	11.4	50.0	8.8	30.8	0.0	0.0	0.0
13 地域づくり・まちづくりに関すること	4.8	4.5	5.7	0.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0
14 市政に関すること	3.6	6.8	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
15 企業を持つ専門的な知識・技術	9.6	9.1	5.7	50.0	8.8	23.1	0.0	0.0	0.0
16 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	38.6	29.5	51.4	25.0	42.1	38.5	25.0	25.0	20.0
17 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	19.3	18.2	17.1	50.0	19.3	38.5	0.0	0.0	0.0
18 その他	2.4	4.5	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
19 特にしていない	14.5	15.9	14.3	0.0	15.8	0.0	0.0	25.0	40.0
無回答	15.7	22.7	5.7	25.0	14.0	15.4	50.0	50.0	25.0

(単位:%)

②今後、学んでみたいこと	全 体	男 性	女 性	そ の 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	44人	35人	57人	13人	4人	4人	5人
1 趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道、レクリエーション活動など)	28.9	31.8	22.9	50.0	26.3	23.1	25.0	25.0	80.0
2 教養的なもの(文学、歴史、科学、語学など)	27.7	27.3	25.7	50.0	26.3	30.8	0.0	50.0	40.0
3 社会問題に関するもの(社会・時事、国際、環境など)	30.1	27.3	31.4	50.0	28.1	30.8	50.0	25.0	40.0
4 健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)	31.3	29.5	34.3	25.0	31.6	38.5	50.0	0.0	20.0
5 家庭生活に役立つ知識・技能(料理、洋裁、和裁、編み物など)	26.5	18.2	31.4	75.0	24.6	23.1	50.0	0.0	60.0
6 育児・教育(家庭教育、幼児教育、教育問題など)	20.5	25.0	14.3	25.0	14.0	30.8	75.0	25.0	20.0
7 仕事や就職に必要な知識・技能(知識の習得や資格の取得など)	26.5	25.0	22.9	75.0	29.8	30.8	25.0	0.0	0.0
8 情報通信分野の知識・技能(プログラムの使い方、ホームページの作り方など)	26.5	22.7	28.6	50.0	26.3	15.4	50.0	75.0	0.0
9 ボランティア活動のために必要な知識・技能	19.3	22.7	11.4	50.0	15.8	38.5	25.0	0.0	20.0
10 自然体験や生活体験などの体験活動	22.9	27.3	17.1	25.0	19.3	38.5	25.0	0.0	40.0
11 防災、防犯に関すること	22.9	29.5	14.3	25.0	22.8	30.8	50.0	0.0	0.0
12 医療・福祉に関すること	24.1	22.7	25.7	25.0	26.3	23.1	25.0	25.0	0.0
13 地域づくり・まちづくりに関すること	22.9	29.5	11.4	50.0	17.5	53.8	25.0	25.0	0.0
14 市政に関すること	15.7	15.9	11.4	50.0	12.3	38.5	25.0	0.0	0.0
15 企業を持つ専門的な知識・技術	16.9	18.2	11.4	50.0	17.5	15.4	25.0	0.0	0.0
16 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	15.7	20.5	8.6	25.0	17.5	15.4	0.0	0.0	40.0
17 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	15.7	18.2	11.4	25.0	17.5	15.4	25.0	0.0	0.0
18 その他	9.6	9.1	5.7	50.0	10.5	15.4	0.0	0.0	0.0
無回答	19.3	27.3	8.6	25.0	24.6	7.7	25.0	0.0	0.0



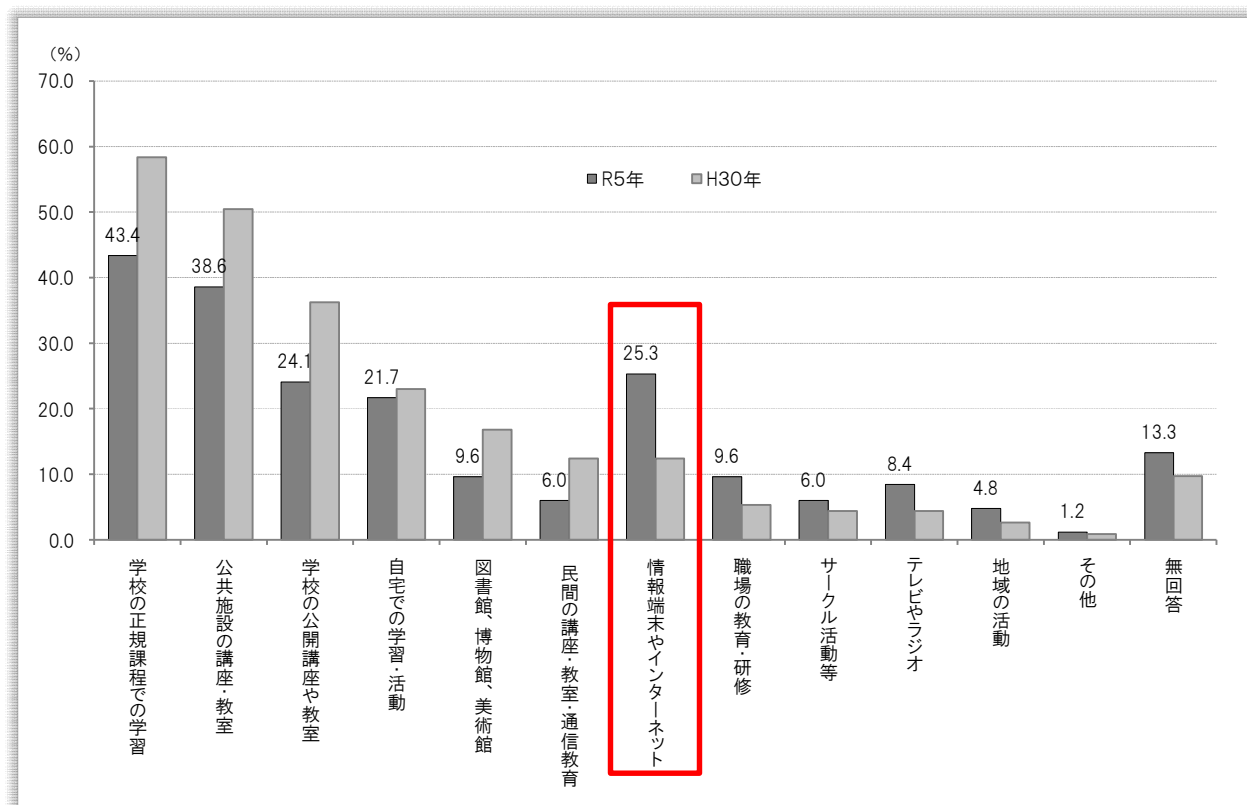
◆生涯学習の場所・形態

問10 あなたは、どのような場所や形態で生涯学習を行いましたか。また、今後行いたいと思いますか。あてはまる番号にくつても○印をつけてください。

生涯学習の場所や形態は、「学校の正規課程での学習」(43.4%)で最も高く、次いで「公共施設などの講座・教室」(38.6%)、「情報端末やインターネット」(25.3%)、「学校の公開講座や教室」(24.1%)、「自宅での学習・活動」(21.7%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ の 他	16 歳 以下	20 歳 以下	25 歳 以下	30 歳 以下	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室	38.6	43.2	37.1	0.0	31.6	38.5	75.0	75.0	75.0
2 カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座・教室・通信教育	6.0	6.8	5.7	0.0	5.3	7.7	25.0	25.0	0.0
3 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の正規課程での学習	43.4	36.4	51.4	50.0	50.9	38.5	25.0	25.0	25.0
4 学校(高等学校、大学、大学院、専門学校など)の公開講座や教室	24.1	22.7	25.7	25.0	21.1	46.2	0.0	0.0	25.0
5 職場の教育・研修	9.6	9.1	8.6	25.0	7.0	7.7	50.0	50.0	0.0
6 町内公民館、PTA、子ども会などの地域の活動	4.8	4.5	5.7	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7 同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	6.0	6.8	5.7	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	25.0
8 図書館、博物館、美術館	9.6	9.1	11.4	0.0	12.3	7.7	0.0	0.0	0.0
9 テレビやラジオ	8.4	6.8	11.4	0.0	10.5	7.7	0.0	0.0	0.0
10 情報端末やインターネット(eラーニング含む)	25.3	25.0	28.6	0.0	26.3	38.5	0.0	0.0	0.0
11 自宅での学習・活動(書籍など)	21.7	18.2	28.6	0.0	17.5	53.8	0.0	0.0	0.0
12 その他	1.2	0.0	2.9	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
無回答	13.3	18.2	8.6	0.0	17.5	7.7	0.0	0.0	0.0



◆生涯学習を行う曜日・時間帯

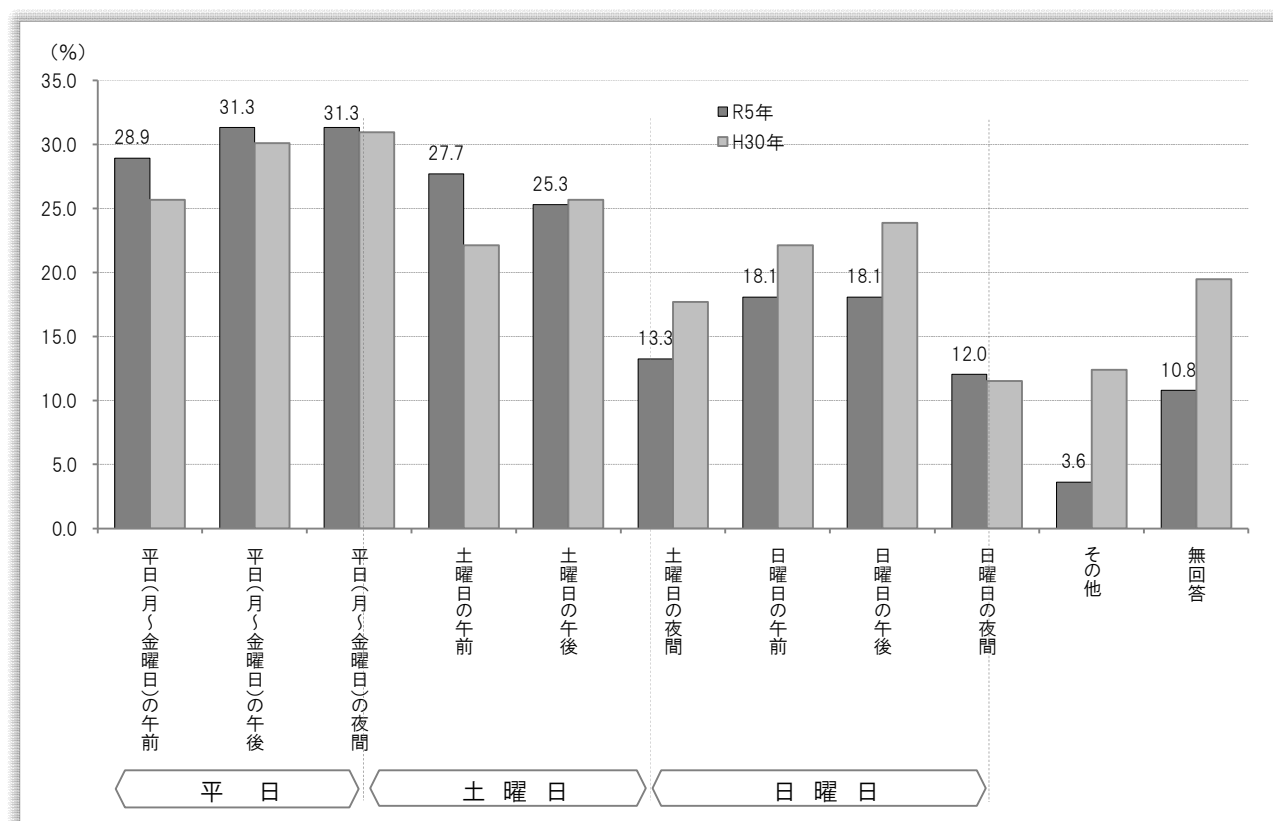
問11 あなたが生涯学習を行うのは何曜日の何時頃ですか。また、今後行う場合は、何曜日の何時頃行いたいと思いますか。あてはまる番号にいくつでも〇印をつけてください。（※夜間とは、午後5時以降をいいます）

生涯学習を行う時間帯は、「平日の午後」及び「平日の夜間」(31.3%)が最も高く、次いで「平日の午前」(28.9%)、「土曜日の午前」(27.7%)、「土曜日の午後」(25.3%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 平日(月～金曜日)の午前	28.9	22.7	34.3	50.0	35.1	30.8	0.0	0.0	0.0
2 平日(月～金曜日)の午後	31.3	27.3	34.3	50.0	35.1	38.5	0.0	0.0	25.0
3 平日(月～金曜日)の夜間	31.3	31.8	28.6	50.0	24.6	53.8	25.0	25.0	75.0
4 土曜日の午前	27.7	29.5	28.6	0.0	24.6	38.5	25.0	25.0	50.0
5 土曜日の午後	25.3	22.7	31.4	0.0	22.8	30.8	50.0	50.0	0.0
6 土曜日の夜間	13.3	15.9	11.4	0.0	10.5	23.1	25.0	25.0	0.0
7 日曜日の午前	18.1	20.5	17.1	0.0	14.0	23.1	75.0	75.0	0.0
8 日曜日の午後	18.1	20.5	17.1	0.0	17.5	23.1	50.0	50.0	0.0
9 日曜日の夜間	12.0	15.9	8.6	0.0	8.8	30.8	25.0	25.0	0.0
10 その他	3.6	2.3	5.7	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	25.0
無回答	10.8	18.2	2.9	0.0	14.0	7.7	0.0	0.0	0.0

※夜間は午後5時以降



◆生涯学習をしない理由(できない理由)

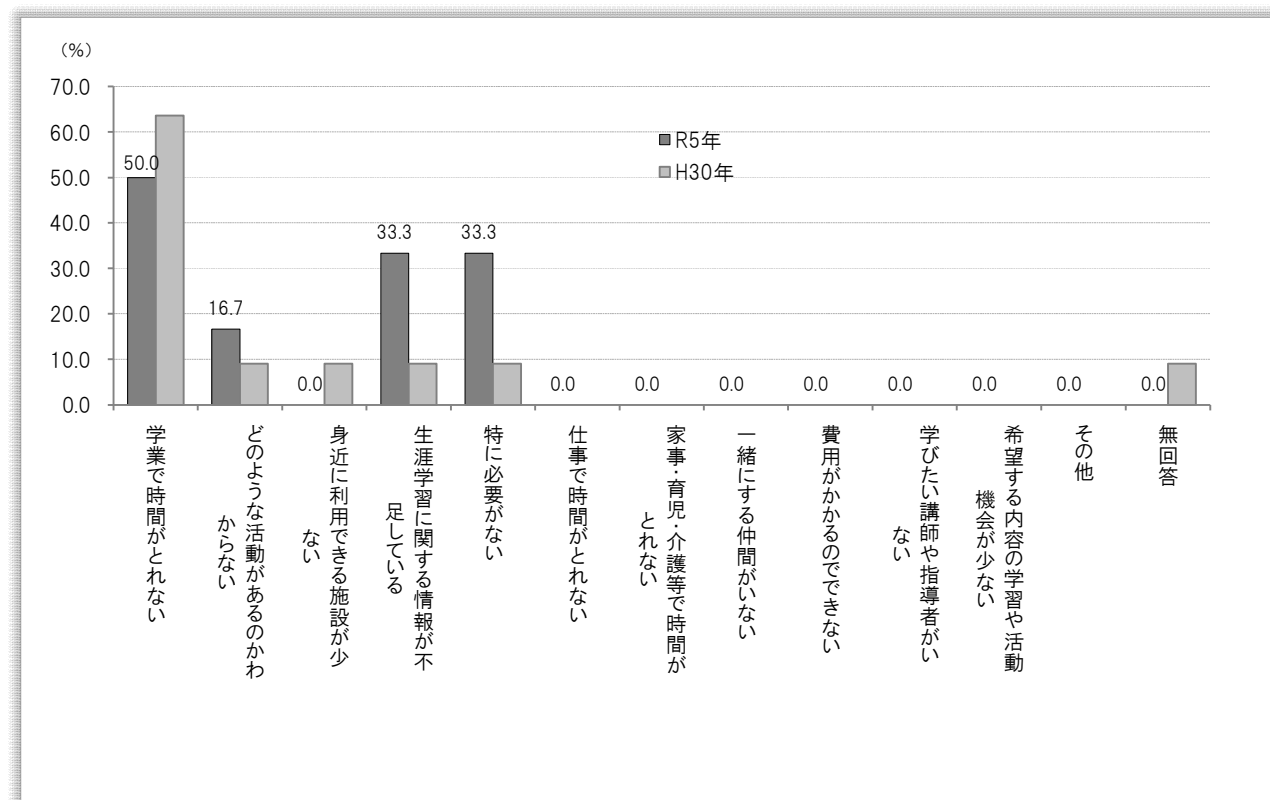
《問9で19「(生涯学習を)特にしていない」とお答えの人におたずねします》

問12 あなたが生涯学習をしない理由(できない理由)は何ですか。あてはまる番号に3つまで○印をつけてください。

生涯学習をしない理由(できない理由)は、「学業で時間がとれない」(50%)が最も多く、それ以外は、「生涯学習に関する情報が不足している」及び「特に必要がない」(33.3%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ の 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	12人	7人	5人	0人	9人	0人	0人	1人	2人
1 学業で時間がとれない	50.0	28.6	28.6	80.0	55.6	0.0	0.0	0.0	0.0
2 仕事で時間がとれない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3 家事・育児・介護等で時間がとれない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
4 一緒にする仲間がいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
5 費用がかかるのでできない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 どのような活動があるのかわからない	16.7	14.3	14.3	20.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
7 学びたい講師や指導者がいない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8 身近に利用できる施設が少ない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9 希望する内容の学習や活動機会が少ない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10 生涯学習に関する情報が不足している	33.3	14.3	14.3	60.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
11 その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
12 特に必要がない	33.3	57.1	57.1	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0	100.0
無回答	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



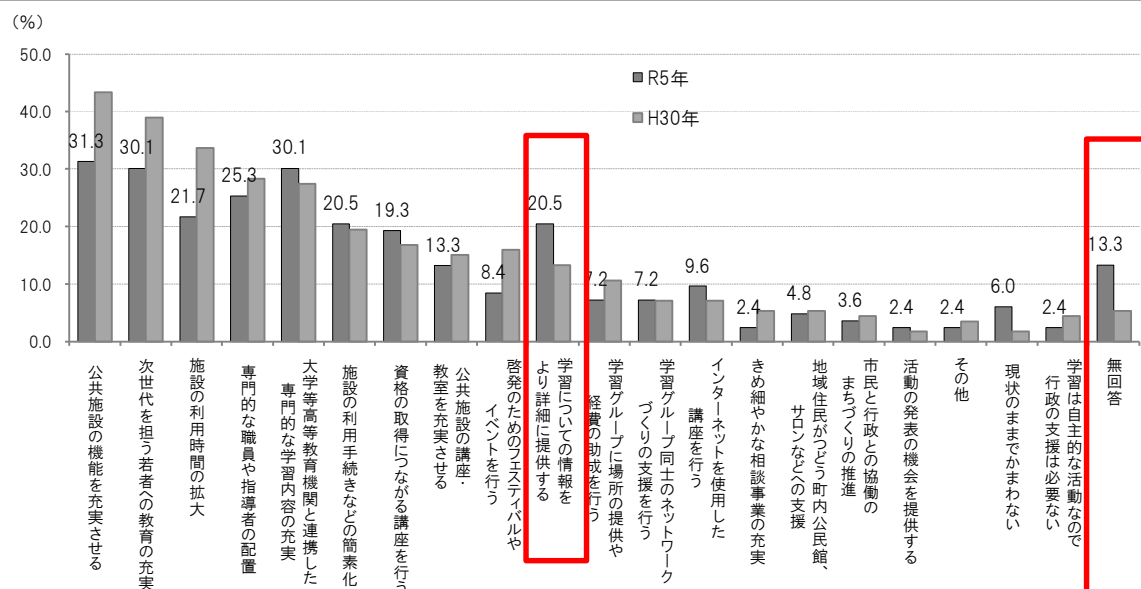
◆行政が力を入れるべきこと

問13 生涯学習が盛んなまちにするために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまる番号に5つまで○印をつけてください。

生涯学習が盛んなまちにするために、行政が力を入れるべきことは、「公共施設の機能を充実させる」(31.3%)が最も高く、次いで「大学等高等教育機関と連携した専門的な学習内容の充実」及び「次世代を担う若者への教育の充実」(30.1%)、「専門的な職員や指導者の配置」(25.3%)、「施設の利用時間の拡大」(21.7%)となっています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	4人
1 専門的な職員や指導者の配置	25.3	25.0	22.9	50.0	29.8	15.4	0.0	0.0	50.0
2 大学等高等教育機関と連携した専門的な学習内容の充実	30.1	25.0	34.3	50.0	35.1	15.4	25.0	50.0	0.0
3 次世代を担う若者への教育の充実	30.1	31.8	25.7	50.0	35.1	15.4	50.0	25.0	0.0
4 施設の利用手続きなどの簡素化	20.5	15.9	28.6	0.0	15.8	23.1	50.0	25.0	50.0
5 施設の利用時間の拡大(早朝、夜間など)	21.7	11.4	31.4	50.0	22.8	23.1	25.0	0.0	25.0
6 きめ細やかな相談事業の充実	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	7.7	0.0	0.0	0.0
7 地域住民がつどう町内公民館、サロンなどへの支援	4.8	9.1	0.0	0.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0
8 学習についての情報(講師・内容・時間・場所・費用)をより詳細に提供する	20.5	22.7	17.1	25.0	19.3	15.4	25.0	25.0	50.0
9 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの施設の機能を充実させる	31.3	22.7	42.9	25.0	29.8	38.5	25.0	0.0	75.0
10 地区公民館、えるる、市立図書館、市民体育館、文化会館などの講座・教室を充実させる	13.3	15.9	11.4	0.0	14.0	23.1	0.0	0.0	0.0
11 啓発のためのフェスティバルやイベントを行う	8.4	9.1	8.6	0.0	7.0	23.1	0.0	0.0	0.0
12 学習グループに、場所の提供や経費の助成を行う	7.2	6.8	8.6	0.0	5.3	7.7	25.0	25.0	0.0
13 学習グループ同士のネットワークづくりの支援を行う	7.2	13.6	0.0	0.0	5.3	15.4	0.0	25.0	0.0
14 資格の取得につながる講座を行う	19.3	11.4	31.4	0.0	19.3	23.1	25.0	0.0	25.0
15 インターネットを使用した講座を行う	9.6	13.6	2.9	25.0	7.0	15.4	25.0	25.0	0.0
16 活動の発表の機会を提供する	2.4	2.3	0.0	25.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
17 市民と行政との協働のまちづくりの推進	3.6	4.5	2.9	0.0	3.5	7.7	0.0	0.0	0.0
18 その他	2.4	0.0	5.7	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0
19 現状のままでかまわない	6.0	4.5	8.6	0.0	5.3	7.7	0.0	25.0	0.0
20 学習は自主的な活動なので行政の支援は必要ない	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	7.7	0.0	0.0	0.0
無回答	13.3	20.5	5.7	0.0	14.0	15.4	0.0	0.0	25.0



(2) ボランティア活動・地域活動について

◆ボランティア活動について

問14 あなたは、この1年くらいの間に、どのようなボランティア活動を行いましたか。また、今後行いたいと思う活動はありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

この1年間に行ったボランティア活動の内容は、「環境美化、リサイクル活動」(18.1%)が最も高く、次いで「募金活動や災害援助活動」(12.0%)「福祉施設等での活動」(10.8%)、「高齢者、障害児・者等への支援」及び「子どもの見守り、あいさつ活動」(9.6%)となっています。

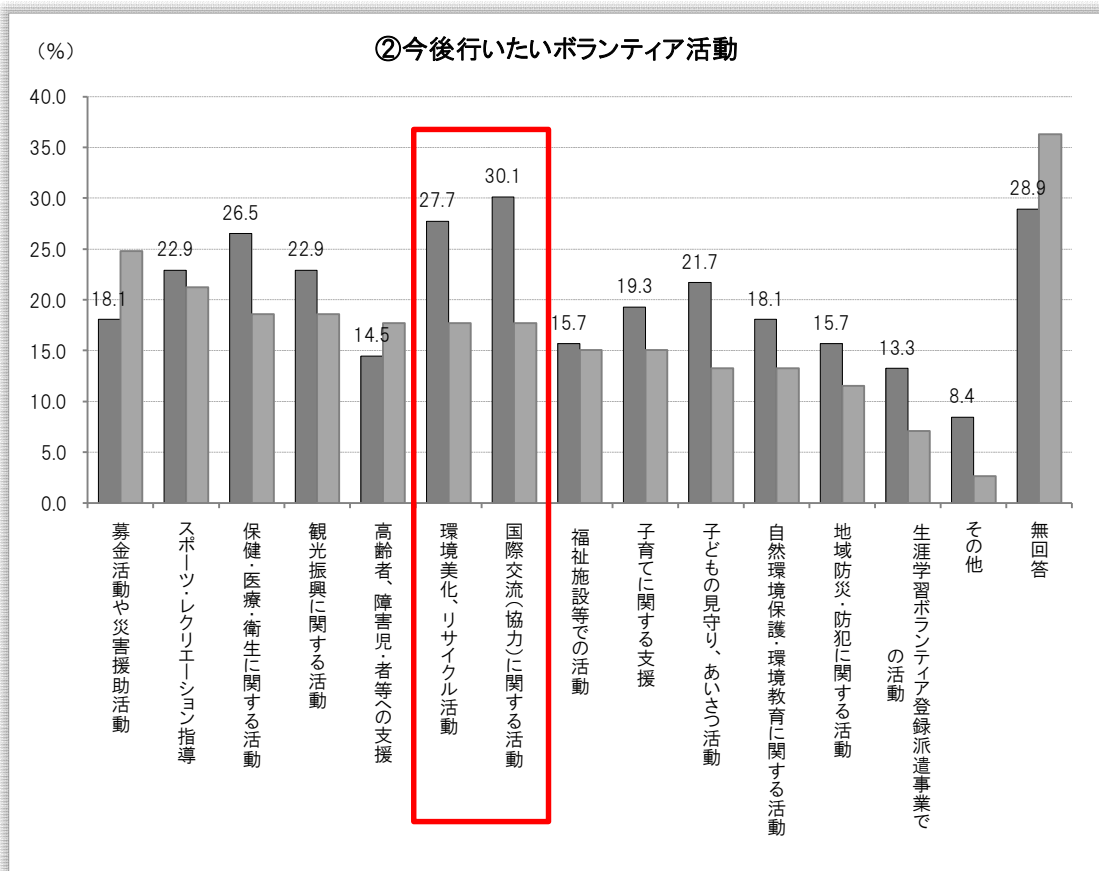
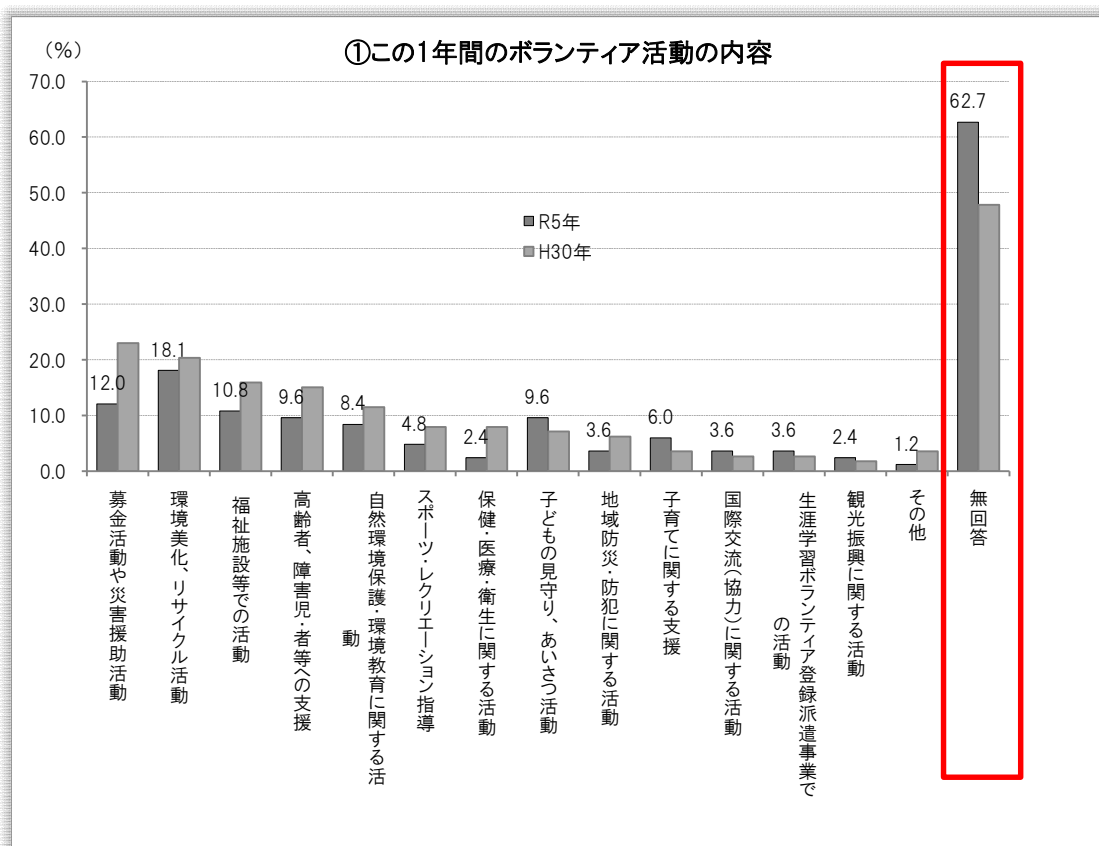
また、今後行いたいと思うボランティア活動の内容は、「国際交流(協力)に関する活動」(30.1%)が最も高く、次いで「環境美化、リサイクル活動」(27.7%)、「保健・医療・衛生に関する活動」(26.5%)となっています。

(単位:%)

①この1年間のボランティア活動の内容	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	4人
1 福祉施設等での活動	10.8	11.4	5.7	50.0	10.5	15.4	25.0	25.0	0.0
2 高齢者、障害児・者等への支援	9.6	9.1	8.6	25.0	8.8	15.4	25.0	25.0	0.0
3 子どもの見守り、あいさつ活動	9.6	9.1	5.7	50.0	12.3	0.0	25.0	25.0	0.0
4 子育てに関する支援	6.0	9.1	2.9	0.0	5.3	7.7	25.0	25.0	0.0
5 スポーツ・レクリエーション指導	4.8	4.5	2.9	25.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0
6 自然環境保護・環境教育に関する活動	8.4	11.4	5.7	0.0	8.8	7.7	0.0	0.0	25.0
7 環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	18.1	11.4	28.6	0.0	17.5	15.4	0.0	0.0	25.0
8 募金活動や災害援助活動	12.0	6.8	14.3	50.0	12.3	23.1	0.0	0.0	0.0
9 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、留学生援助など)	3.6	2.3	2.9	25.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
10 保健・医療・衛生に関する活動(食育、病院ボランティアなど)	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	0.0	25.0	25.0	0.0
11 地域防災・防犯に関する活動	3.6	2.3	2.9	25.0	3.5	7.7	0.0	0.0	0.0
12 観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	2.4	2.3	2.9	0.0	1.8	7.7	0.0	0.0	0.0
13 生涯学習ボランティア登録派遣事業(まなばんかん)での活動	3.6	4.5	2.9	0.0	3.5	7.7	0.0	0.0	0.0
14 その他	1.2	0.0	0.0	25.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	62.7	68.2	57.1	50.0	61.4	61.5	75.0	75.0	60.0

(単位:%)

②今後行いたいボランティア活動	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 ～ 19 歳	20 ～ 24 歳	25 ～ 29 歳	30 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 福祉施設等での活動	15.7	18.2	11.4	25.0	17.5	15.4	25.0	0.0	0.0
2 高齢者、障害児・者等への支援	14.5	15.9	11.4	25.0	15.8	15.4	25.0	0.0	0.0
3 子どもの見守り、あいさつ活動	21.7	22.7	20.0	25.0	19.3	30.8	25.0	0.0	40.0
4 子育てに関する支援	19.3	15.9	20.0	50.0	21.1	23.1	25.0	0.0	0.0
5 スポーツ・レクリエーション指導	22.9	29.5	14.3	25.0	21.1	30.8	25.0	25.0	20.0
6 自然環境保護・環境教育に関する活動	18.1	20.5	11.4	50.0	15.8	30.8	25.0	25.0	0.0
7 環境美化(公園・道路のゴミ拾いなど)、リサイクル活動	27.7	25.0	28.6	50.0	26.3	23.1	50.0	25.0	40.0
8 募金活動や災害援助活動	18.1	15.9	20.0	25.0	22.8	7.7	25.0	0.0	0.0
9 国際交流(協力)に関する活動(通訳、難民援助、留学生援助など)	30.1	20.5	42.9	25.0	35.1	23.1	25.0	25.0	0.0
10 保健・医療・衛生に関する活動(食育、病院ボランティアなど)	26.5	20.5	31.4	50.0	29.8	23.1	25.0	25.0	0.0
11 地域防災・防犯に関する活動	15.7	18.2	11.4	25.0	17.5	15.4	25.0	0.0	0.0
12 観光振興に関する活動(観光ボランティアなど)	22.9	22.7	20.0	50.0	22.8	30.8	25.0	25.0	0.0
13 生涯学習ボランティア登録派遣事業(まなばんかん)での活動	13.3	11.4	11.4	50.0	15.8	7.7	25.0	0.0	0.0
14 その他	8.4	6.8	5.7	50.0	7.0	7.7	25.0	25.0	0.0
無回答	28.9	36.4	17.1	50.0	33.3	23.1	50.0	0.0	0.0



◆地域活動について

問15 地域(住んでいる小学校区)で『地域活動』があつていることを知っていますか。また、参加した地域活動はありますか。あてはまる番号にいくつでも○印をつけてください。

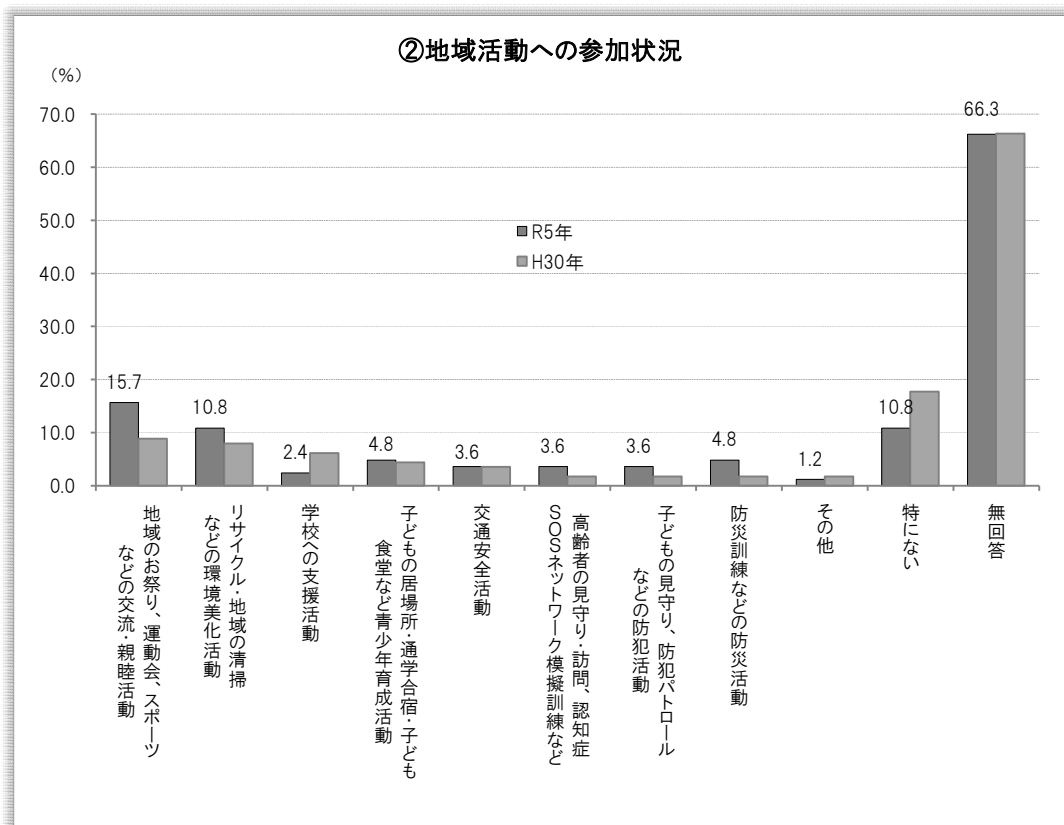
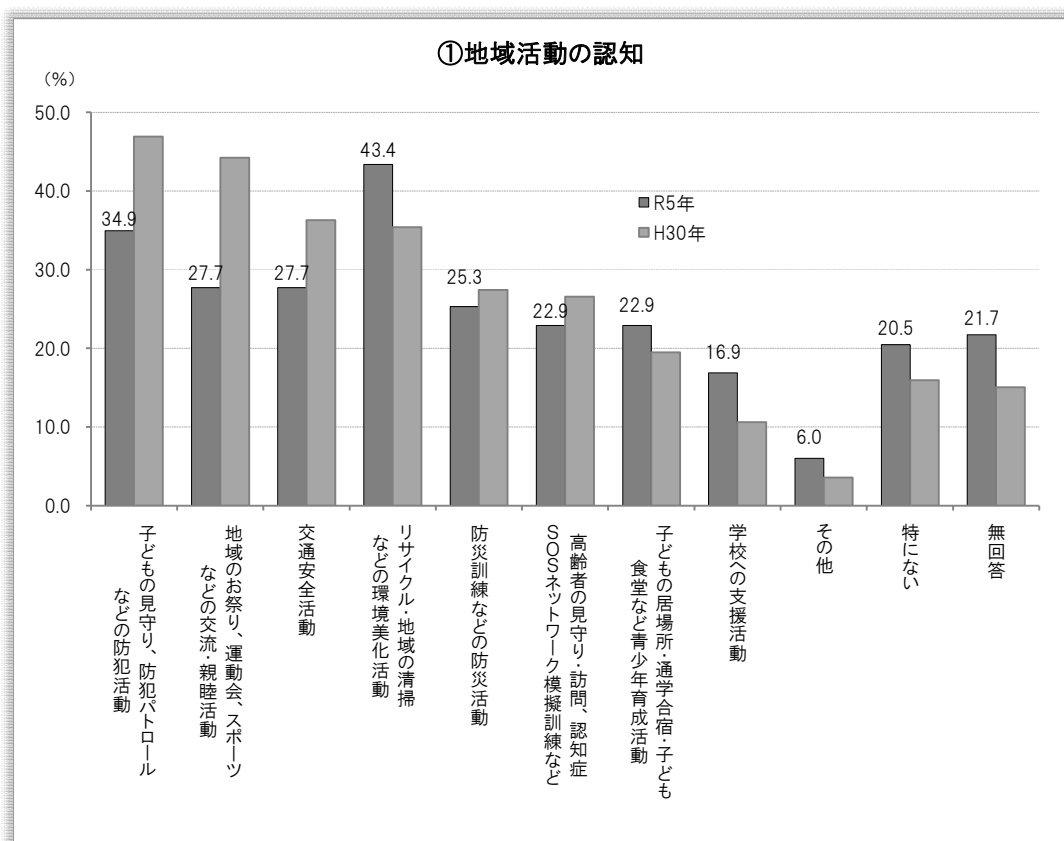
住んでいる小学校区であつていることを知っている地域活動の内容は、リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動(43.4%)が最も高く、子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動(34.9%)、次いで「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」及び「交通安全活動」(27.7%)「防災訓練などの防災活動」(25.3%)となっています。参加したことのある地域活動については、「地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動」(15.7%)が最も高くなっています。次いで、「リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動」及び「特にない」(10.8%)、「防災訓練などの防災活動」及び「子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動」(4.8%)となっています。

(単位:%)

①地域活動の認知		全 体	男 性	女 性	そ 他	16 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 24 歳	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数		83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1	リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	43.4	40.9	48.6	25.0	36.8	61.5	50.0	75.0	50.0
2	高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など	22.9	25.0	20.0	25.0	15.8	46.2	25.0	25.0	50.0
3	子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	34.9	36.4	34.3	25.0	36.8	46.2	25.0	25.0	0.0
4	防災訓練などの防災活動	25.3	20.5	34.3	0.0	22.8	30.8	25.0	25.0	50.0
5	交通安全活動	27.7	25.0	31.4	25.0	28.1	30.8	25.0	25.0	25.0
6	子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	22.9	20.5	28.6	0.0	24.6	30.8	25.0	0.0	0.0
7	学校への支援活動	16.9	18.2	8.6	75.0	19.3	7.7	50.0	0.0	0.0
8	地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	27.7	22.7	37.1	0.0	21.1	46.2	50.0	25.0	50.0
9	その他	6.0	11.4	0.0	0.0	8.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	特にない	20.5	18.2	25.7	0.0	21.1	7.7	0.0	25.0	75.0
	無回答	21.7	29.5	29.5	11.4	26.3	15.4	25.0	25.0	0.0

(単位:%)

②地域活動への参加状況		全 体	男 性	女 性	女 性	16 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 24 歳	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数		83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1	リサイクル・地域の清掃などの環境美化活動	10.8	13.6	8.6	0.0	7.0	15.4	0.0	25.0	40.0
2	高齢者の見守り・訪問、認知症SOSネットワーク模擬訓練など	3.6	4.5	2.9	0.0	3.5	7.7	0.0	0.0	0.0
3	子どもの見守り、防犯パトロールなどの防犯活動	3.6	4.5	0.0	25.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
4	防災訓練などの防災活動	4.8	6.8	0.0	25.0	5.3	0.0	25.0	0.0	0.0
5	交通安全活動	3.6	2.3	2.9	25.0	3.5	7.7	0.0	0.0	0.0
6	子どもの居場所・通学合宿・子ども食堂など青少年育成活動	4.8	6.8	0.0	25.0	5.3	7.7	0.0	0.0	0.0
7	学校への支援活動	2.4	2.3	2.9	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0
8	地域のお祭り、運動会、スポーツなどの交流・親睦活動	15.7	18.2	8.6	50.0	15.8	15.4	0.0	0.0	40.0
9	その他	1.2	0.0	0.0	25.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0
10	特にない	10.8	4.5	20.0	0.0	10.5	0.0	0.0	25.0	40.0
	無回答	66.3	65.9	68.6	50.0	70.2	69.2	75.0	75.0	50.0



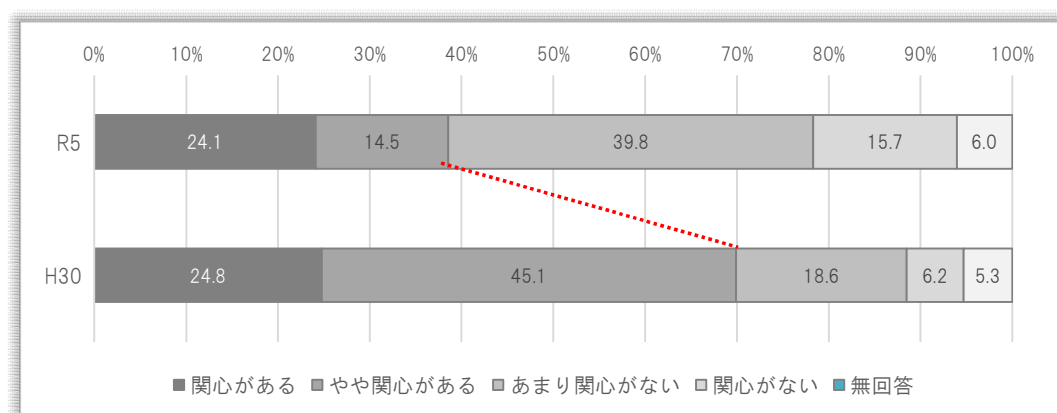
◆ボランティア・地域活動への関心度

問16 あなたは、若者自身が企画し、実施するボランティア活動や地域活動に関心がありますか。あてはまる 番号に○印をつけてください。

若者自身が企画し、実施するボランティア活動や地域活動への関心は、「関心がある」「やや関心がある」と回答した割合が38.6%であり、H30年調査時(69.9%)と比べると、31.3%減少しています。

(単位:%)

	全 体	男 性	女 性	そ 他	16 歳 ～ 19 歳	20 歳 ～ 24 歳	25 歳 ～ 29 歳	30 歳 ～ 34 歳	無 回 答
サ ン プ ル 数	83人	44人	35人	4人	57人	13人	4人	4人	5人
1 関心がある	24.1	34.1	5.7	75.0	28.1	23.1	0.0	0.0	0.0
2 やや関心がある	14.5	11.4	20.0	0.0	17.5	15.4	0.0	0.0	0.0
3 あまり関心がない	39.8	31.8	54.3	0.0	31.6	46.2	75.0	75.0	80.0
4 関心がない	15.7	13.6	17.1	25.0	15.8	7.7	25.0	25.0	20.0
無回答	6.0	9.1	2.9	0.0	7.0	7.7	0.0	0.0	0.0



※参考

男性・・・「関心がある」 H30年(23.9%)→R5年(34.1%) 「やや関心がある」 H30年(45.1%)→R5年(11.4%)

女性・・・「関心がある」 H30年(26.1%)→R5年(5.7%) 「やや関心がある」 H30年(45.7%)→R5年(20%)

16歳～19歳・・・「関心がある」 H30年(27.3%)→R5年(28.1%) 「やや関心がある」 H30年(46.6%)→R5年(17.5%) 「あまり関心がない」 H30年(15.9%)→R5年(31.6%) 「関心がない」 H30年(3.4%)→R5年(15.8%)

◆各質問における「その他」の具体的内容

設問	記 述 内 容	件数
問10	専門的に子どもの行動心理学を学びたい	1
問11	休日	1
	興味のある分野に関するオンライン講義などがあれば参加するという形なので、特に時間帯は決まっていない。	1
問13	うつ病だけでなく他の病気を抱えている方がなかにいるので、専門的な先生を都会から田舎に異動した方がいいと思います。 理由は遠くて都会の病院には行けないから、システムを向上してほしいです。	1
	カフェの併設	1
問14	動物保護、動物福祉など	1

問17 自由意見

回答者NO	内 容
66	今の時代はジェンダーレスです。だから、男性も女性も平等に接することができる環境づくりをしてほしいです。 キャッシュレス決済は便利だけど不便なところもあるので、誰でも使いやすいように改善してほしいです。 オートチャージやソフトバンクまとめて支払は廃止にした方がいいと思います。 チャージはATMでもできるので、オートチャージやまとめて支払にしなくてもできると思います。

3. アンケート調査「若者意識調査」から見えてくるもの

(1)生涯学習の重要性の高まり(リカレント・リスキリング)

新型コロナウイルスによる生涯学習の必要性についての大きな変容は見出せませんでしたが、生涯学習の必要性については、今回、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」の合計が95.1%、前回調査時(H30年)が93.8%であったことから、かなり高い水準で推移しており、若者の中での生涯学習の必要性は一定理解が進んでいるように感じます。

一言で、若者といっても10代、20代、学校、就業などによっても、学習目的が異なることは容易に想像できますが、一方では新型コロナウイルスの影響により、現代社会の急速な変化に対応するための新しいスキルや知識が求められるようになっていきます。また、終身雇用制度の転換により、若者が転職することでの自己成長やキャリアの発展のために、学習の重要性を認識している場合が多いことから、国もリカレント教育(まなび直し)に対しての支援を検討し、一部の自治体では助成金を交付するところもでてきています。

このようなことから、今後の若者の生涯学習は、進学や資格取得だけでなく、自己実現のためのリカレント(まなび直し)やリスキリングが進んでいくことが予想されます。それぞれの生涯学習を行う目的は多様化する中、若者に対してどのような学習支援ができるのかによって、若者の自己実現や学習活動の推進に影響があると考えます。特に、経済格差による学力格差の解消など共に学び合う学習環境の整備は、今後の共生社会の実現においても重要です。

(2)学習情報の入手方法と情報発信の多様化の困難性

学習情報の入手方法については、「インターネット」が(H30年 29.2%→R5年 14.5%)減少していることが驚きでしたが、SNSの微増、「特に得ていない」が約半数、TV・新聞(6%)の低下などおおむね想定される回答でした。一番の驚きは、「広報おおむた」が「インターネット」を抑えて最も高かったことから、情報の入手方法も多様化しているのではないかと、若者＝インターネット、SNSでの情報収集といった固定観念を少し変える必要があるように感じます。

現在も、行政は紙ベース、SNS、メールなどターゲティングに応じた情報発信をしているなか、アンケート結果では行政への要望として、「学習について情報をより詳細に提供する」が20.5%と高くなっていることから、学習内容の充実を図るとともに短い動画やワークショップ、イベントの開催、双方向性のやり取りの要素を取り入れる等、より戦略的にあらゆる手段を用いながら情報発信を継続する必要があります。

(3)新型コロナによる生涯学習の場所や形態の変化

生涯学習を行う場所については、対面で実施される学校の正規課程の学習、公共施設の講座、学校の公開講座などが減少傾向であり、非対面で実施可能な情報端末やインターネットが増加しています。この点に関しては、新型コロナウイルスの影響により、学校や職場だけでなく、社会全体でリモートが進捗したことによると考えられます。オンラインと対面のハイブリッドの学習形態等、選択の幅が広がったことにより、いつでも、どこでも、だれでも参加しやすくなった学ぶ環境は以前より整ってきているといえます。しかしながら、集団学習による仲間づくりや双方向の学びの継続ができにくくなる懸念があるため、ハイブリッドの学習形態の実施とともに対面での双方向の学び、リアルな体験のよさを感じてもらうことが大切です。

これからは、どんな学びなのか、誰と学ぶか、学んだことによってどのように自分の中に変容が生まれるのか、そのようなきっかけをどれくらい提供できるのか求められています。

(4) ボランティア活動、地域活動への参画の減少

この点に関しては、新型コロナウイルスの影響により、ボランティア・地域活動ができなかったことも大きく影響しているかもしれません。また、ボランティア・地域活動への関心度は、「関心がある」(H30年 24.8%→R5年 24.1%)と微減ですが、「やや関心がある」(H30年 45.1%→R5年 14.5%)と激減しています。関心のある層から関心のない層へシフトしているものを元に戻していくのか、そのためには活動意欲を戻していく取組をどのくらいしていけるのか、若者がボランティア活動・地域活動に参画する機会の提供が必要です。

ボランティア活動は「社会を変えられる」という意識と相関していますが、上記のとおり高校生や若者の関心は低くなっています。しかしながら、地域においては、若者へのボランティア・地域活動への期待は高いことから、地域と若者の意識の乖離が起こっています。

今回の調査のなかで「今後行いたいボランティア活動」では、女性が国際交流(協力)に関する活動が他と比べて高い数字となっていました。なかなか若者の興味があることと地域・ボランティア活動を結びつけることができていません。

今後は、若者の興味のある学習機会の提供を通して、若者が自ら社会参画や社会貢献につながるようなしつけや取組が求められています。

ローリング調査

調査の概要

(1) 調査の目的

「令和元年度大牟田市社会教育・生涯学習まちづくり基礎調査研究」の結果により、明らかになった課題と、学識経験者からの5つの提言を反映した総合計画及び社会教育振興プランに掲げている事業の進捗状況と成果を踏まえ、既存事業の有効性について検証を行う。

(2) 調査対象

大牟田市第6次総合計画アクションプログラム「第4章 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち」に掲げてある事務事業(生涯学習課文化芸術担当、スポーツ推進室、生活安全推進課が所管するものを除く)

(3) 調査方法

対象事業の所管部署に対する照会(調査票)

(4) 調査期間

令和5年7月8日～8月17日

※ 調査票は、「主要施策の成果及び基金の運用状況説明書」のうち「第1編第4章 評価・検証シート【施策】『4. 施策推進の視点と各構成事業』の『No.』」にて記載

4. 施策推進の視点と各構成事業

No.	事業名	所管課	成果指標等			評価結果	
			指標名	単位	R4 目標 R4 実績	結果検証 ・分析	今後の 方向性
[視点 1] 次世代を担う子どもをはぐくむ							
1	子ども交流体験事業(次世代を担う人づくり事業)	生涯学習課	引き続き活動したいと思った児童等の割合	%	50.0 84.0	順調	継続
2	【重点】高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)	生涯学習課	参画した高校の数	校	7 8	順調	継続
3	子どもの読書推進事業	生涯学習課	12歳以下の住民基本台帳人口1人あたりの児童図書の平均貸出冊数	冊	15.8 12.7	順調	継続
4	子どもの体力向上事業	スポーツ推進室	半年後に運動・スポーツを週1回以上継続して実施している子どもの割合	%	100 95.8	順調	継続
5	スポーツ少年団育成委託事業	スポーツ推進室	小学生数に占めるスポーツ少年団員数の割合	%	13.0 9.0	やや遅れ	継続
6	各世代に応じた学習活動支援事業	生涯学習課	各事業の参加者(講師等を含む)が学んだ成果を活かすことができたと答えた割合	%	90.0 82.9	順調	継続
7	家庭教育支援事業	生涯学習課	就学前子育て講座の出席率	%	85.0 85.7	順調	継続
8	わくわくシティ基金事業	スポーツ推進室、生涯学習課	スポーツ・文化の振興を通じた青少年育成事業への助成件数	件	2 4	順調	継続
9	(再掲)文化芸術体験を通した子ども・若者育成事業	生涯学習課	大牟田への愛着が以前より深まった参加者の割合	%	80.0 90.6	順調	継続
10	(再掲)文化芸術が生み出すまちの魅力アップ事業	生涯学習課	課題を解決するためには他者を尊重したり支えあうことが重要だと理解した参加者の割合	%	90.0 93.8	順調	継続
[視点 2] ESDを通じた人づくり、つながりづくり、地域づくり							
11	生涯学習ボランティア登録派遣事業	生涯学習課	生涯学習ボランティア延べ登録者数	人	1,615 1,601	順調	継続
12	地域 ESD 推進事業	生涯学習課	参加者の地域活動への参加意欲の増加	%	90.0 74.0	順調	継続
13	【重点】学校 ESD 支援事業	生涯学習課	支援を行った小・中・特別支援学校の数	校	8 9	順調	継続
14	人材育成・地域活動促進事業	生涯学習課	年度末までに講座等から発足した新規の地区公民館サークル数	団体	15 12	順調	継続
15	学習成果活用促進事業	生涯学習課	各地区公民館におけるサークル・地域団体、学校の作品展示等の事業数	件	15 75	順調	継続
16	地域の ICT を支援する人づくり事業	生涯学習課	インフォナビゲーターの新規登録者数	人	12 13	順調	継続
[視点 3] 学習環境の整備・充実							
17	学習情報提供事業	生涯学習課	愛情ねっと・大牟田ちようどよ課への「学習・講座」情報の掲載件数	件	241 355	順調	継続
18	多様な学習機会提供事業	生涯学習課	インターネットを活用した学習コンテンツの配信数	件	3 5	順調	継続
19	社会教育機能向上事業	生涯学習課	研修参加者のうち研修で得たものを事業に活かしたいと答えた延べ職員の割合	%	100 100	順調	継続
20	地区公民館等整備事業	生涯学習課	当該年度に予定していた施設修繕の実施率	%	100 100	順調	継続

調査の結果

施策名	(第1編第4章) 未来に向けて、ともに学び、地域で行動する人がはぐくまれるまち
-----	--

[視点1]次世代を担う子どもをはぐくむ

【取組1】子どもの体験活動の強化・充実

事業名 1. 子ども交流体験事業(次世代を担う人づくり事業)

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
引き続き活動したいと思った児童等の割合	目標値 (%)	50.0	50.0	50.0	50.0	
	実績値 (%)	86.0	85.7	84.0		
	達成度 (%)	172.0	171.4	168.0		

R 4 年 度	事業名	子ども交流体験事業(次世代を担う人づくり事業)	決算額	
	事業の実施状況	・地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験など子どもたちの体験活動講座を73講座開催しました。(11講座は大雨による避難所開設及び新型コロナのため中止)。 ・小学4年生から6年生を対象に、自分の将来のこと、夢や目標を見つけるきっかけづくりや未来に向けて頑張る姿勢を身につける一助となることを目的とした子ども未来デッサン事業を6講座予定していましたが、新型コロナの影響により1講座を中止し、5講座実施しました。 ・子どもの居場所事業では、新型コロナの影響もありましたが、21団体中20団体において、感染防止策を講じながら実施することができました。なお、通学合宿事業は宿泊を伴うことから実施した団体はありませんでした。		
	課題	・地区公民館で実施する講座は小学生を対象としたものが中心であるため、中学・高校生への拡がりが必要です。 ・地域で活躍するボランティアの高齢化が進むとともに、複数の団体で同じ人が活動されている傾向があることから、新たにボランティアを始める人を増やす工夫が必要です。		
	今後の方向性(具体策)	・講座に参加した小学生だけでなく、中学・高校生になっても引き続き参加できるような事業に取り組みます。 ・地域全体で子育てができる機運の醸成やボランティア活動への理解促進・参加意識の醸成を図ります。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験など子どもたちの体験活動講座を19講座予定していましたが、新型コロナの影響により2講座を中止し、17講座実施しました。 ・小学4年生から6年生を対象に、自分の将来のこと、夢や目標を見つけるきっかけづくりや未来に向けて頑張る姿勢を身につける一助となることを目的とした子ども未来デッサン事業を3講座予定していましたが、新型コロナの影響により1講座を中止し、2講座実施しました。 ・子どもの居場所事業では、新型コロナの影響もありましたが、21団体中20団体において、感染防止策を講じながら実施することができました。なお、通学合宿事業は、宿泊を伴うことから実施した団体はありませんでした。		

R 2 年 度	事業の 実施状況	・地区公民館において、食や環境等をテーマに、ものづくりや自然体験など子どもたちの体験活動講座を12 講座開催しました。(9 事業は新型コロナ感染拡大防止のため中止) ・子どもの居場所事業では、新型コロナの影響により事業の中止が相次ぎましたが、21 団体中17 団体においては、感染防止策を講じて実施することができました。なお、通学合宿事業は、宿泊を伴うことから実施した団体はありません。
------------------	-------------	--

事業名 2. 高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参画した高校の数	目標値 (%)	5	6	7	8	市内の高校・高等専門学校全校の 参画
	実績値 (%)	6	4	8		
	達成度 (%)	120.0	66.7	114.3		

R 4 年 度	事業名	高校生まちづくり体験事業(次世代を担う人づくり事業)	決算額	1,000 千円
	事業の 実施状況	・高校生まちづくり体験事業推進協議会 本事業を支援することを目的として、青少年団体等で組織する協議会を開催しました。 ・ポスターやチラシ等の活用により市内の高校等全校へ事業の周知を図るとともに、事業を企画・運営するスタッフを募集し、11 人(市内外の高校に通う生徒 4 校 11 人)の参加がありました。 ・高校生が企画・立案し、R4 年 11 月 6 日(日)に実施した「青春(アオハル)Walk」では、事前に募集した小学生 25 人と一緒にゲームやクイズをしながら、大牟田の新たな魅力発見に繋がる事業に取り組みました。 ・また、総合発表会として「夢の花咲く青春祭」にも取組み、R5 年 2 月 23 日(木・祝)に大牟田文化会館において、学校紹介や部活動の発表をはじめ、モノづくり体験コーナーや展示等を行いました。また、当日は、高校生等だけでなく、アクティブシニアのステージ発表や展示も行いました。(来場者は約 1000 人(参加した高校生等も含む))		
	課題	・高校生個人の参加は募ることができましたが、コロナ禍や学校行事との兼ね合いから、学校としての参画が難しい状況が続いています。また、高校生と地域の方々との交流の機会等の創出も困難な状況となっています。このような状況において、高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高めることができるような事業の組み立てが必要です。		
	今後の 方向性 (具体策)	・本事業は、高校生等の達成感やふるさとへの愛着を高めること、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目的としているため、市内の高校等に対してその趣旨を説明し、事業への理解を深めていただき、事業の参画校が増えるよう努めます。 ・企画スタッフを確保するため、ポスターやチラシ、広報等の活用に加え、青少年団体等にも呼びかけるなど、事業の更なる周知を図ります。 ・高校生等が参加意義を見つけることができるよう事業の組み立てを支援します。		
R 3 年 度	事業の 実施状況	・高校生まちづくり体験事業推進協議会 本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を開催しました。 ・ふるさと魅力発見ウォーク コロナ禍の中でしたが、「青春(アオハル)Walk」と称して事業を実施しました。ポスターやチラシ等の活用により市内の高校等全校へ事業の周知を図り、事業を企画・運営するスタッフを募集し、10 人(市内の高校等に通う生徒 4 校 10 人)の参加がありました。 参加した高校生の企画・立案により、大牟田の新たな魅力発見にもつながりました。企画途中での緊急事態宣言発令により、事業を縮小する状況となりましたが、高校生スタッフと実施可能なコースやレクリエーションを再協議し、12 月に高校生 10 人と、小・中学生の参加者 9 人で実施することができました。 ・総合発表会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため未実施)		
R 2	事業の 実施状況	・本事業を支援することを目的として、青少年団体等から組織する協議会を創設しました。 ・ふるさと魅力発見ウォーク部会として、「青春(アオハル)Walk」と称した事業の企画・運営するスタッフを募集し、高校等に通う生徒 23 人(市内 6 校 20 人、市外 3 人)の参加により事業を実施		

年 度		することができましたが、小・中学生の参加者については新型コロナ感染拡大防止の観点から募集を中止としました。
--------	--	---

事業名 3.子どもの読書推進事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
12歳以下の住民基本台帳人口1人あたりの児童図書の本貸出冊数	目標値冊	15.8	15.8	15.8	15.8	現状値の1割増を目標とする
	実績値冊	10.8	11.4	12.7		
	達成度(%)	68.4	72.2	80.4		

R 4 年 度	事業名	子どもの読書推進事業	決算額	897 千円
	事業の実施状況	・全ての子どもが絵本と出会う機会をつくるため、出生時の手続きをする窓口において、絵本と布バッグ等がセットとなったブックスタートパックを手渡しするとともに、読書ボランティアの協力のもと読み聞かせを行う「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を実施しました。 ・読書の大切さを啓発するチラシを小・中・特別支援学校の児童・生徒に配布しました。 ・電子図書館のIDを各児童、生徒に付与しました。		
	課題	・乳幼児期における読書活動の大切さについて、保護者等に広く周知啓発することが必要です。		
	今後の方向性 (具体策)	・図書館の指定管理者と連携し、講座や各種おはなし会以外にも、子どもの読書活動を推進するための情報発信や本に親しむ機会づくりを行います。 ・学校において電子図書館を利用してもらうため、指定管理者による利用デモンストレーションを行います。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・生まれてきた全ての子どもが絵本と出会う機会をつくるため、出生時の手続きをする窓口において、絵本と布バッグ等がセットとなったブックスタートパックを手渡しするとともに、読書ボランティアの協力のもと読み聞かせを行う「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を実施しました。 ・読書の大切さを啓発するチラシを小・中・特別支援学校の児童・生徒に配布しました。		
R 2 年 度	事業の実施状況	・全ての子どもが絵本と出会う機会をつくるため、出生時の手続きをする窓口において、絵本と布バッグ等がセットとなったブックスタートパックを手渡ししました。 ・例年、「赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を実施していますが、R2 年度は新型コロナ感染拡大防止の観点から中止しました。講座に代わるものとして、NPO ブックスタートが制作した、乳幼児期における読書活動の大切さを紹介する動画を、ブックスタートパックのリーフレットやホームページ、広報おおむたに掲載し、広く周知しました。 ・新型コロナ感染拡大防止の為、図書館を臨時休館したことで児童図書の貸出し冊数が減少しました。		

事業名 6. 各世代に応じた学習活動支援事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
各事業の参加者(講師等含む)が学んだ成果を活かすことができたと答えた割合	目標値(%)	90.0	90.0	90.0	90.0	目的に合致した取組みが進められたかを参加者のアンケート回答内容により判断
	実績値(%)	76.1	84.9	82.9		
	達成度(%)	84.5	94.3	92.1		

R 4 年 度	事業名	各世代に応じた学習活動支援事業	決算額	
	事業の実施状況	・高齢者や子育て世代をはじめあらゆる層の市民が参加できる学習機会を提供するため、地区公民館において 57 講座を開催しました。(2 講座は新型コロナのため中止)		
	課題	・講座終了後も継続した学習活動に結び付けるため、学んだ成果を活かしたいと思えるような取組みが必要です。 ・学んだ成果を活かし、個人が成長するとともに、子どもたちの成長へとつながる取組みが必要です。		
	今後の方向性(具体策)	・講座の対象者を明確にするとともに、内容や実施時間の設定などを検討し、より多くの人が参加しやすい講座を実施します。 ・講座受講者による新たなサークルの立ち上げや、既存サークルへの加入により、継続した学習活動につながる講座を実施します。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・講座終了後も継続した学習活動に結び付けるため、学んだ成果を活かしたいと思えるような取組みが必要です。 ・学んだ成果を活かし、個人が成長するとともに、子どもたちの成長へとつながる取組みが必要です。		
R 2 年 度	事業の実施状況	・高齢者や子育て世代をはじめあらゆる層の市民が参加できる学習機会を提供するため、地区公民館において14 講座を開催しました。(2 講座は新型コロナ感染拡大防止のため中止)		

事業名 7.家庭教育支援事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
就学前子育て講座の出席率	目標値 (%)	85.0	85.0	85.0	85.0	現状の参加率以上を目指す
	実績値 (%)	81.9	92.0	85.7		
	達成度 (%)	96.3	108.2	100.8		

	事業名	家庭教育支援事業	決算額	
R 4 年 度	事業の 実施状況	・地区公民館において、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を6講座開催(2講座は新型コロナの影響により中止)したほか、各小学校が実施する入学説明会の機会において、18校区で「就学前子育て講座」を実施しました(1校区は寒波の影響により中止)。また、幼稚園等入園前の子どもの保護者が子どもと一緒に安心して集える「子育てふれあい広場」を実施しました。 ・子育て情報誌「おおむたっ子」を年3回発行しました。(発行数は延べ34,500部)		
	課題	・子どもの発達段階に応じて、切れ目のない家庭教育の支援を行える環境を整える必要があります。		
	今後の 方向性 (具体策)	・より多くの保護者に家庭教育の在り方について見つめなおす機会を提供できるよう、効果的な子育て講座等の周知や、実施方法等を検討します。 ・地区公民館ごとに幼児期から思春期までのそれぞれの発達段階に応じた講座を実施します。		
R 3 年 度	事業の 実施状況	・地区公民館において、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を4講座開催(新型コロナの影響等により2講座は回数を減らして実施)したほか、各小学校が実施する入学説明会の機会を活用し、「就学前子育て講座」を実施しました(新型コロナの影響により入学説明会が中止・時間短縮等となったため、19校区中1校区のみ実施。18校区は資料を配布)。また、幼稚園等入園前の子どもの保護者が子どもと一緒に安心して集える「子育てふれあい広場」を実施するとともに、「幼児期子育て講座」をR3年8月に開催し、17人が参加しました。 ・子育て情報誌「おおむたっ子」を年3回発行しました。(発行数は延べ34,500部)		
R 2 年 度	事業の 実施状況	・子どもを持つ保護者に発達段階に応じた家庭教育のあり方を見つめなおす機会を提供するため、「幼児期子育て講座」「就学前子育て講座」を実施しました。「就学前子育て講座」については、就学前の全保護者の参加が見込める入学説明会を活用して実施しました。また、幼稚園等入園前の子どもの保護者が子どもと一緒に安心して集える「子育てふれあい広場」を実施しました。 ・地区公民館において、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分し、「家庭教育講座」を5講座開催しました。(2講座は新型コロナ感染拡大防止のため中止)		

事業名 11. 生涯学習ボランティア登録派遣事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
生涯学習ボランティア 延べ登録者数	目標値 人	1,585	1,600	1,615	1,630	年間15人の増加を目指す
	実績値 人	1,566	1,555	1,601		
	達成度 (%)	98.8	97.2	99.1		

R 4 年 度	事業名	生涯学習ボランティア登録派遣事業	決算額	560 千円
	事業の 実施状況	・市民の学習を支援するために、さまざまな経験や学習によって培われた知識や技能を持っている人材を、「生涯学習ボランティア」として登録し、地域・施設・学校などで行われる学習会や行事等に派遣しました。 <おおむた生涯学習まちづくり推進協議会> ・生涯学習ボランティア延べ登録者数:1,601 人 ・派遣回数:延 397 回(参加者数 延 10,370 人) ・表彰式・発表会の開催及び Youtube での動画配信(1月)		
	課題	・ボランティア登録者の高齢化が進み、登録団体における会員確保や後継者の育成が困難な状況にある団体が増えつつあります。		
	今後の 方向性 (具体策)	・新規登録者を増やす取組みや既存の登録団体の会員を増やす取組みを行い、登録者の確保へつなげます。そのために、若者を登録につなげるための働きかけや登録団体の会員募集と活動紹介の支援を行っていきます。		
R 3 年 度	事業の 実施状況	・市民の学習を支援するために、さまざまな経験や学習によって培われた知識や技能を持っている人材を、「生涯学習ボランティア」として登録し、地域・施設・学校などで行われる学習会や行事等に派遣しました。 ・新型コロナの影響により、学習会や行事等の会場として使用されている施設等が利用中止になり、すでに派遣が決定していた事業も中止や延期されたため、派遣回数が例年と比べて大きく減少しました。 <おおむた生涯学習まちづくり推進協議会> ・生涯学習ボランティア延べ登録者数:1,555 人 ・派遣回数:延べ 316 回(参加者数延べ 7,010 人) ・表彰式・発表会(※新型コロナ感染拡大防止のため延期)		
R 2 年 度	事業の 実施状況	・R2 年度は、新型コロナの影響により、ボランティア活動そのものの自粛を余儀なくされたほか、学習会や行事等の会場として使用されている施設等が利用中止になり、すでに派遣が決定していた事業も中止や延期されたため、派遣回数が例年と比べて大きく減少しました。 <生涯学習まちづくり推進本部> ・生涯学習ボランティア延べ登録者数:1,566 人 ・派遣回数:延べ 353 回(参加者数 延べ8,334 人) ・表彰式・発表会の開催及びYouTube での動画配信(2 月)		

事業名 12. 地域 ESD 推進事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
参加者の地域活動への参加意欲の増加	目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	目的に合致した取組みが進められたかを参加者のアンケート回答内容により判断
	実績値 (%)	77.3	84.4	74.0		
	達成度 (%)	85.8	93.7	82.2		

R	事業名	地域 ESD 推進事業	決算額	
4 年 度	事業の実施状況	・校区まちづくり協議会などの関係団体と協議を行い、地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた事業などを 20 講座実施しました。		
	課題	・学校だけではなく、地域における ESD の取組みへの理解を深める必要があります。 ・地域における活動が、高齢化や地域の活動に対する参加意欲の低下等で一部の住民に偏している状況があります。		
	今後の方向性 (具体策)	・地域課題解決のきっかけとなるよう、ESD の視点を持った取組みへの理解の促進を図ります。 ・地域との関わりの中で機会をとらえ、人づくり、つながりづくり、地域づくりに結び付くような取組みを実施します。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行い、地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた事業などを 17 講座計画しましたが、6 事業は新型コロナの影響により中止し、11 講座を実施しました。		
R 2 年 度	事業の実施状況	・地域課題の解決に結びつくような学習活動や地域の伝統文化を次世代に継承する取組み、地域コミュニティの形成、人材発掘・人材育成に向けた取組みなどを校区まちづくり協議会などの関係団体との協議を行い、ニーズをとらえて進める事業を 10 講座実施しました。 (9 事業は新型コロナ感染拡大防止のため中止)		

事業名 13.【重点】学校 ESD 支援事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
支援を行った小・中・特別支援学校の数	目標値 (%)	4	6	8	10	小学校7校、中学校特別支援学校3校
	実績値 (%)	7	7	9		
	達成度 (%)	175.0	116.7	112.5		

R	事業名	学校 ESD 支援事業	決算額	23 千円
4 年 度	事業の実施状況	・地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】 ・地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】 ・地域の史跡や文化財等を知り発表することにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校 ESD 支援モデル校区)、駛馬小学校】 ・小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駛馬小学校、天領小学校】 ・勝立地区の人が地域の自然と歴史を学び作成した動画の DVD を学校に届け、地域への愛着を深めました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校、特別支援学校】 ・三池の歴史学習資料をゲストティーチャーが学校と連携して作成する支援を行いました。【三池小学校】 ・このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表、文化祭での展示発表などを行いました。		
	課題	・地区公民館の機能や役割について、学校への周知が十分ではないため、提供できる支援について周知を図る必要があります。 ・小学校での実施が中心となっており、中学校への取り組みが必要です。 ・学校のニーズを把握するため、学校が取り組む ESD について理解を深めることが必要です。		
	今後の方向性(具体策)	・学校職員を対象とした事業の説明機会を設け、学校 ESD の支援に取り組みます。 ・学校に提供できる支援を明確にするため、地区公民館ができることをメニューにして提示するなど、わかりやすい仕組みを構築します。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・地域の大人が子どもたちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】 ・地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。【銀水小学校】 ・地域の史跡や文化財等を知り発表することにより児童の地域への愛着を深めました。【羽山台小学校(学校 ESD 支援モデル校区)、駛馬小学校(新型コロナの影響により中止)】 ・学校職員に公民館や地域のことを説明し、ESD や総合学習のヒントとなることを目指した研修会を実施しました。【羽山台小学校】 ・小学校の海洋教育及び野外活動として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。【駛馬小学校、天領小学校、羽山台小学校】 ・このほか児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、各地区公民館のロビー等を活用した展示発表を実施したほか、みなと小学校児童が作成した「防災マニュアル」を三川地区公民館において配布しました。		
R 2	事業の実施状況	・地域の大人が子供たちに絵手紙の素晴らしさを伝えるボランティア講座を実施し、子どもたちが描いた絵手紙を校区内の高齢者に届ける取り組みを実施しました。		

年 度		【天の原小学校、玉川小学校、宮原中学校】 ・地域、学校が連携し種から花を育てることにより、地域の絆を深めました。 【銀水小学校、田隈中学校】 ・小学校の海洋教育として実施されるカヌー乗船体験学習を支援しました。 【駛馬小学校、天領小学校】 ・このほか、児童・生徒の学習活動の成果発表の場として、公民館のロビー等を活用し展示発表を実施しました。
--------	--	--

事業名 14. 人材育成・地域活動促進事業費

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
年度末までに講座等から発足した新規の地区公民館サークル数	目標値(%)	15	15	15	15	各地区公民館(7館)の講座において、2団体以上が発足することを想定
	実績値(%)	8	14	12		
	達成度(%)	53.3	93.3	80.0		

R	事業名	人材育成・地域活動促進事業費	決算額	
R 4 年 度	事業の 実施状況	・地区公民館の講座受講者が学んだ成果を活かすため、新規サークルの立上げや、既存のサークルへの加入を促すなど、継続した活動の場や機会の提供を図りました。 ・ボランティア団体や地域の団体、公民館で活動するサークル等の活動について、必要に応じた支援を行う事業など、9 事業を実施しました。		
	課題	・地区公民館で活動するサークル等が、学んだ成果をボランティア活動、地域活動に活かしていく意識の醸成を図る取組みが必要です。 ・新型コロナの影響のため定員を減らして講座を実施しており、サークルが立ち上がりにくい状況にあります。		
	今後の 方向性 (具体策)	・地区公民館で活動するサークル等に、活動時や研修会などの機会をとらえ、学んだ成果を社会に還元していくことの意義や重要性について、理解を深める取組みを実施します。 ・講座などから立ち上がったサークルや、ボランティア活動を行っている(行いたい)市民、団体の生涯学習ボランティア登録を促し、活動機会の提供を図ります。		
R 3 年 度	事業の 実施状況	・公民館の講座受講者が学んだ成果を活かすため、新規サークルの立上げや、既存のサークルへの加入を促すなど、継続した活動の場や機会の提供を図りました。 ・ボランティア団体や地域の団体、公民館で活動するサークル等の活動について、必要に応じた支援を行う事業など、22 事業を計画していましたが、新型コロナの影響により 10 事業が中止となり、12 事業を実施しました。		
R 2 年 度	事業の 実施状況	・学んだ成果を活かす活動の場や機会の提供を図る事業を実施しました。また、ボランティア団体や地域の団体、公民館で活動するサークル等の活動について、必要に応じた支援を行う事業など、9 事業を実施しました。新型コロナ感染拡大防止のため少人数の講座としたほか、8 講座を中止した影響もあり、新規のサークルの発足数が見込みよりも低くなりました。		

事業名 15. 学習成果活動促進事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
各地区公民館におけるサークル・地域団体、学校の作品展示等の事業数	目標値(%)	15	15	15	15	地区公民館文化祭7回と他の団体・サークル・学校等の作品展示等8回
	実績値(%)	56	74	75		
	達成度(%)	373.3	493.3	500.0		

R	事業名	学習成果活用促進事業	決算額	
R 4 年 度	事業の実施状況	・地区公民館では各サークル活動の成果として、文化祭や公民館ロビーなどを活用した作品展を開催するなど、会員の活動の場の拡大と各サークル等の団体の発展を目指した事業を実施しました。また、子どものサークル体験や学校の活動などの成果作品の展示を行うなど、世代間の交流を通して、次世代の育成を図りました。 ・高齢者のボランティアを養成する「アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編」を6講座開催し、61人が受講しました。(1講座は受講生が定員に満たなかったため中止)また、「夢の花咲く青春祭」において、アクティブシニアのステージや展示発表を行いました。		
	課題	・講座の受講者やボランティア登録者が、学習の成果を地域での活動に活かす機会の提供が必要です。 ・地区公民館で活動するサークルが学んだ成果を発表する場や機会を創出し、まちづくりへ参画する意識の醸成が必要です。		
	今後の方向性(具体策)	・地区公民館で実施する講座等における講師の選定の際に、生涯学習ボランティア登録者等を積極的に活用し、新たな活動や学びの循環を図ります。 ・文化祭やロビー展など、サークルの学びの成果を発表できる機会を創出します。		
R 3 年 度	事業の実施状況	・高齢者のボランティアを養成する「アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編」を開催しました。7講座を予定しておりましたが、1講座は新型コロナのため中止となりました。6講座を開催し、64人が受講しました。 ・地区公民館の各サークル活動の日頃の成果として、新型コロナの影響により中止した文化祭等に替え、公民館ロビーなどを活用し、長期間の作品展を開催するなど、会員の活動の場の拡大と各サークル等の団体の発展を目指した事業を実施しました。 ・子どものサークル体験や学校の活動の成果などの作品展示を行うなど、世代間の交流を通して、次世代の育成を図りました。		
R 2 年 度	事業の実施状況	・高齢者のボランティアを養成する「アクティブシニアデビュー塾ボランティアデビュー編」2講座を開催し、28人が受講しました。(1講座は新型コロナ感染拡大防止のため中止) ・地区公民館の各サークル活動の日頃の成果として、新型コロナの影響により中止した文化祭等に替え、公民館ロビーなどを活用し、長期間の作品展を開催するなど、会員の活動の場の拡大と各サークル等の団体の発展を目指した事業を実施しました。 ・子どものサークル体験や学校の活動の成果などの作品展示を行うなど、世代間の交流を通して、次世代育成の構築を図りました。		

事業名 17 学習情報提供事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
愛情ねっと・大牟田ちゅうどよ課への「学習・講座」情報の掲載件数	目標値 件	220	231	241	252	現状値から年間5%増を目指す
	実績値 件	237	193	355		
	達成度	107.7	83.5	147.3		

R	事業名	学習情報提供事業	決算額	762 千円
R 4 年 度	事業の 実施状況	・年間を通して情報誌やリーフレット、ホームページ、愛情ねっと、FMたんなど多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。 ・生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」の利用案内と企業出前講座「がんばる地場企業」及び市役所職員出前講座のメニュー表を1冊にまとめて、「おおむた生涯学習メニューブック」として発行しました。 ① 学習情報誌「まなびのカatalog」の発行(奇数月に年6回発行 2,000部/回) ② 生涯学習メニューブックの発行(冊子 2,500部) ③ 「広報おおむた」による学習情報及び生涯学習の啓発(全3回) その他:ホームページ、SNS、愛情ねっと、LINE、FMたん、Youtubeを活用した情報発信		
	課題	・市民がいつでも気軽に学習活動が行えるよう、情報発信の強化を図り、必要な学習情報がすぐ得られるようにすることや、様々な学習情報を提供することで、日頃学習活動を行っていない人の学習意欲を喚起し、学習活動に参加してもらうことが必要です。		
	今後の 方向性 (具体策)	・学習情報を必要としている市民へ必要な情報を提供し、市民の学習活動を支援することを目的として R4 年度に策定した「大牟田市学習情報の発信に関するガイドライン」に基づき、より多くの市民に講座や催し物などの情報が伝わるよう発信をしていきます。		
R 3 年 度	事業の 実施状況	・年間を通じて情報誌やリーフレット、ホームページ、愛情ねっと、FMたんなど多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。 ①学習情報誌「まなびのカatalog」の発行(奇数月に年6回発行 2,000部/回) ②おおむた生涯学習メニューブックの発行(冊子 2,500部) ③広報おおむたによる学習情報及び生涯学習の啓発(全3回) ④その他:ホームページ、SNS、愛情ねっと、FMたんを活用した情報発信 ・上記のほか、R3年6月から運用開始された LINE を活用し109件の情報発信を行いました。		
R 2 年 度	事業の 実施状況	・年間を通して情報誌やリーフレット、ホームページ、愛情ねっと、FMたんなど多様な媒体を活用し、様々な学習情報を提供しました。 ①学習情報誌「まなびのカatalog」の発行(奇数月に年6回発行 2,000部/回) ②生涯学習メニューブックの発行(冊子2,000部) ③広報おおむたによる学習情報及び生涯学習の啓発(全3回) ④その他:ホームページ、SNS、愛情ねっと、FMたん、YouTube を活用した情報発信		

19. 事業名 社会教育機能向上事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
研修参加者で研修で得たものを事業に活かしたいと答えた延べ職員の割合	目標値 (%)	100	100	100	100	目的に合致した取組みが進められたかを、参加者のアンケート回答内容により判断
	実績値 (%)	95.5	97.7	100		
	達成度 (%)	95.5	97.7	100		

R	事業名	社会教育機能向上事業	決算額
R 4 年 度	事業の 実施状況	・公民館職員研修会については、地区公民館の職員を対象に、対面とオンラインのハイブリッド形式の講座の実践的な研修を実施するなどウイズコロナに対応した職員のスキルアップを図ることを目的に、10回の研修会を開催しました ・社会教育関係職員研修会については、人づくりや地域づくりのために必要なファシリテーション能力の向上を図ることを目的に、1回開催しました。 ・新任公民館職員研修会については、新任の公民館職員を対象に、社会教育や生涯学習の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。 ・新任社会教育関係職員研修会については、新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。	
	課題	・社会教育に携わる職員が一層スキルアップできるよう、研修の充実を図る必要があります。	
	今後の 方向性 (具体策)	・新任公民館職員研修会を年間通して段階的にスキルアップできるプログラムで実施します。 ・継続して社会教育関係職員向けのオンライン関連の研修を実施します。	
R 3 年 度	事業の 実施状況	・公民館職員研修会については、地区公民館の職員を対象に、Zoomの操作方法などオンラインの研修を実施するなど職員のスキルアップを図ることを目的に、10回の研修会を開催しました(新型コロナ感染拡大の観点からオンラインでの研修1回を含む)。 ・社会教育関係職員研修会については、社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、オンラインのスキルの向上を図ることを目的に、1回開催しました。 ・新任公民館職員研修会については、新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。 ・館長向けの研修を1回開催しました。 ・新任社会教育関係職員研修会については、新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。	
R 2 年 度	事業の 実施状況	・公民館職員研修会については、地区公民館の職員を対象に、ファシリテーション研修や事業企画の方法など職員のスキルアップを図ることを目的に、9回の研修会を開催しました。(大雨などのため2回中止) ・社会教育関係職員研修会については、社会教育関係職員を対象に、社会教育の今後の役割の理解を促進するとともに、ファシリテーションスキルの向上を図ることを目的に、公民館職員研修会と同時開催で2回実施しました。 ・新任公民館職員研修会については、新任の公民館職員を対象に、社会教育公民館の役割についての基礎的な知識の習得のため、研修会を1回開催しました。 ・新任社会教育関係職員研修会については、新任の社会教育関係職員を対象に、市民協働部各課の取組みを知ることで、部内の連携促進を図ることを目的に、研修会を1回開催しました。	

事業名 20. 地区公民館等整備事業

指標名		R2	R3	R4	R5	指標・目標値設定の根拠
当該年度に予定していた施設修繕の実施率	目標値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	計画的に施設修繕を行っていくことにより設定
	実績値(%)	100.0	100.0	100.0		
	達成度(%)	100.0	100.0	100.0		

R	事業名	地区公民館等整備事業	決算額	
4	事業の実施状況	・公共施設維持管理計画に基づき、吉野地区公民館電灯設備更新工事、三池地区公民館外壁防水等改修工事、駿馬地区公民館駐車場改修工事を行いました。このほか、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕等を行いました。		
年度	課題	・7 地区公民館は既に建設から長期間経過しており、経年劣化による雨漏り等の不具合が多発しています。		
	今後の方向性(具体策)	・公共施設維持管理計画に基づく計画的な改修等を実施します。		
R	事業の実施状況	・公共施設維持管理計画に基づき、手鎌地区公民館の屋上等の防水工事、内部改修工事、非常放送設備の更新、エレベーターの更新を行いました。 ・新型コロナ感染防止の観点から、各地区公民館のトイレの洋式化、自動水栓化等の改修を行いました。 ・このほか、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。		
3				
年度				
R	事業の実施状況	・公共施設維持管理計画に基づき、三池地区公民館の屋上等の防水工事、内部改修工事、非常放送設備の更新、エレベーターの更新を行いました。 ・このほか、来館者が安心・安全に施設を利用できるように、必要に応じた施設修繕を行いました。		
2				
年度				

3. ローリング調査から見えてくるもの

(1) コロナ禍による事業等の減少とオンラインでの事業への動き

令和2年度から4年度までの3年間は、ほとんどの事業で新型コロナウイルスの影響を受け、特に令和3年度までは、中止せざるを得なかった事業が数多くありました。また、「生涯学習ボランティア登録派遣事業」も派遣先の事業中止に伴い、派遣回数が例年と比べて大きく減少しています。さらに、感染症予防対策のため、定員を減らして講座を行っており、一定の人数が必要となるサークルの立ち上げが難しくなっています。

一方で、令和3年度に社会教育施設にWi-Fiを設置するとともに、オンラインで事業が出来るようにZoomの操作方法の研修、対面とオンラインのハイブリッド形式の講座の実践的な研修等を実施しました。この結果、複数の公民館でオンラインを活用した講座を行いました。また、社会教育振興担当では、令和4年度からVRを活用したボランティア養成講座を実施しています。

今後は、オンラインと対面の両方の手法からより効果的な手法を選択し、事業展開をすることが大切と思われます。

(2) 切れ目のない社会教育事業の実施と課題

次世代を担う人づくり事業では、乳幼児から高校生までの次世代とそれを支える大人を対象とした事業を実施してきました。具体的には、子どもの読書推進事業として、当該年度に出生した全ての子どもが絵本と出会うブックスタートパックと「絵本による赤ちゃんとのコミュニケーション講座」を行っています。また、図書館や地区公民館の図書コーナーと読書ボランティアとの連携により、子ども読書の推進に努めています。

家庭教育支援事業については、各地区公民館において、幼児、小学校低学年・高学年、思春期などに区分した講座を行っています。また、小学校の入学説明会の機会を捉えて「就学前子育て講座」を全小学校で実施していますが、近年は新型コロナや寒波の影響等から中止や講座の時間短縮も多くなっています。幼児期から思春期までの発達段階に応じた講座・事業をより体系づけて行うことが必要です。

世代に応じた学習活動支援事業では、受講者が学んだ成果を活かし、子どもたちの成長につながっているかを検討する必要があります。

地区公民館では、ものづくりや自然体験など子どもたちの体験活動を中心とした講座を、生涯学習課では子ども未来デッサン事業を行っています。

特に地区公民館の講座は小学生を対象としているものが中心であることから、中学生・高校生を対象とした事業の検討が必要であるとともに、小学生向けの講座に参加した小学生6年生が次年度にはスタッフとして参加する事業の実施なども必要と思われます。

生涯学習課次世代育成担当では高校生を対象とした事業として、高校生まちづくり体験事業を行っています。高校生が企画・立案に取り組み、大牟田の魅力発見に繋がる「青春(アオハル)WALK」や、令和4年度には学校紹介や部活動の発表、モノづくり体験コーナーなどを大牟田文化会館で行う「夢の花咲く青春祭」を行い、1,000人以上の来場者がありました。ローリング調査にはあがっていませんが、地区公民館では夏休みの子ども体験事業で高校生のボランティアの参加があっているところもあります。また、高校生が中心となって講座を行っている例も出てきました。

高校生を対象とした事業は、事業を行った達成感による自己肯定感の向上、ふるさとへの愛着を深めること、地域のために自らチャレンジできる人づくりを目的としています。この重要性について、高校への説明を強化するとともに、高校を卒業しても、地域に住む若者が活躍できるように市民活動団体とのつながりをつくることも必要です。

次世代の育成を推進するには、乳幼児から高校生まで切れ目のない社会教育事業を展開することが大切です。小学生までは、さまざまな人との体験活動を行い、中学生では地域や社会への参加、高校生では地域づくり、まちづくりにつながる活動を行うことで次世代への人材を育むことが必要です。

(3)地域におけるE S Dの認知度と学校への支援に向けた課題

地域E S D推進事業では、持続可能な地域をつくっていくための学びであるE S Dの視点を持った取組を行っていますが、地域活動への参加意欲の増加が目標の90%に対し、令和2年度から4年度まで、いずれも目標値に達しておらず、4年度では74%に留まっています。また、SDGs(持続可能な開発目標)は、多くの民間企業でも取り組まれており、浸透しつつありますが、それを達成する手段であるE S Dの認知度は、いまだ学校教育に留まっているといえます。

地域にE S Dを認識してもらうためには、それぞれの地域に必要なSDGsを認識してもらうことが必要と思われます。地区公民館は地域(校区まちづくり協議会等)と協議を行いながら、事業を実施していますが、地域が自分たちのSDGsが何であるのか気づきを得るような学びも必要です。

学校E S D支援事業については、地区公民館が支援した学校数は目標値を上回っていますが、さらなる広がりを図るためには、地区公民館の機能や役割について、学校に周知を図る必要があります。また、中学校に向けた取組が少ないこと、学識経験者による「大牟田の教育」の意見書にて、「取組実績からは、E S D支援なのか単なる学校支援なのか不明であり、地域住民や地区公民館が主体的にE S Dに取り組むことに直接的につながっていない気がする」といった指摘がありました。

このようなことから、今後は現在行われている大牟田版コミュニティスクールや小中一貫教育、学校現場の状況をしっかりと把握し、より一層、学校E S Dの支援を行う必要があると思われます。

人材育成・地域活動促進事業と学習成果活動促進事業は、ともに学んだ成果を活かし地域に還元する学びの循環を図るものです。地域とのつながりをつくり、まちづくりへ参画する意識の醸成を図ることが大切です。

(4)多様な情報発信と学習機会の提供

市民の学習を支える基盤である学習情報提供事業では、情報誌やリーフレット、広報おおむた等の紙媒体のほか、ホームページ、FMたんと、愛情ねっと、LINE、Youtube など多様な媒体を活用し、さまざまな情報提供を行っています。

また、多様な学習機会提供事業では、企業出前講座のメニューと実施回数など順調に増加しています。これに加え、インターネットを活用した出前講座の動画配信も目標を上回る5件の配信を行っています。

引き続き多様化する市民のニーズに応えるため、情報発信の方法や出前講座の実施方法等については若い世代の意見を取り入れるなど工夫が必要です。

(5)社会教育・生涯学習を支える職員の研修

令和2年度以降、社会教育関係職員研修、公民館職員研修については、「社会教育機能向上事業」として、取り組んでいます。その中で人づくりや地域づくりに大切なスキルであるファシリテーション能力の向上を図る研修を行っています。

このほかにも、(1)で掲げたオンライン研修などを実施しました。今後もきちんとした理論とすぐに活用できる実践的な研修をバランスよく行い、社会教育関係職員のスキルアップを行う必要があります。

インタビュー調査

調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、社会教育関係職員がインタビュー調査を通して、地域や地域団体等のことを知り、職員と地域団体などとの新しいつながりをつくることや職員が地域団体同士をつなぎ、新しいつながりを形成することで地域全体の新しい可能性を引き出すことを目的に、インタビュー調査を実施する。

インタビュー先は、職員が地域団体等と連携したいが、その団体が何をしているのか分からない、じっくり話をしてみたいがゆっくりに時間を取ってまでは話ができないなど、連携のきっかけのつかめない身近な地域の人や団体をターゲットとしたい。インタビューすることで、自前主義の脱却、地域事情を知り、地域のつながりづくりや連携の糸口を探ることで、地域をつなぐという職員の地域への意識の変容を期待する。

最後に、インタビューを聞き、職員がまとめた結果を基に、これからの社会教育・生涯学習の方針・事業にも反映していくことを目指すとともに各館、各担当で今後の事業に反映していく。

(2) 調査の対象

おもに市内にある団体・企業・学校関係など

(3) 調査方法

社会教育関係職員が、団体・企業・学校関係などにアポイントを取り、対面でインタビューする時間を取っていただき、関係づくりのためのインタビュー調査を実施

(4) 調査期間

令和5年6月から9月

(5) インタビューの結果等

インタビュー数 30件(設問は任意)

インタビュー調査先 市民活動団体 13件 企業 5件 幼稚園・学校・大学関係 7件
行政関係 2件 サロン 3件 ※一覧表参照

インタビュー時間 1件平均53分

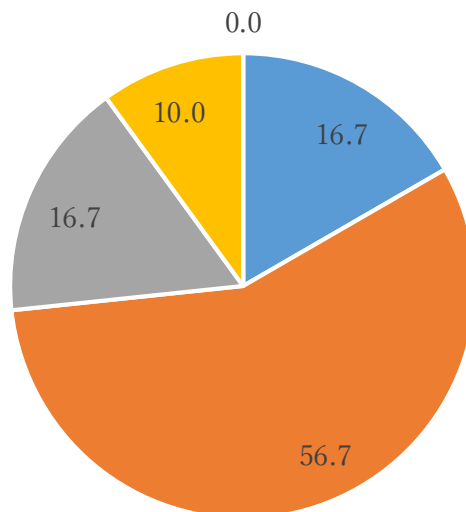
(6) 調査結果利用上の留意事項

- ・ 文章や表、グラフ中の回答割合(相対度数)は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているので、合計は必ずしも100%にならないことがある。
- ・ 2つ以上の回答を求めた(複数回答)質問の場合、その回答割合の合計は原則として100%を超える。
- ・ 数表等に記載された「n」は、回答割合算出上の基数(回答数)を示している。
- ・ 前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問の回答割合は、層化された回答者を基数として算出している。
- ・ 文中では選択肢(変数)を「 」で示している。選択肢の文章が長い場合は、一部省略したところがある。また、2つ以上の選択肢を合計して表す場合には『 』で示している。
- ・ 性別を「その他」と回答した人は皆無であったことから分析対象から除いている。

調査結果

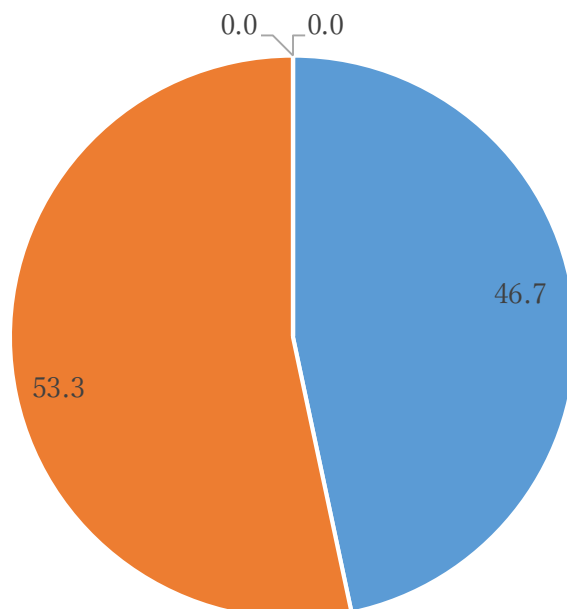
3 職員アンケート抜粋

関係づくりについてどのくらいできたと思いますか？



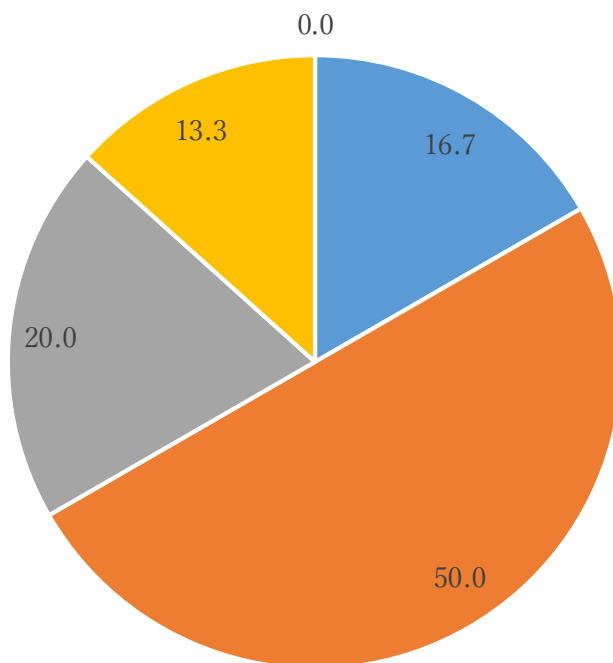
■ かなりできた ■ できた ■ 普通 ■ 難しかった ■ かなり難しかった

インタビュー調査を実施したことでのまなびはありましたか？



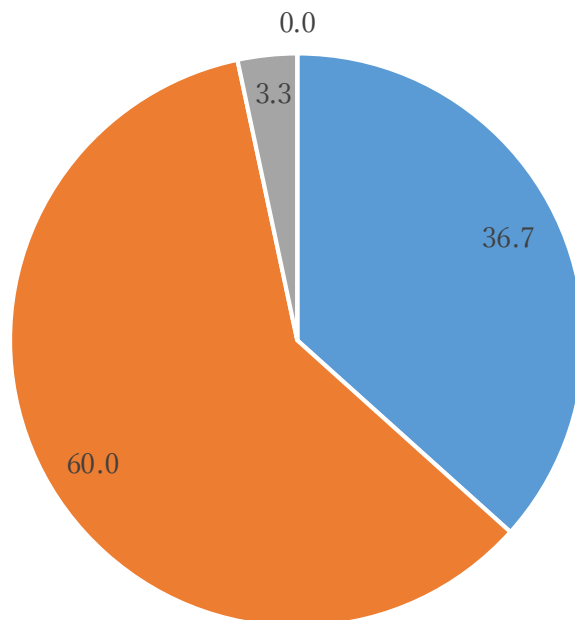
■ 大いにあった ■ あった ■ あまりなかった ■ どちらともいえない

連携の可能性について



■ かなりできる ■ できる ■ 普通 ■ 難しい ■ かなり難しい

自分たちのインタビューの目的としていた取れ高はどれくらいでしたか？



■ 大いにあった ■ あった ■ あまりなかった ■ どちらともいえない

3 自由意見(抜粋)

- ・100%すべての人にマッチングしないので、1つの団体に偏るのではなく、少しでも多くの事情に対応できるよう制度や機関の充実が必要
- ・正しい知識を得るため（当事者理解）の学習機会を提供することは社会教育の役割である
- ・地区公民館の認知度の低さを認識
- ・講師の発掘にインタビューは効果的
- ・せっかくのつながりを途切れさせないためにも、今後も交流していきたい
- ・インタビュー先と人づくり、地域づくりの目線の共有ができた
- ・情報化社会になり、団体に加入しなくてもいい人たちが増えた（個人主義）、障害者スポーツの人気
- ・地域の方々にはたくさんの知識や技能を持っている人がいることを知った
- ・じっくりと話をすることで、課題が見えてきて、ヒントをつかむことができた
- ・インタビューすること、インタビュー先を考えること、質問なども難しかった
- ・限られた時間でのインタビューの難しさ・・・

4. まとめ

このインタビュー調査は、社会教育関係職員が、連携のきっかけのつかめない身近な地域の人や団体をターゲットに新しいつながりを築くことを目的に実施し、職員と地域団体等との新しい関係性を構築することができました。

普段の会話ではなく、インタビューという形で実施したことによって、地域団体等の活動内容や活動に対する想い、ニーズをじっくりと聞くことができ、連携の可能性を探るとともに、お互いの関係性が深まりました。関係性が深まったことで、職員自身の意識や視野が広がりました。

また、インタビュー調査を通して、職員の「聞く力」とインタビュー内容を学習課題につなげるスキルアップとともに講師依頼などの実利もあったことから、職員のモチベーションの向上も図ることができました。調査は社会教育関係職員の資質向上や地域資源の活用に寄与する重要な手段であり、継続的に実施すべきであるため、来年度以降も継続する方向で協議しています。

最後に、インタビュー結果を連携先情報のデータベースとして課全体で共有します。職員が連携を意識することで、地域への眼差しが広がり、地域資源を活用したプログラムの充実を期待します。

参考資料

インタビュー調査先一覧

NO.	インタビュー対象者 (カテゴリー)	インタビュー日	インタビュー 時間(M)	対応館・担当等
1	市民活動団体	R5.6.23	60	中央地区公民館
2	市民活動団体	R5.6.26	60	中央地区公民館
3	市民活動団体	R5.6.21	70	中央地区公民館
4	企業	R5.6.16	120	中央地区公民館
5	幼稚園・学校・大学関係	R5.6.12	60	三川地区公民館
6	幼稚園・学校・大学関係	R5.6.14	35	三川地区公民館
7	幼稚園・学校・大学関係	R5.6.26	30	勝立地区公民館
8	企業	R5.6.20	50	勝立地区公民館
9	幼稚園・学校・大学関係	R6.6.16	50	勝立地区公民館
10	企業	R5.7.13	60	吉野地区公民館
11	幼稚園・学校・大学関係	R5.6.27	40	吉野地区公民館
12	幼稚園・学校・大学関係	R5.8.8	30	吉野地区公民館
13	企業	R5.6.26	45	三池地区公民館
14	幼稚園・学校・大学関係	R5.6.28	50	三池地区公民館
15	市民活動団体	R5.7.12	75	三池地区公民館
16	市民活動団体	R5.7.14	30	手鎌地区公民館
17	企業	R5.7.5	50	手鎌地区公民館
18	市民活動団体	R5.6.14	60	手鎌地区公民館
19	市民活動団体	R5.6.22	25	駿馬地区公民館
20	行政関係	R5.6.21	30	駿馬地区公民館
21	市民活動団体	R5.6.14	40	駿馬地区公民館
22	行政関係	R5.6.23	45	地域学習担当
23	サロン	R5.6.22	90	生涯学習担当
24	サロン	R5.6.21	60	生涯学習担当
25	サロン	R5.6.15	120	生涯学習担当
26	市民活動団体	R5.7.28	30	生涯学習担当
27	市民活動団体	R5.6.19	60	生涯学習担当
28	市民活動団体	R5.6.23	60	次世代育成担当
29	市民活動団体	R5.8.4	30	次世代育成担当
30	市民活動団体	R5.9.16	30	次世代育成担当

Ⅵ 考察

1. 考察を行うにあたって

平成 30 年度と現在の社会教育・生涯学習の状況を比較し、新型コロナウイルス感染の影響を含めて、市民の学習活動に対する意欲、学習ニーズ、ライフスタイルの変化を把握するために前回同様に「市民意識調査」「若者意識調査」「ローリング調査」を実施しました。

その結果に基づき、社会教育・生涯学習行政の方針を示すための考察を行い、次期総合計画(マスタープラン)の施策に反映することとしました。

市民意識調査の結果の一部を紹介すると、ここ 1 年間の生涯学習の実施状況について、「特にしていない」37.7%となり、令和 4 年の内閣府による同様の調査における「学習していない」24.3%と比較するとおよそ 1.5 倍となっています。

また、「特にしていない」と回答した人に「生涯学習をしない理由」を複数回答可で尋ねたところ、「仕事で時間が取れない(41.8%)」、「どのような活動があるのかわからない」(29.1%)「特に必要がない」(27.7%)が 25%を超えていました。「特に必要がない」は前回調査 10.8%から 27.7%と増加しており、新型コロナの影響による学習に対する意識の変容が見られました。

若者意識調査の結果の一部では、自身が企画・実施するボランティア活動や地域活動に関心があるかという問いでは、前回調査では「関心がある」「やや関心がある」(69.9%)→(38.6%)となっています。「やや関心がある」から「あまり関心がない」へ変化が見られますが、「関心がある」数値はあまり変動がありませんでした。若者のなかに一定数ボランティア活動や地域活動に興味を持つ層がいることから、今後人材発掘していく必要があると考えます。

ローリング調査のなかでも、今後もオンラインと対面の両方を考えながら、事業展開をすることの大切が記載されています。社会のオンライン化の進展により、どこでもインターネットを活用した知識の獲得や他者との交流ができる環境が整備されるなか、学習の意義の問い直し、高度な情報提供が求められてくることが想定されます。

本考察では、上記の調査の結果、明らかになったことと中教審生涯学習分科会の論点整理や第 4 次教育振興基本計画など国の動向をふまえ、今後、本市の社会教育・生涯学習行政として取り組むべき内容を考察としてまとめました。

2. 具体的な考察内容

(1)生涯学習社会・社会的包摂の実現と多様化する学習活動の環境整備

生涯学習は、人々の教養を高め、多様な人々と出会い、自己実現を促す重要な学習であり、長寿化が進展する人生 100 年時代において、生涯を通じた全ての人のウェルビーイングの実現につながるものです。特に、今後は社会的包摂の実現のために、障害者や外国人等のニーズに応じた生活に必要な学びを支援することが求められます。また、個人の学びを通じて個人の成長や地域・社会への貢献に繋がる「知の循環」を築くためには、多機関・多職種連携の連携を促進し、生涯学び、活躍できる環境整備を図る必要があります。

環境整備としては、市民意識調査と若者意識調査の結果から、生涯学習の場所や形態が「情報端末やインターネット」「テレビやラジオ」にシフトしていることが明らかになりましたが、令和3年度には社会教育施設にWi-Fiを整備するなど、オンライン学習を支える基盤整備を行いました。今後もハイブリッドの事業等を実施していくことが求められます。

一方、生涯学習をしない理由としては、上記のとおり「どのような活動があるのかわからない」(29.1%)「特に必要がない」(27.7%)であることから、無関心層へのアウトリーチとともに、活動が分からない層にアプローチすることも重要となっています。

そのため、多様性を考慮しながら、学習内容の充実とオンライン、SNSなどを活用した効果的な情報発信を進め、市民の学習意欲を高める取組を行う必要があります。

(2)持続的な地域コミュニティの基盤に向けての地区公民館の機能向上

地域コミュニティの基盤を固め、持続的な発展を促進するためには、地区公民館の機能向上が不可欠です。第4次教育振興基本計画において、公民館に対する期待は高まっており、公民館が多岐にわたる社会的ニーズに対応する役割を果たすことが期待されています。

まず、社会的包摂を実現するために、不登校や引きこもり、外国人、障害を抱えた人々など、社会的に弱い立場にある子供・若者や市民の支援を行う場としての役割が強調されています。

さらに、公民館は地域課題の解決に取り組み、住民相互の学び合い・交流を促進することで、持続可能な地域コミュニティの基盤を築くことができます。

具体的には、地域において人々の関係を育むためには、公民館等の「学び」を通じて人々の「つながり」や「かかわり」を作り出し、協力し合える関係としての土壌を耕します。この土壌が地域コミュニティの基盤ひいては社会全体の基盤となり、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を作り出していくことから、公民館職員の資質や公民館の機能向上を図ることが重要となります。

また、機能向上を図る上では、社会教育の施策と、福祉、防災、DX(デジタルトランスフォーメーション)の関連施策との連携を推進するとともに他部局・多職種とも連携強化が必要です。

地区公民館の機能向上とともに社会教育関係職員には、「人と人」、「人と団体」、「団体と団体」をつなぐ重要な役割を担っています。今後は、そうした役割を果たせるよう必要な力量とともに社会の急速な変化に対応する現代的な課題を学習化する力量を形成するためには、職員の研修の充実を図る必要があります。

(3)持続可能な社会の創り手を育むことを目指したSDGs/ESD事業の展開

本市の強みとして、小・中・特別支援学校すべてがESDの推進拠点として位置付けられているユネスコスクールに加盟し、国内外の学校間の交流や好事例の発信等の活動の充実を図っています。国においては、学習指導要領等に基づき、各学校段階において、ESDの目的である「持続可能な社会の創り手」を育むことが明確化されていることから、今後もESDの強化とSDGsの17の全ての目標実現へ向けて取り組んでいく必要があります。

学校向けのSDGs/ESDの推進は、グローバル人材の育成にも寄与する取組であることから、学校と連携し、多くの児童生徒学生等がグローバルな環境と地域と交流を図りながらで活動する体験の機会を提供が必要です。

また、地域向けのSDGs/ESDの推進は、地域住民が、現代社会における地球規模課題の諸課題を自らに関わる問題として主体的にとらえ、その解決に向けて自分で考え、行動する力を身に付けるとともに、地域住民の新たな価値観や行動等の変容をもたらすため、さらなる学習活動の機会の提供が求められます。

上記2つのSDGs/ESD事業を推進することで、地域課題解決の糸口を探ること、地域の人材発掘、地域の造り手を育んでいく必要があります。また、さまざまな地域団体と連携を図ることで、地域や社会全体で青少年を健やかに育てる仕組みづくりやコーディネートを目指すことが必要です。

(4)地域と学校の連携・協働の推進への支援

本市では、小中一貫教育を推進するとともに、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に促進し、地域との連携・協働を強化する体制を構築しています。また、来年度からは、不登校などさまざまな事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方などの多様な学びを保障している、公立の夜間中学を設置する予定です。さらには学校再編計画の策定も進行中であり、これらの取組により、学校教育を取り巻く環境が一層変化することが予想されます。

地域社会が共に育む地域と学校の連携を推進し、地域の未来を担う子供たちの教育環境を整えるとともに、地域の課題解決のプラットフォームとなる学校を中心とした地域づくりを進める必要があります。地域住民が協力し、子供たちの学びの場を学校から地域社会に広げ、次世代の社会のリーダーとしての成長を支援していくことが求められます。

市民意識調査において、学校を支援する活動に参加したことがないと回答した人の割合が3分の1以上であることから、まずは地域の人々に地域全体で子供たちの育成の重要性を認識してもらう必要があります。そのためには、適切な情報発信と共に、地区公民館が地域と学校の連携・協働をサポートし、コーディネートする役割が求められます。

(5)一貫した青少年教育の推進の若者のまちづくりの参画

ローリング調査においても分かるように、各小学校では夏休みなどの機会を捉えて体験講座とともに保護者向けの家庭教育支援事業を実施し、次世代育成担当では、今年度から中学生向けのリーダー養成講座、高校生のまちづくり体験事業を実施して小学生から高校生まで切れ目のない体験事業を実施しています。しかしながら、事業のつながり、担当毎の連携はあまりできていないのが現状です。特に中学生から高校生については、リーダー養成講座を実施するにしても単発ではなく、一貫的に青少年教育がつながるよう、担当の連携を図りながら、内容の充実に努めることが必要です。

また、高校生のまちづくり体験事業や公民館での高校生の事業においては、事業が終わってしまっただけで終了というケースが起こっていることから、その後の活動につなげるための取組が求められています。

若者のまちづくりへの参画も他部局とのすみ分けや社会教育関連の若者の明確な担当分けができていませんでしたが、今後は、地区公民館が活動拠点となり、若者のまちづくりへの参画や活動を伴走する支援者としての役割を位置付けて取り組んでみることも考えられます。

(6)社会教育施設の機能向上(職員の力量形成、事業内容の充実)

「市民意識調査」では、行政に対する要望として、『次世代を担う若者への教育の充実』が最も高く、社会教育施設における若者への教育への期待が高いことが伺えました。『専門的な職員や指導者の配置』も4番目に高くなっています。

また、新型コロナウイルスの影響で、社会教育関係職員の地域とのつながりの希薄化、地域を知ること、視野や問題意識を広げられなかったといった課題を解決するために、「インタビュー調査」を実施しました。職員もインタビュー調査を通じて、「聴く力」「ファシリテーション力」が必要であることに気づき、来年度以降もインタビュー調査を実施することになりました。

社会教育関係職員には、「人と人」、「人と団体」、「団体と団体」を結ぶ重要な役割を担っており、今後は、そうした役割を果たせるよう必要な力量を形成する必要があります。社会の急速な変化に対応する現代的な課題を学習化することなど事業内容を充実させるためには、職員の研修による力量形成を図る必要があります。

市民の生涯学習、ボランティア活動及び地域活動を推進するためには、今回の調査で得られたさまざまなデータや、明らかになった課題などを踏まえ、社会教育施設(特に住民に一番身近な地区公民館)における事業の在り方や手法を見直す必要があります。